THE SOCIETY OF MANCHURIA

滿洲之社會



佳節特別號

第壹巻第二號

大正十一年八月[illegible]
大正十一年十二月三十一日發行（毎月一回一日發行）

南滿洲鐵道株式會社

電信略號「マンテツ」　本社　滿洲大連市東公園町

京城管理局　朝鮮京城府龍山

振替貯金大連二一九　支社　東京市麴町區有樂町

船車聯絡

當社各主要驛ト鐵道院線、支那各鐵道山東鐵道及東清鐵道ノ主要驛竝ニ下ノ關、門司、神戶、大阪、上海等各港トノ相互間ニ於テ旅客聯絡輸送ヲ爲ス

▲直通列車
- 大連長春間｛每日三回
- 釜山奉天間｛每日二回

▲東京ヨリ
- 釜山迄一日半　京城迄二日
- 奉天迄三日　北京迄四日

朝鮮經由　ハルビン迄四日

直營旅館

朝鮮
- 京城　朝鮮ホテル
- 釜山・新義州｝停車場ホテル
- 金剛山長安寺避暑ホテル

滿洲
- 大連、旅順
- 奉天、長春
- 大連市外星ヶ浦

｝ヤマトホテル

大連青島上海間航路

使用船

九日壹回

榊丸｛三、四〇一噸　速力十九浬

無線電信局アリ

- 大連青島間　廿時間
- 青島上海間　廿時間

鮮滿案內

鮮滿案內所ヲ東京支社內ニ置キ旅客荷物ノ案內ヲ懇切ニシ且直通切符ヲ發賣ス

撫順炭及煙臺炭

滿洲及朝鮮各地竝東洋諸港ニ於テ常ニ貯炭ノ準備アリ

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千五拾四萬圓

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝
朝鮮、滿洲、浦潮斯德及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候

朝鮮銀行

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座　京城三三三番

總裁　美濃部俊吉

支店出張所

內地　東京、大阪、神戶、下關
朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、淸津、會寧
滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯
　　　長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
支那　上海、青島、天津、濟南
露領　浦潮斯德　亞港
米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

滿洲之社會＝佳節特別號（大正十一年十一月號）

一、資本金　壹億圓

一、積立金　六千五百萬圓

本店　横濱

支所　東京、大阪、神戸、名古屋、長崎、下關、倫敦、漢堡、里昂、紐育、桑港、羅府、布哇、シドニー、新嘉坡、カルカツタ、シヤトル、スウラバヤ、ブエノスアイルス、バタビヤ、リオデジヤネイロ、西貢、孟買、蘭貢、馬尼剌、香港、上海、漢口、青島、濟南、天津、北京

出張店　牛莊(營口)、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽斯德

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

●設　立　明治四拾壹年壹月

●資本金　貳千萬圓

●拂込濟資本金　九百五拾萬圓

●諸積立金　貳百貳拾貳萬五千圓

◎定期預金利子（一ヶ年）七分

大連市大山通十四番地

電話代表番號五三〇〇番

振替貯金（大連）二三〇〇番

日支合辦

株式會社

正隆銀行

頭取　安田善兵衛

顧問　安田善次郎

●當行は　安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱中候

●當行は　日本内地、朝鮮、南北滿洲、支那内地に於て約二千の爲替取引先を有し候

●當行は　關東州地方費現金竝に大連市金庫事務取扱致候

●當行は　臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支　店（所在地）　旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、錦州、天津、青島

派出所（所在地）　大連市小崗子（電話五七四）、奉天城内

聖壽

正金銀行大連支店
正隆銀行
大連銀行
遼東銀行
龍口銀行
旅順銀行大連支店
教育銀行
南滿銀行大連支店

●資本金參百萬圓

●積立金七拾參萬六千圓

大連市伊勢町二十一番地

株式會社 大連銀行

電話 代表番號 長五一〇五番
宿直用 二〇〇二番

振替口座大連 三三〇番

●一般銀行業務

●大連市金庫事務取扱

●金銀兩勘定取扱

山縣通支店 電話二〇〇一番

沙河口出張所 電話一〇九番

鞍山支店 電話六七番

奉天支店 電話九〇一番

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　京城、奉天、大連、哈爾賓、青島

出張所　朝鮮（京城、水原、江景、金堤、榮山浦、大邱、馬山、沙里院、平壤、元山）、下ノ關、間島

東洋拓殖株式會社

支店

電話（長）一三五五番
　　（二三四〇番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話（長）六五七番
　　（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生產物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

輸出入倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號　五〇四〇番
振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所
大阪、神戶、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部
一般倉庫業務取扱
大連市摧耶町十一番地
電話二〇六三番

保險
大阪海上火災、日本共立火災、豐國火炭ゼノースプリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店

大連市東廣場一番地

大阪商船株式會社大連支店

電話二二〇、番九四七番

門司、神戸、大阪行 臺南丸、臺中丸 ハルピン丸、ばいかる丸

大阪商船會社專屬荷客取扱店

山口運輸株式會社大連支店

山口輸運公司

大連市山縣通一六五番地 電話 三六九番 五二四番

山口營口出張所（電話長二二六番）
山口西營口出張所（電話長五六番）
山口奉天出張所（電話長一五八番）
山口鐵嶺出張所（電長五三番）
山口開原出張所（電話八番）

山口四平街出張所（電話五番）
山口公主嶺出張所（電話三三番）
山口長春出張所（話電一三三番）
山口棧橋荷役所（電話一三四番）
山口第二ホーム荷役所（電話八〇二番）



四方に薫ずる菊花の佳節

聖上陛下御近状

宮内省發表によれば　天皇陛下には昨年十一月以來專ら御靜養あらせられ御體量、御營養、御食氣、御睡眠の如きは其後格別の御變りもあらせられず御運動は御日課として御繼續あらせられ日光御避暑中の御日常は毎日午前午後一回づゝ公園内にて御散歩遊ばされ居り御發語の御障碍、御姿勢の不正等は時により多少の増減消長を呈するを免れざるも概して全體の御病状は特に著るしき變化なきやうに拜し奉ると　吾等は玉體の切に御健勝ならんことを祈り奉る次第である。



天照らす大御光

日新又日新、囚はるゝ事なく、滯る所なく、絶えず進展し回轉するところに、不窮無極の生命あり。我が大日本帝國の今日ある所以のものは、實に此の凝滯固着せざる不斷の進展及び回轉による生命の無限なるが爲にして、申す迄もなく、皇室は則ち其の源泉なり。大化の革新は漢土並に印度の文化を基底として行はれ、明治の王政維新は歐洲文化を輸入して更に其の國運民命を新にせり。天壤無窮の我が皇室を戴く我が帝國の生命は眞に不朽也。

個人としても、社會としても、また國家としても、時に興亡盛衰あるは免れ難き勢なり。此故に我が帝國にも固より消長隆替ありしと雖も、然れども不斷の生命は皇室を中心として常に躍々たり。黒雲天を覆へば、日輪その光を失ふが如く思はるゝも、而も日輪は依然たり。晴れたるは盛、曇りたるは衰、晴曇は時の勢にして避け難しと雖も、之れを以て日光の明暗を疑ふは昧者の事のみ。我が皇室は即ち萬古易りなき天照らす大御光とこそ知れ。

天長の佳節を迎ふる毎に、吾等大日本帝國臣民の心すすべき點は、唯當に此の大乘不滅の眞諦に在らざる可らず。天壤無窮の皇室を中心とし、源泉とし、而して太陽系に屬する諸遊星の如く、秩序整然、步武堂々と進展し回轉せば、浮雲時に徂徠し、波瀾時に起伏するも、實體には何等の變化なく、而して其の生命は日に維れ新たにして且無極なり。新文化未だ全く消化し盡されず、思想界猶は混沌を免れざるも、固より何等の憂慮を要せざる也。

住宅問題の社會施設

人間以外の生物は、單に食ふだけにて生活し、着ることの面倒なく、住むことも穴に入るとか樹に留るとかで至極簡單なものであるが、人間は食ふ以外に着ると住むとの手數をかけなければ生活が能きない。昔は單に衣食といつて人間の生活を衣食に限つたやうに思はれるが、穴居生活時代はイザ知らず、建築術が發達して種々の家屋が造られ、その家屋の內に住つて生活する樣になつてから、食ふと着るとの外に住むといふ事が人間生活上の要件となり、人間は要するに衣食住三者具有でなければ生活の能きぬことになつた。支那の奧地に行くと、今でも穴居生活を營んで居るものがあり、大連市の郊外にも、下級支那人の穴居生活を見ることがあるが、之等は例外である。蒙古人の蒙古包を以てする天幕生活は、遊牧民の原始的生活を思はせるもので、至極簡單であるが、之なども勿論例外に屬すべきものである。野蠻未開の民でない限り、今日の人間は衣食の外に必らず住を要し、食ふと着ると住むとの三つで生活する。殊に人口の過群密集する都市においては、住が生活上の最大要件となり、衣食よりも住の方が重い意味を有つてゐる。

この故に、歐洲諸國においては夙に住宅問題を重要視し、英國に於ては一八七四年と一八九四年に建築組合法を制定實施し、一八九九年に小住宅取得法を實施し、佛國にも一八九四年に低廉住宅法を、一九二〇年にその修正法を施行し、獨逸は一九一八年に借家人保護令と住宅缺乏救濟令を施行し、更に住宅仲裁局に關する告示、住宅組合設立に關する聯邦參議院の命令、急迫住宅難除去令等を實施した。猶ほ英國は一九一九年の四月皇帝自ら地方公廳並に各協會の代表者をバッキングハム宮に召され、住宅問題に關する極めて懇ろなる勅語を賜ひ、政府はその勅語に基いて其年の七月に住宅條例を制定し、議會の協賛を經て直ちに之れを

施行した。住宅建築は資本を固定せしめた上、割合に利廻りの薄いもので、お負に修繕やら、借家人との關係やらで、手數と面倒が多いため、近來は資本を都市の土地家屋に投ずるものが少くなつた。諸物價の昂騰に伴ふ建築材料の騰貴なども、住宅建築者の數を減少せしめた一因であつた。最近の住宅難は一面斯うしたところにも原因を持つてゐるのである。英國の住宅條例は此の情勢に鑑みて制定實施されたもので、條例に基いて一定設計の下に住宅建築を二箇年以内に完成したものには補助金を與ふることゝし、斯くて百萬軒增設の計畫を立て、今や既に二十萬軒を建築し、その他地方自治團及び私人の建築に係るものも二萬數千軒に達し、昨年度における國庫よりの補助支出額一億五千萬圓に及んだとの事である。佛國でも、獨逸でも、和蘭でも、英國と大同小異の住宅建築奬勵及び其の補助を行ふて居る。猶ほ獨逸には獨立官廳たる住宅局の設けあり、嚴重なる借家法を定め、家賃を限定し、借家爭議に對する調停の勞を執るなど、親切に且徹底的に努めて居る。郊外住宅、アパートメント・ハウス、共同宿泊所の如きも、歐洲諸國においては可なりに其の設備が行屆いて居る。米國の如きも都市の住宅難に對しては相當に注意を拂つて居る。

都市生活の上に最も重大なる意義を有する住宅を個人の自由經營に委ね、その結果、ウオーヌングス・ヒユリタリズム即ち住居封建制なるものを打建つるに至つたのは、これも資本主義的制度に伴なふ自然の成行とは申しながら、甚だ宜しくない事である。都市に人口の集中する結果として、住宅益々拂底するや、奇貨措くべしとなして、貪婪なる惡家主と不良なる紹介業者とは相共謀して家賃を引上げ、或は土地家屋の思惑賣買を試むるなど、種々良からぬ事をして借家人を苦しめ、都市生活の上に大なる不安を與へる。ビルデングソサイチー即ち建築組合又は住宅組合の如き社會的施設が起り、政府、地方廳、自治團體、公益團體などが相協力して低廉なる住宅を建築し、國庫より低利の資金を供給若くは補助して住宅增築に努め、或は家賃

を限定し、或は借家爭議を調停するなど、頻りに骨を折るやうになつたのは、實に住居封建制の猛威を取挫がんとの社會的良心の發動に外ならぬ。我が日本に於ても、東京市、大阪市は勿論、其他の都市といふ都市は、人口集中によつて著しく住宅の拂底を來たし、家賃從つて騰貴し、謂ゆる住居封建制の脅威は殊に甚だしきを加へ、住宅所有者、官舍又は社宅の恩惠に浴するものゝ外は、何れも住宅難に惱まされ、住のために要する費用が比較的多分を占め、中流階級以下の都市生活は非常に苦しくなつた。大阪市に家賃不納同盟會なるものが起り、次いで借家人の利益保護を目的とする恒久的の借家人團體が組織され、家賃を下げよの聲が喧しくなり、更に借家人の方で自由に家賃を引下げると云ふ變則的な現象が生まれて來たのは、要するに都市住宅難の結果であつて、大連市の如きも此の數年來絕れず住宅難に惱まされて居る。

大正七年の四月、大連市に住宅問題の喧囂を來たした時、予も借家人の一人であつて、借家住ひの苦痛を知つて居るので、當時奮起した借家人側の立場に同情し、元の日の丸座で二回ほど演說した事がある。當時は日本にまだ住宅組合法の制定實施せられなかつた折であるが、予は獨逸の建築組合について多少研究した所があつたので、此の建築組合の必要を力說し、案を作つて之を或向に提出した。此の建築組合卽ち今日の住宅組合は、我政府においても夙にその必要を認めて居たので、越れて九年、政府は借地借家兩法案と共に住宅組合法案を草し、之れを帝國議會に提出し、その協賛を經て大正十年から之れを實施した。住宅組合法案と共に住宅會社法案も作られたが、之れはまだ法律として發布されず、隨つて施行されない。借地借家法と共に必要なる借地、借家の爭議調停法は、本年十月一日から實施され、その調停委員も既に略々任命濟みとなつた。住宅問題に對する日本の施設は、他の一般社會事業と等しく、歐米諸國に比して非常に遲れて居るため、住宅組合の設立もまだ滿足の域に達せず、日本國中最も社會事業の進步發達したと云はるゝ大阪市

に於てさへも、昨年十月の調査に據れば、市設住宅として鶴町第一期住宅が各種合せて百三十戶、櫻宮住宅が同上百二十二戶、鶴町第二期住宅が同上六百四十八戶、堀川住宅が同上百九十二戶、合計一千九十二戶に過ぎない。外に市が信用確實なる民間の土地建物又は住宅會社に對し政府より貸與を受けたる低利資金を轉貸して住宅を建築せしめたもの一千三百二十一戶、之れも十分とは云へない。併し政府と自治團體とが近來漸く住宅問題に目醒めて來たのは喜ぶべき事で、借地法及び借家法と相待つて、借地借家の爭議調停に意を致し、猶進んで家賃の限定をなすに至らば、都市の住宅難は漸次緩和さるゝ事であらう。

人口の都市集中より生ずる都市の生活難は、衣にあらず、食にあらずして、主として住のうへに在る。此の住宅難に對して、十分の施設をなさず、之が緩和救濟に努めぬと云ふは、甚だしい怠慢である。政府も國民も今日は物價調節に骨を折つて居るが、物價調節の內には家賃調節の意味が含まれて居り、家賃問題は物價問題と關聯して解決を要する喫緊事項である。家賃の騰貴は、住宅拂底の致すところなれば、歐洲諸國の如く、政府、自治團體、公益團體等が相協力して國庫補助の下に種々に工風して成るべく多くの住宅を建築せねばならないが、土地の思惑賣買なども、慥かに家賃騰貴の一因であるから、一面斯る弊風の防止にも努め、借地借家に關する爭議の如きも、親切且公平に之を調停する樣にし、更らに進んでは家賃の限定をもなすべきである。大連市には、住宅組合として唯一箇の滿鐵共榮組合があるばかりで、聖德會、郊外土地會社などで住宅を建築し、最近には市が政府から一百萬圓の低利資金を借受けて南山麓に住宅建築を計畫し、猶ほ譚家屯方面に八十八戶の家賃低廉なる市營住宅と一棟の獨身社宅とを建てたが、住宅問題の社會的施設は概して不振である。大連市には近來空屋が殖ゐて來たが、其の空屋の多くは思惑轉賣のために家賃の高くなつた代物であるから、斯る現象によつて住宅問題を閑却し去ることは能きない。（芙峰）

社交の社會民衆化

▲伊集院關東長官は十月二十三日旅大の官民約六百名を其の官邸に招待して盛大なる新任披露の清宴を張つた▲林長官時代にも比較的多數の旅大官民を招待したものだが山縣長官時代に入つてそれが資本家階級と一部代表者に限らるゝ事となり範圍が狹くなつた▲今日の社會は非常に複雜となり各階級各職業が多くなつたのだから資本家や一部代表者のみの社交では全體の階級意識を知ることが出來ずまたその徹底的社交が期せられない▲山縣長官は絕ゑず旅順から大連に出で來て民間人士との接觸に努めたが夫れも狹い範圍であつて徹底的でなかつた前長官の不評判は建値問題などにも基因するが一ツは斯うした所に原因を有つてゐた▲伊集院長官は着任匆々から評判が好いソレは前長官の不評判的反動作用とも見られるが旅大官民の各階級を透見して成るべく各階級各方面の代表的人物を披露宴に招待したのは流石に練れたものだ▲資本家階級を主體として一部少數の代表的人物とばかり接觸する今日の社交なるものは時代の進運に伴はない舊式の因襲的作法で苟くも時勢を達觀したものは今少しく眼界を廣くせればならぬ▲今日社會の表面に勢力を張つて居るものは資本家階級と一部少數の智識階級に過ぎないが潛運默移しつゝある時代の潮流は何時迄もそれで濟むものでない▲學者の如き教育家の如き宗教家の如き言論者の如き何れも國家及び社會の公事に當つてゐるもので個人的利己主義の今日の資本家なるものよりは是等の人物の方が社會的に尊ばれねばならぬ筈である▲精神的方面の職業に係はる者は爵位とか勳等とかいふ粉飾物に憧憬すべきものでないが國家又は社會としては彼等の公共心を鼓舞するため相當に厚遇すべきである▲歐洲では詩人を尊重し文學者を優遇する宮廷の如きも精神的方面の人物を大切にする物質主義の米國でさへも社會改良家は社會的厚遇を受けてゐる▲然るに社會問題が漸く一般の注意を惹くに至つた今日においても我國では斯種のものを冷淡に取扱ひ官廳その他に依つてせらるゝ社交なるものはヤハリ資本家と一部少數の代表者といふ狹い範圍に限られる▲十月二十三日の旅順官邸における伊集院關東長官の招待に記者は一廻り遲れて午後三時二十分大連發汽車で出掛けた爲何んな種類の人々が集まつたか之を實際に點檢することが出來なかつた▲が併し旅大官民約六百名といふのだから恐らく各階級各方面の代表人物を網羅したことゝ考へられる學者も往つたらう教育家も聘ばれたらう宗教家も招かれたらう▲民衆化社會化の現代に在りては社交もまた正に民衆化、社會化せねばならぬ狹い限られた範圍の舊式な社交に依つて時代精神を知らうとするが如きは蓋し謬まれるの甚だしいものである▲勞働組合が出來て勞働團體の力が強くなつて來た今日に於ては勞働者の代表的人物も社交界に加へて彼等と接觸し交驩することにせればならぬ勞資爭鬪を排して勞資協調を圖るには开うするのが本當である▲後藤子は曾て其の自治論の一節に「之れからはフロツクと法被とが手を握り合ふやうにならなければならぬ」と言はれたが實にその通りである▲故早川滿鐵社長は能く此邊の時代的空氣を呑込んでゐた人で沿線各地の下級現業員の實際的執務ぶりを視て親しく彼等と接觸しやうとしたのは立派な心がけであつた▲資本家の多くが利己主義より擺脫して勞働者のために深く考ゑ彼等の福祉增進に努めたら險惡なるストライキの如きは餘り起らぬことになるだらう▲何にしても社交の範圍をもつと廣く各階級のものが互ひに親しく接觸する樣にしさうして相共に社會の發達進歩を圖ることにしたい。

社會問題に就ての注意

内務大臣、法學博士　水野錬太郎

近時は社會事業、社會政策、又は所謂社會問題なるものが漸次發生し擡頭して來た。然し之は此頃始めて起つたものではない。内務省に於ては從來歷代の大臣が何れも此事に付て注意を拂つて居つたのである。最も以前は特に主務局を設置すると云ふまでには至らなかつたけれど、輓近内外の情勢に鑑みる所あり、一昨年以來特に地方局より分離して社會局を設け、社會問題に對する研究調査並びに之に必要なる施設監督を爲すことに定つたのである。地方に於ても特に社會課を設置したる府縣が其數既に二十有餘に及んで居る。又社會課なるものを設置せずとても、庶務課とか地方課等に於て此事務に當つて居る所もある。社會事業、社會政策、社會問題なるものは極めて廣汎で、如何なる點まで此範圍に入るかと云ふことは問題であらうと思ふ。然し要するに社會が進歩し、經濟狀態が複雜に赴くに從ひ、謂ゆる社會問題の益々多岐となるは當然である。商工業の發展に伴つて勞働問題も起るであらう、失業問題も起るであらう、或は貧富の懸隔といふ樣な問題も昔日に比し一層多く發生し來ることであらう。歐羅巴、亞米利加等に於ては古くから此の問題が起つて居つた。此等社會問題の發生は、一面においては國の發達を示すものであるが、一面においては必らずしも悦ぶべき現象ではないと思ふ。然しながら事業が此の如く進展して居ることは、既に今日までの情勢に徵して明瞭であり、隨つて此問題の處理如何と云ふことは、國家の進運にも影響を及ぼすべく、又國家の發展を促す動機ともなるのであるから、此事は何れの國に於ても深く留意せざる可らざる要務である。我邦に於ては、近頃まで此問題について左程多くの研究を要せなかつた樣に見ゐたが、我輩は明治二十八九年頃か

ら所謂「ソシアル、プラゲー」と云ふことに關して研究して居つた。內務省に於ても此問題は將來研究しなければならぬ問題であると云ふことを豫ねて高唱して居つた。歐羅巴、亞米利加等に於ては、此事に付て各國とも非常に留意し隨つて相當に研究も積んで居つたのである。

世界大戰の結果は、精神界に於ても、又物質界に於ても、種々な變動を起さしめた。此の變動は、一面に於ては甚だ喜ぶべき現象で、一面に於ては又悲しむべき現象であると思ふ。之を適當に解決することが國家の政務を處理する上において極めて肝要な事である。殊に戰後の經濟上の變動、思想上の變動を受けて、此問題が益々諸般の方面に種々な形を以て現はれて來た。勞働問題等も昔から有つたのであるけれども、殊に戰後經濟上の變動等と相伴つて、一層其形を密にして來た樣な情勢である。其他の諸般の問題に關しても同樣である。此事に付ては、國家としても、また個人としても、深く攻究しなければならぬのである。別けても都市に於ては尙更種々複雜な關係が生じて來る。現に東京、大阪の如き大都市に於ては、社會施設に關する事柄が益々多く發生して來た。以前は東京市に於て僅に養育院、育兒院位のものを市の事業として經營するに過ぎなかつたが、近頃は種々の方面に種々な事業が現はれて來た。大阪に於ても同樣である。其の以下の都市若くは農村等に於ては、未だ緊切なる問題が起らぬけれども、然し漸次此の如き風潮に襲はれつゝある樣に思はれる。我等の見を以てすれば、我邦に於ては歐羅巴、亞米利加等に於て見るが如き情勢には立至るまいと思つて居る。又戰時若くは戰後の情勢に伴ひ、一時思想上の變動起り、同時に種々な問題が生じて來たけれども、此情勢は漸次鎭靜に歸すべく、今日では寧ろ「レアクション」の情勢が見ゐて居る樣にも思はれる。であるから、唯一時の熱や、一時の風潮に冒されて動くと云ふことは宜しくない。此問題に付ては篤と愼重の研究を費さねばならぬと思ふ。歐羅巴や亞米利加に於ける一時の情勢を見て、直ちに之を我邦に實

行し適用せんとするが如きは誤まれるものと言はねばならぬ。

歐羅巴に於ては大戰の結果一時非常な大風が吹いて來た、所謂暴風來、颶風來の如き情勢を呈した。然し此の暴風、颱風なるものは、恰かも自然界のそれと同じく、さう長く續くものでない。又續かせてはならない。時には暴風の襲ひ大雨の來ることもあるけれども、此の暴風猛雨の相當の時機に至れば鎭靜して愉快なる霽日を見るものである。斯る場合には、我等國民は餘程考慮して、愉快なる霽日を見るやうに心掛けなければならぬ。之が爲め他の諸般の問題に付ても講究を要することは勿論であるが、就中社會問題に關しては十分考慮を拂はなければならぬことと思ふ。それで內務省に於ては特に社會局なる機關を設けて調査研究を遂げて居るし、農商務省其他の官廳に於てもそれ〳〵攻究を試みて居る次第である。或は敎育の問題と言ひ或は產業の問題と言ひ、其他總ての點から考査せねばならぬことが多い。又戰時若くは戰後の情勢を見るに經濟界に種々な變動の起つた結果、物價が非常に昂騰し、其他の變動も發生して、之が爲め一時は人心が大いに浮いて來たのであるが、此事は單り日本に於て然るのみならず、亞米利加に於ても、歐羅巴諸國に於ても、同一の情勢を呈して居る。此の浮いた調子を鎭めるのが目下の急務である。

戰後の經營事業に付ては、獨り我邦のみならず、歐米諸國に於ても非常に苦心を拂つて居る。英吉利は勿論のこと、佛蘭西、伊太利、白耳義、其他の國に於ける情況を聞き、又新聞雜誌等に就いて見ても、その一班を推知することが能きる。殊に獨逸の如きは、戰後非常に悲慘な情態に陷つて居るので、之が恢復に付いて國民が絕大の努力を献げて居ることは、彼地に至つた人々の異口同音に唱へて居る所である。果して獨逸が戰前の情態に恢復し得らるゝや否やは問題であるが、兎に角其後着々恢復されつゝあることは世人の齊しく認むる所であらう。其他歐米の何れの國に於ても、今日財政の方面、或は經濟の方面、或は精神界の方面

に於て、國民が非常なる熱心を以て奮闘しつゝあることは事實である。我邦に於ても此際は非常なる決心を以て事に當らなければならぬ。今の如く膨脹し若くは浮いて來た所の社會情態に對しては、今後一段と緊縮したる精神を以て事に當らなければならぬ。然し何事も擴むることの易くして縮むることの難いのが社會の常態である、謂ゆる攻むるは易くして守るは難いのであるが、吾々は今日の難い仕事に當らなければならぬ即ち引締めて行かなければならぬ、守って行かなければならぬと云ふ重要時期に遭遇して居るのである。此際朝野を問はず、非常なる決心を以て事に當ることが大切である。

五種の社會事業（下）

内務省社會局長　田子一民

(四)生活保護

其の第一の生活改善事業の問題は現時の最も困難を覺ねつゝある日用品の廉價供給と住宅難である。之を分類的に言へば消費手段の改善と消費方法の改善となる。

其一たる消費手段の改善は、生産者と消費者とを最も合理的に結合する社會施設であつて、現在の購買組合、消費組合、公設市場の如きは其一である。公設市場は戰時中物價の騰貴に連れて最も必要を感じ、低利資金の供給を圖り、全國に之が設置を奬勵し、大正十年三月末の現在數二百七十四箇所に達して居る。其後も漸次增加して居ることは明かである。東京などの例に依つて見ると、小賣の米屋が百五十戸について一軒魚屋、青物屋等は百三十戸に付て一軒の割合だが、斯の如く極めて少數の消費者に對して多くの小賣商人があり、而も其間には仲買人が居り、生産者と消費者との間に幾多の利得を占むる者が介在する爲めに、自然

物價の騰貴を來すのである。故に成るべく之れを合理的に結合せしめ樣とするのが生活改善の一事業である消費手段は之を市町村に於ける公營事業として外國では種々に計畫して居ることであるから、今後我國の市町村に於ても一層力を此の方面に注ぎ、而して消費手段を合理化すべきである。

次は消費方法の改善であるが、此事は衣食住の三者の調和を圖るのが問題であつて、原則的に說けば、食糧の營養素は之を適度に攝り、嗜好素中でも、アルコールのやうに吾人の身體精神を害し、禍を子孫に及ぼすが如きものをば成るべく排除して、住宅費並に敎育費の如き文化生活費に增殖すると云ふ主義である。生活改善事業の大なる働きは玆に在ると思ふ。我邦の勞働者の生活狀態を調べて見ると、智識の低下するに從ひ飮食費が增し、住宅費が減ずる。外國の例を見ても酒を多く飮む勞働者は住宅費が尠ない。現に獨逸の如き酒を多く用ふる勞働者は住宅費に少しの費用を投ずるに過ぎない。日本が將來生活改善の中心問題となり社會問題の中心問題となつて一番力を得るものは、アルコールの如き嗜好素を成るべく減少して、或は之を住宅費に廻はし、或は之を敎育費に廻はすと云ふ運動であらうと思ふ。生活問題に付ては、予の手許に幾多の材料を有つて居るが、凡そ先づ物質生活を完全にしなければ、人類は物質的にもまた精神的にも墮落するものである。東京淺草の金龍小學校に於て大正二年から八年までの間に米價と敎員の體重とを比較して見た所、米價が騰貴すれば敎員の平均體重が減じ、米價が低下すれば敎員の平均體重が增すと云ふことを認めた又小さな家屋に住む者には死亡率か多い。兒童の體重や身長やは、家屋の大きさに依つて重くなり長くなり家屋が小さくなるに隨つて兒童の體重が輕くなり、又その脊が低くなる。予は曾てグラスゴーの小學校に於て三名の專門家の調査したものを見たが、夫れに據つて、生活の不自由が人類の身體的退化を來すと云ふことを知つて驚かされた。日本で醫學士暉峻義氏等が調査した所のものに據ると、東京の細民小學校の生徒の

體重身長と全國の小學兒童の體重身長とを比較して見れば、細民小學校の生徒の體重身長は全國の小學兒童のそれよりは大體に於て劣つて居る。又全國平均のものを以て、比較的紳士富豪の子供の多く入つて居る東京本郷の誠之小學校の兒童の體重身長と比較して見ると、全國のものゝ方が大體劣つて居る。勿論貧困者の子供でも身體の大きい脊の高い者もあるが、然し原則的に考察し、社會統計の上から調べて見ると、惡い生活をして居るものは何うしても身體が小さく且輕いことに定つて居る。

精神上の作用や道德方面の事を調べるのは容易でないが、小學校の生徒の智力試驗又は學力試驗によつて明瞭に其の一斑を知ることが出來る。東京市に於て行ひたる調査に據れば、貧困者の兒童の小學校に於ける學力及び智力は、絶對に他の兒童の學力、智力よりも劣ることが判然と解つたさうだ。而して此等の父兄の消費情態を研究する時は、小さな家屋に住んで滿足して居る者は、大抵多く酒を飲んで居る樣だ。小さな穢い家に住む爲め酒を飲んで憂晴らしをしなければならぬ事になるらしい。そこは原因結果相關聯して居るが從來此等の消費方法を研究する爲めに、大阪、東京から生計調と云ふものが發表されて居るから、それに依つて世人は如何に人類の精神的、身體的關係と消費關係とが重大なる聯鎖を有するかと云ふことを考へて貰ひたい。廉價且清潔なる住宅所有に便する爲め住宅組合法が制定實施せられ、更に廉價清潔住宅貸付の爲め住宅會社法が制定せられんとするは、此等の思想を根本として居るのである。

其二は生活維持の事業である。生活維持の事業は、生活を改善するのでなくして、生活を僅に支へる所の事業である。養老事業、施藥救濟、恤救規則に依る救助、簡易食堂、公設質屋、公設浴場の如き、何れも此種の部門に入るところの事業であつて、勿論消極的のものであるけれども、併し消極的のものであるからと云つて、社會事業の一部分である以上、固より等閑に附することは出來ない。

(五)精神自由の保護

精神自由の保護は、吾人の宗敎心、道德心並に審美心、さう云ふ樣な情操を保護する所の施設である。世の謂ゆる矯風敎化と云ふが如き事業は此部類に屬する仕事である。社會事業若くは救濟事業は、從來殊に物質保護と云ふことを重要視したが、物質生活なるものは精神生活の完成を期する手段に過ぎないもので、決して目的其者ではないのである。今後の人類生活は、食ふに困らぬと云ふだけでは滿足を得難く、文化の進步、事業の發達も期せられない。娛樂に屬することであつても、敎化に屬することであつても、何人も其の樂みを受け得る、何人も其の自由を受け得ると云ふやうにならなければならぬ。右は社會事業中の最も大切な仕事で、而して此事は學校敎育と社會化した敎育と相接觸するものである相接觸するが爲めに、或は衝突し、或は矛盾することもある。社會事業を土臺にして社會敎化まで進むことと、學校を土臺として社會敎化に進むことゝは孰れも接觸する。是等の點については、心理哲學といふ樣な方面まで進んで行つて、社會事業は此處で止めを刺すべきである。

尙ほ玆に一言附け加へて置きたいのは、最近問題となつて居る所の民力涵養事業のことゝ、青年團のことである。青年團は漸次發達して今日は中々盛大なものになつたが、一昨年十月二十三日攝政宮殿下から令旨を戴いて、各地の青年團が何か青年の意志を表現するやうな紀念物を明治神宮の傍に建てたいと云ふ希望があるので、此の青年等の志を達成させたいと內務大臣も贊成されたのである。之は一昨年十一月以來の青年の希望であつたが、其の當時は內務省として態度を明瞭にする機會でもなかつたし、又青年の感激の際に思ひ立つたことを直ぐに取上げることも如何かと思つたから、之を地方長官會議まで延して居つて、長官會議の際に大臣から話して見た所が、長官の大部分は之に同意したのであつた。目下の計畫では青年團員一人に付て約一圓、府縣によつては團員數が多い處は八十錢位の平均で醵出して居る處もある樣だが、かゝる少額

の金を醵出しても、全國では二百七八十萬圓に達するのである。之を以て明治神宮の傍に大きな宿舍を建て青年團員は勿論、地方から上京する青年團員の關係者、又關係なくとも、其宿舍に空間ある場合は、實費を以て相當の人を宿泊せしめ得るやうに施設をしたいと思つて居る。

民力涵養運動の趣旨は既に世人も其の大要を知つて居るやうであるが、此運動を平凡事として、常住坐臥何處までも不斷の努力を以て進ましめたいと思ふ。民力涵養と云ふことは、決して一場の論談を以て決せらるゝものでなく、國民自體が之を體得することが民力涵養であるから、若し世に民力涵養と云ふことを一場の論談などと思ふ人があつたならば、それは甚だしい誤解である。近來は相互に戒め合ふといふ風が廢れて陰で往々惡口を言つたり陷れたりするものが多くなつたが、かゝる陋習は速かに之を改めて、社會の公益事業に付いては、各人互に相協力して其の實行を期する樣にしたいと思ふ。

英米獨の公共圖書館（上）

本會評議員　田原天南

米人スタンレー、デエボン氏曰く『公共の富を投じて世の訓育に最有益なる效績を收め得べきもの蓋し公共圖書館より大なるはあらじと、眞に然りである。國民敎育と相並んで、公共圖書館は文化政策上の二大機關で、其一を缺ぐの不可なる事は言ふ迄もない。從來の圖書館は概ね專門的に偏し、學者識者の範圍に限り利用せらるる傾きがあつたが、デモクラシーとなり、民衆政治となつた今日は、一般的公共的の圖書館を必要とし、通俗圖書館、簡易圖書館、庶民圖書館、文化圖書館が續々開設せらるゝに至つた。英人ラボック氏

日は『公共圖書館の普及は國民敎育と相並んで國民を文化に導くべき大道なり』と。我國に於ても、時代の要求に促がされて、公共圖書館は都鄙到る處に設立されて居るが、數に於て、內容に於て、未だ充實整頓せりと言ふべからず、之を英米獨等に比すれば、及ばざる事猶ほ遠いのである。內地の公共圖書館は暫く措き滿洲に於ては滿鐵の圖書館が先年來旣に開放せられたるが、殊に特筆大書に値ひする巡回文庫の制度で、目下內地では頻りに此の巡回文庫のことを計畫し若くは實行しつゝあるが、滿鐵にては旣に數年前より盛んに之を實施し、沿線各驛一として巡廻文庫の恩澤に浴せないものは少ない位に發達して居るのである。余は玆に公共圖書館の最も普及し發達せる英米獨に就いて記述し聊か參考に供する。

一、英國の公共圖書館

現代的國民敎育の思想は、元來十八世紀の末頃、獨逸の理想界に發源したものであるが、之を社會的敎化の上に實現したものは、東西兩球の兩アングロサクソン國民、卽ち英國と北米合衆國とであつた。而かも兩國殆んど同時に卽ち千八百五十年頃大規模の圖書館運動が起り、國民的敎育に偉大の影響を與へ、兩國からして世界の各方面に宣傳模倣されたのである。英米兩國は同一の民族だけに圖書館運動も同一の傾向で、『自由公共圖書館』(Free Tublic Libraries)と稱すべく、又『一般文化圖書館』或は『公衆通俗圖書館』と言ふべきものである。これは學者又は專門家の圖書館とは異なつたもので、專ら智識の低い中流以下階級者の需用に應ずることを使命としたものである。

英國に於て何故に斯かる通俗圖書館運動が勃興したかと云ふに、こゝに一通り說明する必要がある。卽ち階級鬪爭の結果斯かる設備の必要に迫まられたので、第十九世紀前半に於ける英國の內治政策は、殆んど勞働者階級の社會的鬪爭に忙殺され、當時工業國に躍進した英國は一方に悲慘な社會的缺陷を馴致したのである。幼年工の虐待、貧困者の激增、第四階級の密化、刑事犯罪人の增加等の惡現象は續々發生し、一方には

誤解されたる舊學說（クラシック）（アダム、スミス又はリカルドー）の實利道德に基づきたる時代後れの經濟的ドクトリン換言すればマンチエスター主義が流行して、資產階級と無產階級間の溝渠を年々大ならしめた。當時チャーチズムの提唱者（千八百三十七年乃至四十八年の英國改進黨卽ち勞働者運動を主とせし政黨の政見）は盛んに正當なる經濟的改造、社會的改善を要求したのであるが、文豪カーラエルは千八百四十三年『パスト、エンド、プレゼント』に於て、現代の時弊を罵しり、利己主義な實利道德の誤謬を痛論し、國民の有識階級に勸說して、人道主義、基督敎の最近愛に立ち戾り、現代の問題を解決すべき事を主張したのであつた。彼の基督敎的社會主義が此時稍や勢力を得來り、チャールス、キングスレー（一八一九年＝一八七五年）、モーリス（一八〇五年＝一八八二年）、ニールビユース等の領袖等は勞働者の救濟向上に努力し、一方には各種の實際的方法により、他方には國民的文化の方法により、時弊を矯正せんと力めたのである。千八百三十年前後は英國の思想界が斯くの如く動いたので、勞働者階級は大いに自覺する所あり、その自覺と共に、有力で效果の多い組合を組織する事となり、主として圖書館、讀書室、講習會等を自力で設け、そして自己の位置を精神的に高め、社會上の差別を撤し之を平均せしむる事に努力したのである。

英國に於ける『自由公共圖書館』の嚆矢創設に付ては、エドワード、エドワーズ氏の功勞に感謝せざるを得ない。氏は他の歐洲諸國と英國との普通敎育を比較研究して、自國敎育の及ばざることと遠きを慨し、是れが救濟策として先づ通俗圖書館を設立する事とし、千八百四十年の末、下院議員ウイリヤム、ヱーワルト氏に請ひ、是れが建議を提出した所、直ちに採用されて千八百四十九年法律となつた。該エーワルト、ビルによれば、若干人口を有する都市にて、市民が租稅として納付する金額中一磅につき半ペニー乃至一ペニーを以て公設圖書館、新聞縱覽所及び讀書室を設置する事を得るので、英蘭內の都市は該法律により着々圖書館其

他の設立を見、蘇蘭、愛蘭も少數都市を除き續々之に倣ひ、大英國全體に通俗圖書館が驚くべく普及したのである。千九百十九年の統計によれば、英國五百二十七の都市に於ける公設圖書館の數は九百六十に達した各圖書館の收入は都市により差違あれども、我が四萬圓に達するものが少なくない。一般の收入以外に富豪有志家の義捐金あり、慈善的基金の贈與多く、一八八八年乃至一八九六年に於ける寄附金の總額は實に我七百五十萬圓を下らない、此中英國より米國へ移住せし成功者の寄附少なからず、彼の蘇格蘭出身であるアンドリウ、カーネギー氏の寄附は重もなる部分を占めて得るのである。英國の公設圖書館中二大模範と稱せられるものは、マンチエスター市及グラスゴー市フリー、パブリック、ライブラリーであるから、余は此の一大圖書館を少しく紹介して、英國各都市の圖書館各説を略さうと思ふ。

マンチエスター公設圖書館（マ市の人口は六十二萬五千三百二十四人）は彼のエーワルト法律に從つて設立された先鞭で、千八百五十二年の開設に係り、千九百二年には創立五十年の祝典を擧げた。此の名譽ある圖書館の設立には英國著名の人物（バルバー。ヂッケンス。サッカーレー）が參加し、英國に於ける新文化の曙光として賞讃したのである。現在の館長として經營の局に當つて居る者はエー、ダフリユー、サットン氏で、本館の外、市内に二十三の分館あり、各建物は殘らず圖書館の所有で、頗る整頓したものである。開館時間は通例午前八時から午後九時まで、新聞縱覽室は朝の八時から夜の十時まで、兒童讀書室は午後六時乃至九時である。同圖書館の豫算は我が二十六萬四千圓で、一年の貸出書籍は二百五十五萬〇五百九十卷の巨額に達する。入館者は各階級を網羅し、其の借覽書籍を區分すれば、八十二パーセントまで娛樂的書籍に屬するが、此の娛樂的圖書館は同圖書館收藏書の四十パーセントを占めて居るのである。

グラスゴー市は英國に於ける第二の大都市で人口八十萬である。同市公設圖書館の設立はマンチエスター

市に後くるゝこと四十七年、即ち千八百九十九年であつた。創立の際、カーネギー氏は我が百萬圓を寄附し其他續々有力者の寄附援助あり、同市の圖書館は今や世界有名のものとなつた。同市の中央圖書館としては千八百七十四年有志者の寄附により設立されたミッチエル、レフエレンス、ライブラリーで、收藏の圖書は十六萬五千卷に達する。同市の圖書館稅は一年我四十萬圓である。分館の一なるアンダーゾーン、ライブラリーは同市の貧民窟に設けられてあるが、此圖書館の新聞縱覽室(本館)には新聞紙四十種、雜誌七十種、參考書五百部を有し、八十人の坐席あり、次に婦人室、次に借覽室(午前十一時乃至午後八時半開館、藏書數一萬一千卷)、次に兒童讀書室あり(午後五時乃至九時開館)、此の圖書館の特色は無料なるにあり(オプン、アクセス。オプン、シエルブス)。此の無料制は英國の各都市にも行はれ、クロイドンやロンドン、クラーケンウエル等の圖書館も無料、獨逸では漢堡の讀書ホールも無料である。

英國の模範公設圖書館として、マンチエスター、グラスゴー二市のを擧げたが、其他の各都市にもバーミンハム。リバプール。リーズ等には大圖書館あり、蘇格蘭にはグラスゴー圖書館の外に、ダンデー及エヂンバーグにあり、愛蘭にはベルフアスト及ダブリンに理想的の公設圖書館がある。大倫敦中には八十二の町村が含まれて居るが、公設圖書館數が六十で、其中ウエストミンスター圖書館は創立最も古く、千八百五十六年の設立で、最近十年間に大倫敦の圖書館は頗る發達したが、同市の圖書館收入は千九百十年度に於て我が百二十五萬圓に達して居る。同市六十の大小公設圖書館中模範と稱せらるゝはウエストミンスター及ソースランベスで、クロイドン(人口十一萬)の圖書館も、組織の完備した中圖書館である。

要するに英國の公設圖書館は其の創設最も古く、既に七十年の星霜を閲みして居り、圖書館數は一千に達し、頗る發達して居る。其の英國文化の普及と進歩とに貢献したるところ實に鮮少でない。英國人が一般に

常識の發達して居るのは、早くから通俗簡易の圖書館が到る處の都市に開設せられ、無產薄貧の勞働階級にも讀書修養の機會便宜を與へた結果である事は、敢て斷言に躊躇しない所である。

社會改良の根本義

＝本研究會第一回講演會講演筆記＝

本會評議員　寄藤好實

滿洲社會事業研究會は社會の缺陷を救はうとして起つた會である。此の種の會は近年全國到る處に設置されて盛んに社會問題の研究、社會政策の實行に資して居る。元來社會といふものは、不完全な人間の集りであるから、何時でも缺陷の多いのは免かれ難い所であるが、我國現代の社會は特に缺陷だらけである。何故其の樣に缺陷が多いかと云ふと、我が三千年の歷史の下に發達した文化が、維新後五十年間に輸入された歐米文化の爲めに攪拌され、其れが未だ整理されない、況して完成圓熟されない狀態にあるからである。斯う云ふことは、印度文化が佛敎に伴つて輸入された時も、支那文化が儒敎に伴つて輸入された時も、一時は等しく起つた現象に相違あるまいが、併し當時は單純な社會狀態であつたから、恐くは今日の如く甚しい混亂に陷らなかつたであらうと考へられる。健全なる文化的社會と云ふものは、之れを理想的に云へば、國民性に根柢を置き、永い歲月の間歷史的に洗煉され、而して現代の思想感情に依りて整理された所謂文質彬々たるものでなくてはならぬと思ふ。顧みて今日の社會を此の理想に照して見ると餘りに缺陷の多いことを熟々感ずる次第である。維新以後長足の進步を爲した文化は、一面においては敎育の普及向上となり、殖產工業

の勃興となり、交通の發達となり、立憲政體の創設となり、國威の發揚となり、世界の耳目を聳動させたが他の一面には輕佻浮薄となり、風紀の紊亂となり、貧富の懸隔となり、勞資の反目となり、特に大戰以後は思想上に劇變を來し、往々惡化の兆候さへ現はれ、日々の新聞紙上に種々な不祥事件が報せられるといふ有樣を呈して居る。前者は歐米文化の賜であつて、後者は之に伴ふ病的缺陷である。

現在社會の缺陷は之れを二つに別けて見ることが出來る。其の一つは現代の進歩した思想を以て、從來の因襲を考察した缺陷で、此の種の因襲的缺陷は眼前に澤山現はれて居て、何人も改良の必要を認めながらも久しい因襲の力で之れが改良を妨げて居るのである。其の二は現代の文化に伴つて來た病的缺陷である。全體現代の文化といふものは、謳歌すべきものであるが、呪咀すべきものであるか、考へ樣によりては、一般人類の上から云へば、原人時代や野蠻時代の方が寧ろ幸福であつたかも知れぬ。併し人間の自然に與へられた慾望と理性は、進歩せずには居られないから、今日は最早騎虎の勢で、此の文化から脱することは到底出來ない。そこで現在における文化に伴ふ病的缺陷は、生活の向上に伴ふ經濟上の缺陷、謂ゆる自由平等の思想の脱線的缺陷、交通の發達によりて齎らされた病毒の蔓延、生活の脅威に基く健康上缺陷等であつて、屈指に遑ないほどである。此の缺陷を救濟するのが社會事業の任務である。

社會の缺陷を救濟する方法も醫療と同じく應急法と根本法との二つに別けることが出來る。應急法としては、近來文明國の各都市に盛んに行はれて居る社會事業の多くが其れであつて、種類も澤山あるが、應急法と共に根本法を講じなくては、病的缺陷を根治することは出來ない。然らば其の根本的救濟法は何かといふと、社會を構成する分子たる人間を改造することである。品質の立派な自覺ある人間が多くなれば、社會は自ら健全になつて、缺陷も自ら救濟されることになる。數日前の某新聞に下村參事官が『社會問題の根本的

解決』といふ題で意見を發表してあつた。讀んで見るとそれは大人の教育の必要を説いたのであつた。如何にも現今の社會の缺陷は、概ね大人に關することであるから、これを教育することが社會事業の根本問題であるといふのは理由ある事である。社會の改善は構成分子たる人間の改善に存するといふ意見には自分も全く同感であるが、下村氏の意見の大人教育といふことは、比較的根本法に相違ないとしても、猶ほ眞の根本法であるとは言へない、矢張一つの應急法たるに過ぎないのである。

眞の根本法としては、將來心身の健全な人間を造つて、此の社會の構成分子から改善する事である。立派な體格と人格と智能を持つた人間が殖ゑて來て、自覺的に社會の缺陷を救ふやうにならなくては、本當の改善は出來るものでない。さて人間改善の方法は先天的と後天的との二樣がある。後天的即ち生れ落ちて後の方法としては云ふ迄も無く主として教育である。列國が競つて力を教育に注ぎ、彼の大戰の打擊を蒙つた獨逸なり英國なりが、教育に就いて毫も油斷なく、愈々益々改良發達を圖りつゝあるのも、共に之れが爲めである。宗教の感化も人間改善に與つて力あることは云ふ迄も無く、又境遇の改善も緊急な手段である。此頃發行の帝國教育雜誌に、東京市內の兒童の教育に從事する某氏が木賃宿止宿者の生活狀態を詳細に調査して發表して居るが、實に想像も及ばぬ悲慘なものである。市內極貧者たる富川町の木賃宿止宿者の狀態を見るに、疊一枚に一人七分三厘、甚だしきは三疊に九人を收容して居る、而して日收平均一圓三十一錢の割合で此中で宿賃と酒代とを減ずると、餘りが僅に八十錢、此の八十錢で平均四人四分二厘の口を養はねばならぬ當地の苦力にも劣るものである。斯う云ふ狀況の下に同町丈で三千七百餘人も生活して居る。彼等の娛樂としては貧民共通の酒と賭博と性慾の外は何にもない。電燈が室內にあるのは僅に一割に過ぎず、其の餘は暗黑である。斯る境遇の中から如何なる人間が養成されるかは想像の出來得る譯である。東京市が市營として

此種の細民兒童の教育に努力して居るのも、人間改善の必要から來たのであるが、教育は教育として、猶ほ斯樣な境遇を改善することは更らに一層急務であると云はねばならぬ。

併しながら人間の改善に就いては、更に一步進めて、先天的の領域まで踏入つて考へなくては、眞の根本的救濟法とはならない。其れは健全な遺傳と愼重な生殖と注意深い胎敎とに待つ事である。遺傳の法則は段段學者に依りて發表されて居る。何れも概ね植物や動物に就いての研究であるから、嚴密に人間に當嵌まるはけにには行くまいが、人間も生物である以上、大同小異の法則で支配されるものと考へられる。即ち我等の心身は兩親が二分の一宛持寄つて出來たもので、其兩親の各々は又其の兩親が二分の一宛持寄つたものである。斯樣に遡つて見ると、父母は二人、祖父母は四人、曾祖父母は八人といふ樣に、吾等は限りなき多數の祖先を持つて居る。或學者の調査に依れば、基督降誕から今日まで六七十代一億幾千萬といふ祖先を數へて居るが、此の多數の祖先の血液の結晶が卽ち我々の心身である。體格の良否、人格の高下、頭腦の優劣等も其の源泉は遠い〳〵祖先から來て居るのであつて、決して偶然ではない。我々の祖先に一人でも心身に遺傳すべき缺陷を持つたものがあつたとすれば、時代の遠近によりて、濃淡こそあれ、幾分なりとも我々に遺傳されて居る道理である。若し我々が優秀な心身であつて之を子孫に遺したなら、子々孫々無限に其の恩澤が及ぶのである。斯樣に考へて來ると、非常な責任感に打たれなくては居られない。私が曾て公主嶺の農事試驗所を參觀した時、同所で羊毛改良の結果を精しく承つた事があるが、食肉を主とした蒙古羊が、良毛を有する歐洲產の羊との掛合せに依りて、顯著な成績が現はれて居るのを見た。羊豚牛馬の類、それが何れも此の遺傳の法則を利用して、品種の改良を遂げつゝある事は、諸君の熟知せらるゝ所である。複雜な人間の遺傳が悉く單純な動物と同じでない事は勿論であらうが、現今の學理實驗の敎ふる所に依れば、梅毒の如きは

明らかに遺傳を爲すし、其の他の病毒も直接遺傳を爲さないとしても、感染し易い體質を遺傳することは疑ひないことである。此は肉體上の疾患丈に止るのでなく、精神上の缺陷も略同じである。近親結婚の生產兒には缺陷の多い事實がある。共通に有する兩親の缺陷が重複するからである。

先天的に身體に强弱のあることも、智能に優劣のあることも、德性の高下のあることも、疑ひのない事實である。偉人の祖先に多數の偉人を有する事も、惡漢の祖先に多數の惡漢を有することも、白痴低能者の祖先に同樣の缺陷を有する事も、遺傳學者の提供する統計に依りて確實である。遺傳の力は恐るべき强さを以て吾人に先天的の運命を與ふるものであるが、精密に云へば、單に遺傳計りではなく、生殖及び姙娠に關する注意不注意が、容易ならぬ力を以て遺傳を左右するといふことである。世に雀が鷹を產んだといふ譬もあれば、鷹が雀を產む例もあつて、只兩親だけの人物を見れば、斯ういふ例外も出て來るが、遺傳は必しも直接兩親から來る丈でなく、間接に祖先からも來るのであるから、これが遺傳の例外にはならぬ。況や遺傳以外にも先天的に原因となるものがあるに於てをやである。人間は前にも述べたやうに、先天的と後天的の二者の影響を受けて、善くも惡くも夫々性格が出來上るのであるから、天性が良く無いからとて、必しも失望するにも及ばず、又天性が良いからとて決して油斷は出來ないのであるが、兎も角も人間の素質は先天的に或程度まで定まるものであることを忘れてはならぬ。大聖孔子でさへ『上智と下愚とは移らす』といつて、天才と白痴は人力によつて何うすることも出來ないと匙を投げたのである。

以上述べたことが誤ないものとすれば、男女の性の問題は誠に重大な關係を有するものである。近頃頻りに性敎育の必要を唱ふる人が內外識者の間に多くなつたのは、至極道理ある事で、或る程度までそれが適當な方法によつて行はれることは、必要なことであると信ずるが、我國現在の社會狀態と國民智德の程度では

餘程考へてかゝらないと、却つて反對の弊害を促すことが無いとも云へぬ。裸體美人畫や同じ彫刻が藝術として鑑賞されなくて、性慾上から觀客の興味を惹いて、多くの視線がそれに集るといふやうな譯では、性敎育は頗る困難な問題である。御承知の優生學の唱道する所を、宗敎や道德の問題から離れて、只人間の改善にのみ應用するものとしたなら、蔬菜、果實、牛馬、羊豚の改良に於て着々成功しつゝあるやうに、人類の改善は易々たるものであらうか、人間は萬物の靈長で、社會を組織するものも社會を支配するものも人間であつて、賢愚、貧富、男女、文野の別なく、等しく人格の尊重を受くべき今日の思想に於ては、徹底的に實施し得べきことではない。併しながら個人の利害は社會公衆の利害の前に絕對では無くとも犧牲にならなくてはならぬ。此は今日の如き發達した社會に生れ合せた者の當然覺悟すべき德義である。例へば精神病者や白痴や、惡疾者等か人並に結婚して生殖に參加する事は、社會を惡化する罪惡であるから、德義上からは勿論、法律の力を以ても其の結婚を制限することは、人類の幸福增進の爲め極めて必要なことである。此點において優生學者の理想は漸次實現さるべきものであると思ふ。

斯くの如く考へ來れば、社會改良の根本は人間の改善であらねばならない。人間改善の根本は遺傳、生殖姙娠中の注意等に在るとすれば、結婚ほど重大な問題はないではあるまいか。愼重の上にも愼重に、眞面目の上にも眞面目に考ふべき問題は結婚である。神聖な結婚を爲すには、結婚當事者が、結婚以前に於て互に性を尊重することである。男女といへば、直ちに卑猥、淫樂等の觀念に掩はれたり、醜業婦や妾婦が橫行し性を輕侮し性を玩弄するやうな社會には、神聖な結婚は行はれない。結婚當事者の遺傳上の責任は男女によりて區別はないから、互に心身を鍛錬して結婚の準備を爲し、適當の時期に於て最も純潔な結婚を爲し、自家の幸福を計ると共に社會改良の根本に貢献することを切望する次第である。

兒童保護の社會的施設

池内勝里

總ての生物が、天地自然の恩惠を受けて生育しつゝあることは事實である、けれども、人の子、卽ち兒童はそれ以外、父母や社會の保護がなくしては完全に人としての發達は出來ない。而も其中には弱い者や、低能の者や、又た不良性を帶びたものもある。夫等の兒童を如何に誘導善化し、向上發達せしめ、さうして優秀な人間化たらしむべきかといふ事については、各國とも常に腐心して居る所である。これ兒童保護問題が現時の社會問題として一般に重視され來たつた所以である。

兒童の保護を論ずるには先づ胎兒保護から出發するのが順序であると思ふ。

胎兒の保護

胎兒の保護は、主として生理衞生及び兒童心理學の問題であるけれども、現代の文化的制度からすれば、當然社會としても何等かの之に對する施設をせなければならないのである。そこに社會事業として胎兒保護問題が生れて來る。

胎兒は母胎内に居るときから、既に心理的若くは生理的生活をなして居る結果、感覺も印象も當然受ける其の印象や感覺が、やがて生後に兒童特有の性格を構成し、善惡の習慣となるので、胎兒時期に於ける遺傳は、將來の運命を左右する程のものであるから、最も注意を要するのである。新マルサス主義者や產兒制限論者は『小兒は非常な歡迎を受くる權利をもつて社會に出生して求るのである、然るに若し歡迎されないやうな小兒なら、其の父母は之を生む資格がない』と云つて居る。一面人道的精神に基いた眞理ある說であるそれは胎兒の保護が完全でない爲めに死產、流產、早產等が餘りに多いからである。

試みに我國の死産率を見ると、出生數の八%乃至九%を占め、世界に比類なしとまで稱せられて居る。更に哺乳期の死亡率は、略出産數と同じい割合を占めて居るといふ悲しむべき現象を示して居る。それのみならず、精神上種々な缺陷あるものが生れて來る等は、畢竟するに胎兒保護の不完全に基くもので、共存共榮を目的とする人類の社會狀態では、之を放任して置くことは絕對に出來ない。米國では、すでに一千九百十八年を以て姙婦保護協會が設立され、到る處の都市に姙婦保護所が設置せられ、胎兒保護の法律まで制定されて居る。更に之に關連して母親相談所、巡回看護、病兒救濟、託兒所等があるばかりでなく、十二歲以上十四歲以下の兒童に乳兒保護法の敎育を行ふ居る。佛國では、乳兒保育相談所があつて、醫師がその監視の任に當り、尙ほ看護婦が各戶を巡視して嬰兒に對する手當を施して居る。殊に注意すべきは、最近米國シカゴでは全米國週間運動なるものが起り、二百萬の婦人が一齊に起つて兒童保護の宣傳を試みつゝあることで、此の宣傳運動は今や素晴らしい勢を以て米國到る處に進步しつゝありといふ。

我國では、近來漸く兒童保護の必要を感じ、東京の木下博士の産院、京都の京都産院、大阪の市立産院を始め、東京帝大病院内の病兒保護のための育兒會、日本女子大會内の櫻楓が嬰兒の託兒所として世話をなし其他各地に幼兒保育所が設立されつゝある。未だ完全の域に達して居るものは尠いが、兎も角も喜ぶべき現象である。滿洲には、胎兒保護の設備も、産婦保護の機關も設けられて居ないやうで、僅に旅順に鎌倉保育院大連に大連育兒ホームがあるのと、最近大連市で兒産愛護デーなるものが一部の先覺者によつて其の第一回が實施されたに過ぎない。兒童の死亡率が高い滿洲では、胎兒の保護は最も必要で、且つ急務の問題であると思ふ。それと同時に、産婦の保護についても適切の考慮を加ふべきである。斯くして、眞に優良で歡迎さるべき兒童が健全なる婦人によつて出生せん事を望むものである。

幼兒の保護

明治天皇の御製に『思ふことつくらふことも未だ知らぬ幼ごゝろのうつくしきかな』と歌へ給はりしのがある。洵に畏き有難き御製である。

然り、兒童は純潔百合の如く、愛すべきこと菊のやうに天眞爛熳である。胎期を經過して幼時期に入ると自然の生理的現象にのみよることなく、猶ほ外界の總ゆる刺戟衝動を受け、智覺から推理に至るまで意識し同時に不精確な判斷をもなし得るので、これによつて日を逐ひ確實なる人間性を帶びて行く樣になるのである。換言すれば、智能的活動慾が旺盛で、自ら本能的に運動せうとする。從つて事物を模倣したり、强い感情なども起したりするのであるから、此時期に於ける兒童の保護は一層必要である。

兒童は自然に放任して置いた方がよいといふ者もあるが、矢張り或程度まで其の活動慾を制限し、適當に善導することが肝要である。然うでなかつたなら、何時しか惡風に染み、惡癖に陷り、容易に矯正され得ないのみが、取返しのつかぬ結果を釀すに至るかも知れない。多くの犯罪者中、其の犯罪の原因が往々幼時の感化に胚胎するものあるは、全く幼時期の保護が不行屆、不取締であつたからである。幼兒保護の一機關として幼稚園があるけれども、然も未だそれを以て社會的設備が完全されたものと言ふ事は出來ない。寧ろ幼稚園に收容され得ない極貧者の子女や、不良兒童を收容し、これを保護敎育して、その保護敎育と相待つて惡癖惡習に陷らしめないことが、社會事業として重大な問題である。

少年の保護

すでに幼時期を過ぎて少年期に入ると、自己の五官に訴へて事物を直觀判斷しやうとする、そして其の直觀判斷が多くなるほど智能が進み、好奇心が發生し、智識を只管吸收することに努めるそれは善い事であらうと惡いことであらうとに論なく、旺盛な活動慾のために赤裸なる少年性を發露せんとするのであるが、この時機に於ては、幼年期のやうに徒らに破壞的行動をとる事なく、寧ろ模倣的、建設的

斯る兒童に對しては其の活動慾を善導するに必要な機關を設備することの必要は言ふまでもないのである。に活動することを以て興味の滿足を感受しやうとするのであるから、

現在統計表によると、約二萬五千人の不良少年が居て、其中に約一割の犯罪者がある。之等の少年は、生れ出た刹那から、若くは胎内にあるときから、不良性を帶びて居たかといふと、そんな者は殆んどない。之が原因を調べて見ると、何れも少年時代に於て家庭乃至其の周圍が少年の活動慾を放任し、或は抑壓をなし然して其の直觀判斷の働きを善導せなかつた爲めに、惡友の感化と社會の誘惑とによつて、不知不識不良に陷り、遂に一片の敎訓や懲戒によつて改悛せなくなるのである。それであるから、社會としては、矯正院や感化院を設けるの外、少年の不良に陷ることを防ぐ施設をせなければならぬ。最近少年法の制定を見たのも畢竟是等少年の保護取締を完全にせんとする目的に他ならないのである。而して、少年期の敎育感化は主として、學校と家庭にあるから雙方の監督さへ嚴重であればよいと云ふ人もある。一面の理由はあるが、少年期は前に述べたやうに戸外的活動慾が旺盛であるから、學校や家庭のみでは育てゝ行くことは出來ない、そこに何等かの施設をなさねばならぬ。それには學校と家庭とが連絡協力するとか、或は積極策として少年保護所若くは監視所を置き、家庭、學校乃至警察と連絡して善導し、一面に活動慾の滿足を計るべき設備、例へば小公園を建設し、空地を利用して遊戲娛樂機關を設備し、以て少年の潑溂たる性格を助長し、且つ愉快に活動し得る國民たるべく保護せなければならぬ。滿鐵會社が豫て計畫して居た兒童遊園場は、近く實現の運びに至るといふことで、聞く所によると、該遊園地は總坪數七百五十坪、周圍に樹木を植ゐて綠陰を作り中央に小山を築き、其上に四阿を建て、數組のブランコ臺並にブランコ辷り臺が設けられ、水遊びの爲めに池を造られ、更に砂場は日光の直射を避けるために藤棚が作られ、其下で自由に鬼ごつこが出來、尙ほ水道

を引いて手洗ひ場が設けられるなど、兒童の幸福を增すの設備としては理想的のものであるが、滿鐵では引つゞき第二、第三と敷地を選定し、斯うした遊園場を設ける手筈であるといふ。眞にいゝ計畫で喜ばしいことである。これが一の刺戟的導火線になつて、市民や官廳の自覺の下に、沿線到るところに小兒のために意義ある此種の歡樂鄕が開拓され增設されんことを熱望するものである。

それから特殊兒童、卽ち盲啞兒童、低能兒童及び病弱兒童の保護並に敎育も又た決して等閑に附することは出來ない。今簡單に之れについて述べて見る。

盲啞兒童保護

現在我國に於ける盲啞學校の數は九十に近い、其中で官公立乃至縣郡立のものが約二十であつて、他は何れも個人の經營であるが、組織の完全したものは文部省の直轄に屬する東京盲啞學校と、東京啞學校の二校と、縣經營の十六七校位で、其大半は地方の慈善家によつて經營されて居るのであるから夫等の敎育に從事する職員も他の學校と同一に優遇することは困難である。

元來盲啞保護は各國とも慈善事業に端を發して居る。卽ち合情者又は篤志家の喜捨金によつて經營されて居るのであるから、經營上非常な困難が伴ふて居る。殊に夫等の職員は普通敎育以外特殊の技能が必要であるにも拘らず、如上の事情によつて待遇が薄い。文部省では之が救濟の一策として、近々盲啞敎育令を公布すると共に、全國の之等私立學校に對して相當の補助金を交付せうとする計畫であると云ふ。然うなれば職員の待遇も自然向上し、盲啞兒童も完全なる敎育を受け得るに至るであらう。

低能兒童保護

低能兒があれば高能兒がある筈である、ある以上、兩者の間に區別がならなければならぬ。然らば如何なる範圍までを低能となし、如何なる程度までのものを低能兒となすか。例ば普通の兒童と比較して健忘性のもの、つまり物覺ゑの惡い兒童を低能兒とするか、或ひは誰が見ても白痴であると

云ふやうなものを標準にするかといふ事になると、中々困難である。勿論此の場合、醫學的、心理學的考察は有力なものであるが、要するに、統計に表れたものによると、我が日本には全國で約二十萬人弱からの低能兒が居るやうである。之等の兒童を如何に敎育し、また如何にして其の敎育の效果を擧ぐるかは、更らに一層の困難事でらう。本年度から各府縣の師範學校附屬小學校において之れが敎育を試みつゝあるやうであるけれども、其の成績は未だ發表されて居らないので分らぬ。

病弱兒童の保護

父母は其の兒童が病弱な場合、醫療若くは其他適當な方法によつて、之を健全にせしむる權利があるけれども、若し父母に其能力がなかつた場合には、國家社會が家庭に代つて之を保護敎養せなければならい。英國では此等の觀念が早くから進步し、種々な施設をして居るが、我國では之に對する一般の自覺が少ない爲めに、未ば設備の見るべきものがない。僅に神奈川縣茅ヶ崎た醫師と敎育者との協力的敎育機關たる白十字社といふのがあつて、學術敎育の外、體育的敎育を施して居るに過ぎない。時代は既に黎明の曙光を認めて居る。此機に社會事業家は勿論、一般の人々が覺醒し、健實なる運動の下に兒童の幸福を計り、以て社會の進步を期する事に心懸けて欲しい。（大正一一、一〇、三）

兒童虐待防止

我國では兒童保護に關し從來何等纏まつた法制制度なく所謂「繼子窘め」といふ言葉は國民的常用語となつて居るのみならず繼子窘めが芝居にも少からず仕組であるといふ事は如何に「繼子窘め」が實際に多いかを證するものである現に我法規で兒童虐待防止に關する規程は民法親權に關する法規の内裁判所が甚しく親權を濫用して兒童を虐待する者に對しては親權の停止を命ずる規定があるのみで進んで兒童の幸福を增すやうな法制は存在して居ない斯くの如きは兒童虐待防止の上から見て甚だしい缺陷と云はなければならぬ然るに最近歐米諸國より兒童保護に關する種々の施設制度を照會されるに至つて政府當局を始め民間各種公益團體に於て此事業に力を盡し法制の力に依つて兒童の虐待を防止すると云ふ機運を進めたので內務省社會局では既に兒童虐待に關する統計的材料を蒐集するため日本各警察署長及び各地の小學校長に就き兒童虐待に關する甚だしい事實を調べ而して其父兄を招いで說諭訓戒を試みたる事實に就き更らに調査中であると云ふ

楓葉荻花秋瑟々

▲天高く馬肥ゆるの季節となつた空晴れ氣平かなる秋には人の心も自づと澄みわたるものだが滿洲の秋は殊にいゝ▲千山に紅葉を探り大空に喇嘛塔を仰ぐのとき雄大なる大陸の氣象は犇々と胸に迫るソシて人間社會の何となくこせ〳〵した事が今更の如く痛感せらるるのである▲春は芽生への時で秋は凋落の節だが同時にまた春は花咲き鳥歌ふ時節で秋は葉枯れ萬果實るの季節である▲春は出發の時で陽氣なものだが秋は到着の際で何となく陰氣なものだ草叢にすだく蟲の聲、婆娑として庭前に落つる桐一葉、いづれか物の哀れを覺ゑざらんやだ▲併し枯るゝは寂滅にあらず枯ると共に實るところに生が宿る「一粒の麥地に落ちずば唯その儘にてあらむ若し地に落つれば聽て多くの實を結ばむ」▲卽ち死は生の前提、生は死の前提、生死元來一如である咲く花は必ず散り散りて實を結びその實のうちに新生命が宿る▲此故に颯々の風に枯葉片々にして舞ふ秋は死にあらず寂滅にあらずして更生の時である一粒の種のうちに聽てまた來ん春の時節に花となり葉となるべき新らしい生命が限りなく宿つて居るのだ▲花に葉に裝ひ凝らせし千樹萬木が骨となり皮となつて萬目漸く蕭條たらむとするのを觀ては有情の人として轉た哀れを感ぜぬには居られないが併し徒らに嘆き悲しむべきでない死は生の因であるからだ▲少年は嫩葉の時節、青年は花の盛り、壯年より老年は枯るゝと共に實る時代である其の實りを豐かにして更に嫩葉となり花となり實とならればならぬ▲胡瓜は仇花の多いものだが茄子には仇花がない仇花が多くて實ること少きよりも花盛んならざるも實ること堅きを期したい▲餘りに花の綺麗なものは好い實を結ばない櫻の花は美しいが櫻桃を除いて其の實は賞味に値ひせぬ梨の花は白いばかりで曲がないが其の實は萬人の賞味する所である▲實ること乏しきものは根を分けて更生を計る菊花然り球根植物然り▲若きものよ此の天の攝理を深く味へかし爾等は其の花の盛りの時代に徒らに仇花を咲かすことを欲する勿れ花の爛漫たるよりも實の堅剛なるを期せよ▲實の堅剛を期せんと思はゞ青年時代に能く學び深く修めて唯お飾りばかりで內容のない空虛な生活を營む勿れ▲成金は實らざる花の如くパツと咲いてパツと散る櫻の花の樣なものである一時人目を聳動することあるも驕る平家は久しからず壇の浦の沒落は瞬く間に顯はれる▲爵位勳等などで花を飾つても實のない人間は胡瓜の仇花に等しい花愈々多くして實彌々乏しく死しての後は皮をも留めず名をも殘さずして寂滅往生する▲斯る者よりは潑溂たる新生命は躍り上らぬ其の墓も其の位牌も一部の極めて少數なる追憶の種に過ぎぬ久遠に亘つて萬人を亘化し社會を善導する活力とはならぬ▲糟粕にだも齧かずして陋巷に窮死するも正しく雄々しき靈魂は萬代に活きる其實は大きい其の大きな實から正義が生まれ道德が生まれ不斷に更生して綿々として常に絶ゑざる永久の力となる▲南洲は神となつた乃木も神となつた彼等は形骸既に空しきも其の靈魂が活きて居る秋に凋落しても其の實は廣く大きく社會の全般に亘つて花となり葉ともなる▲楓葉荻花秋瑟々綠葉は枯槁して散り風蕭々として易水を渡る壯士腕を扼して常に人生の眞義を悟るべき時だ花の時代に戒めざれば實の時節に空しからむ▲晩秋に天地を飾るは唯だ菊花あるのみ紅葉はまた二月の花よりも紅である霜を凌いで毅然として籬に香ふ菊花よ男性美を發揮して洵に遺憾なきを覺ゑる▲眼を人寰より放つて時には天地正大の氣を呑吐せよ靈妙なる造化の働きを體得しないでは人間社會の改造も覺束ない話だ。

住宅改善の方針

東京博物館長　棚橋源太郎

住宅改善は國民生活改善事項中の重要なものであつて、之が實行の遲速は、直ちに國家社會の利害に影響することの莫大なるものがある。予は左に掲ぐる生活改善同盟會調査の成案が廣く世に實現せられんことを切に希望するものである。

我國に於ける現在の住宅を見るに、座式に依るものは其の取扱に數多の手數を要し、且自由の生活に達しないので、徒らに時間を浪費し、仕事の能率を減殺することが少くない。又之を衞生上から見ても不利の點が甚だ尠くない。殊に坐式生活は近時に於ける一般生活法の變化に伴はないので、謂ゆる二重生活を餘儀なくし、隨所に矛盾撞着を來たし、之がために蒙る不利不便も決して鮮少でない。然るに椅子式は今日の世界通有の生活法で、歐米諸國は勿論隣邦支那の如きも悉く此の樣式を採つて居るが、之には幾多の長所がある。勿論永年親んで來た在來の習慣を捨てることは、居住趣味を全く奪はれたやうな苦痛を感ずることが無いでもないが、諸般の生活樣式に關する改善進歩は、獨りこの座式のみを永く此儘にして置くことを許すまいと思ふ。

他邦居住の歷史について見ると、一時座式の行はれたことがあり、それと反對に、我國の古代に遡つて見ると、中古以前は必ずしも今日の如く全然疊敷ではなかつた。此等の事實は、國民の習慣や、生活樣式が時代によつて變化し、決して固定的のものでないことを證明するに足る。更に本邦今日の實際に徵しても、公共的建物は殆ど椅子式であるし、中流階級の住宅にしても、書齋、應接間等は漸次椅子式に、又臺所は立食式に變りつゝある。尙ほまた寢具食事等の模樣を見ても、同樣追々變つて行く傾向が認められる。勿論斯の如き事は、經費の都合や、趣味の關係で、急に其の實現を見ることは困難であらうが、今日の趨勢に鑑みて將來を豫想すると、必ず椅子式の廣く行はれる日の來るべきことは明かな事

實である。故に椅子式を將來の目途と定め、漸次住宅改善の歩を進めて行きたいものだ。—

本邦の住宅は、間取及び設備が大體封建時代に發達したもので、爾來殆ど進歩改善の跡を認めることが出來ない。則ち徒らに外觀形式を過重視して、寧ろ家族生活を輕視した接客本位の居住樣式を其儘繼承したものである。隨つて本邦の住宅には、家族の日常生活を愉快ならしめる工夫、設備が頗る乏しく而して此の因襲に囚はれた居住の樣式と、猶ほ之に附隨する生活との爲めに、我々は常に非常な不便と非常な不快とを感じて居るのである。

そこで、將來眞に意義ある生活を營まうとするには、先づ以て上述の如き接客本位の居住に改善を加へて、多年の因襲から脫しなければならぬ。彼の客間に對しては、住居の樞要な部分を充て、良好な方位に於て多大の面積を割き、過大な設備をして居るにも拘らず、茶の間、居間など常住の室に對しては其の位置及び面積に於ても遠く客間に及ばず、僅に附隨的たるに過ぎないやうな從來の通弊を矯めることは、今日の急務である。故に將來の住宅は、客間及び玄關より寧ろ居間、食事室、寢間臺所等に重きを置いて、家庭生活を大いに愉快にして、常に清新の氣を漂はすことを主眼としなければならぬ。則ちこの新方式に依つて其の間取を定め、設備を行ふことに一層の力を用ゐなければならぬ。殊に小住宅では、接客用の特別の室を廢め、居間、寢間及び臺所等に十分な面積を充て、之に出來るだけ便利で且衞生的、經濟的な設備をする樣に致したい。

本邦在來の住宅構造に徒らに舊慣、形式を墨守し妄りに工夫を繁鎖にし、或は無用の部分にも美材を使用する等、之が爲め無意味な出費を要することが少くない。故に今後は斯樣な舊慣、形式を排し、專ら清新な趣味と自由な工夫に重きを置き、一切の虛飾を避けて、成るべく浪費を省くことにせねばならぬ。また在來の住宅は餘りに外觀虛飾に偏した結果住宅としての實用的方面を閑却した傾がある。隨つて住宅に必要な防寒防暑の用意、耐震耐火及び盜難に對する防備、並びに保健、衞生に對する構造設備等に於て大いに缺けて居る所がある。故に將來の住宅に於ては此等の缺陷を除き、家屋をして眞に能く其の居住の目的に適し、十分安慰を求め得られる場所とすることに努めなければならぬ。

之を要するに、在來の建築は餘りに舊慣に囚はれ科學の應用を閑却して、社會の進歩に伴はない傾がある。將來の住宅は、宜しく實用を主とすることに力めると同時に、趣味の方面にも深く顧慮して、住宅としての機能を十分發揮せねばならぬ。

在來の庭園は、其の大小に拘らず、一般に築山泉水の樣式を採り、觀賞を本位として居る。殊に住宅が一般に接客本位であつたので、庭園も亦自から玄關客間等に面する部分を甚だしく過重視した傾がある。其の結果、在來の庭園は家族の休息、運動等に適せず、其の實用的價値を全く沒却して居る。殊に在來の庭園は、多年の因襲形に泥み、迷信に囚はれ科學の應用を怠つて居つたので、自から住宅の採光通風、防火、防塵、排水等の方面に多大の不利を來して居る。在來の庭園に見る缺陷は、單に此等の諸點にのみ止まらない、經濟的方面に於ても亦大いに缺けて居る所がある。則ち果樹、蔬菜、花卉等の栽培、養雞、養蜂其他の實利的應用を怠つて居る。且その庭園に使用する材料や、局部の構造等に於ても一般に外觀に囚はれ、虚飾に流れて居るので、之が設備及び維持に多額の經費を要する。之が爲め頗る進歩的時代の要求に遠ざかつて居る。

庭園は在來の接客及び觀賞本位に偏せず、寧ろ家族全體の利用に重きを置き、其の地割の如きも、住家の間取を最密に關聯せしめて、常住の居室に面する部分を全庭園の中心にしなければならぬ。又在來の築山泉水式に偏しないで、主婦と子供等の爲めに芝生、綠蔭、花圃、菜園、砂場等の如き設備を爲し之と同時に日蔭地、空地及び空間の利用に努め、特に臺所廻りの整理を行つて、其の不潔や亂雜を避ける樣に工夫することが大切である。又在來の住宅は一般に墻塀を高くして封建時代その儘の割據的の弊があるが、將來は家屋の改善と相俟つて、成るべく街路から見透し得られる樣にし、村落、市街の美觀を增すことに努めなければならぬ。

家具の改善に就いては、從來之を試みたものがないでもないが、徒らに細部の工夫に沒頭して、全體の改造に努力するものが尠なかつたのは甚だ遺憾である。家具は一般に其の使用の目的に適合すること外觀體裁の醜くからざること、構造の堅牢なこと等を必要な條件とし、從來のものよりも一層有效便利なものでなければならぬ。尙ほ折疊式又は兼用式の

家具は、一般に空間の節約になり、且使用に便利であるから、之を推奬したいと思ふ。それから兒童用の家具を椅子式に改めるべきことは、彼等の本性に顧みて寧ろ當然の要求であるから、之が改善には特に留意したいと思ふ。改善家具の使用は、成るべく子供の幼少の頃から始める樣にし、其年齢に應じて意匠と寸法とに注意しなければならぬ。

本邦在來の住宅は、市内に在ると郊外に在るとを問はず、一般に經濟的生活に適しない。殊に大都市では、市街の急激な發展を地價の著るしい昂騰の爲めに、住宅が櫛比して、採光、換氣等衞生上の缺陷が多いので、健全な簡易生活に適しない。然も一方に於ては、都市内に居住すべき必要があるもの、並びに都市居住の利便愉快を欲するものが益々多きを加へる情勢にある。故に今日大都市の斯る情勢に在る地域に對して、適當な共同住宅の建設を推奬することは、頗る其當を得たるものと考へる。共同住宅の利點は建築費の節減、共同暖房 其他衞生上の設備の簡易安値、廣濶な庭園及び堅牢安全な家屋の共有等にある。隨つて比較的少ない使用人で、或は全然使用人の手を借らないでも、衞生的に而も便利に愉快な簡易生活を營むことの出來ることにある。そして之が實施は順序として獨身者及び家族に對するものを先にしたいと思ふのである。

近時郊外の發展が意外に急速に行はれる。而も住宅及び道路の建設等が未だ統一的計畫の下に實施せられる運ひに至らぬので、之が爲め生活上の利便や居住の情趣の減殺せられたることが頗る多い。然るに田園都市及び郊外住宅區は、田園及び近郊の一區域に住宅、商店、學校、病院、公園、道路、廣場等を適當に配置したもので、家屋間取の自由、庭園の豐富、空氣の新鮮、風景の佳美は勿論、建築費及び生活費の低廉、共同設備の利用等、其の特點として擧げるべきものが甚だ多い。之に依つて精神上の慰安と生活上の安定を得ると同時に、衞生上にも結果を齎らし、死亡の率を激減することは、統計の既に明示する所である。故に大都市では、特に田園都市及び郊外住宅區の施設は、人口の都市集中よりして必然的に起るものであるが、之が施設を完備せしめんとするには、學理、技術及び實際の三方面より十分に研究して行ふべきである。都市及び郊外住宅區の施設を奬勵するの必要がある。

敬業と樂業とを論ず

上海陸家濱職工教育館に於て
梁　啓　超

敬業と樂業とは禮記の『業を敬して業を樂む』といふ語と老子の『安居して業を樂む』といふ語を節録したものに係る。天の人を生ずるや、既に專ら飲食消化機の爲ばかりでないから、人は必ず職業を求めて、一面には生活の爲めに勞働すると同時に、一面には勞働の爲めに生活せねばならぬ。諺に『百行は孝を先と爲し、萬惡は淫を首と爲す』といふのがあるが、余は其の語を易へて『百行は業を先と爲し萬惡は懶を首と爲す』と言ひたい。孔子の言に曰く飽食終日、心を用ゐる所ろないものは厄介極まると又曰く。群居終日、言の義に及ばぬものも厄介極まると。孔子の樣な人に誨へて倦むことを知らぬ聖人は、天下に教ゆることの出來ぬ人と化せられぬ人は絶無と信ずるだらうが、只無職業の遊民に對しては二度までも嘆息の聲を放つて、厄介極まると稱せられた。これに由つて之れを觀ても人の大病は全く無職業にあることが判るのである。

余の言は已に職業を有する人と職業を豫備する人の爲めにするのである。先づ敬業から說くことゝする。敬とは莊嚴の意ではない、又端肅の意でもない朱子は敬を解いて主一無適といつた。こは最も適確の詞だ。人類既に多ければ職業も亦多い。大總統も業だ、人力車挽きも業だ、習慣から言へば、大總統と人力車挽きとに尊卑上下の別があるやうだが、學理から言へば、其の職業たることに於て何等の差別はない。大總統たる人は、大總統たるの職業に孜々として、どうすれば國を治むることが出來るだらうどうすれば民に禮することが出來るだらうと考へて大總統の職責に負かない樣にすれば可い。人力車を挽く人は、どうすれば疾驅することが出來るだらう又どうすれば長驅することが出來るだらうと考へて最善を盡しさへすれば可い。此れ敬業の說理である

樂業に至つては更らに人生に必要な旨趣がある。夫れ人生は樂趣あることを貴ふ、樂趣がないなら死んで了つたが可い。若し事務を執つて歡喜鼓舞の念がなく、日々只頭を抱いて額を蹙めるのみなら、事務は終に免かれないで、苦痛は殆んど喩へ難いものがある。事務は終に免れ得ないが、歡喜鼓舞の態度で事に當るのと、抱頭蹙額の態度で事に當るとは、精神上の感想に明闇の差がある。故に職業には樂趣を要素とする。樂趣は成功の母だ。

天下の最大苦痛は職業なくして身心共に彷徨して適從する所を知らない人に在る。世の中には又職業が嫌でたまらぬ人がある。吾國の諺に『一息働いて一息怨む』といふ事がある　、我が工商各業の進歩しないのも、發達しないのも、この怨の一字が崇つたのだ。吾輩は『責任心』と『樂趣』の必要を主張するものだ。敬業は卽ち責任心、樂業は卽ち樂趣である。各人は職業に對して、既に之を敬して又之を樂んだなら其心は必ず安いだらう。

勞働問題と進歩的資本主義

衆議院議員　南　鼎　三

一昨年の一月二十三日、米國に於て資本主義主張者のコロンビヤ大學セリグマン敎授と社會主義主張者のランド社會學校敎授ニアング氏が、互に其主張を戰はせ、遂にセリグマン氏の勝利に歸したことは有名な話である。セリグマン氏の說によれば、現在の資本主義は行詰つてゐるから、將來は進歩的資本主義、卽ち資本はすべて法定によつて利益を制限すべきものである、と斷定して聽衆から破るゝばかりの喝采を博したのである。私も此のセリグマン氏の主張に贊成するものである。そこで私は勞働問題に對する緩衝政策を唱導したいと思ふ。

近來都會には勞働問題、農村には小作問題が叫ばれ、勞資の紛糾は今後益々旺になり、いつ解決の曙光を認むべきか、殆ど歸結するところを知らざるの

現狀である。此のまゝに捨て置いたならば、所謂危險思想は益々その根を張り、或は如何なる變事に遭逢するかも知れぬ。寔に國家のために由々しき大問題である。斯る一大事を眼前に控へながら、爲政者は積極的にこれが解決策を講ずることもなさず、ただ徒らに時勢の赴くがまゝに放任して居るの觀あるは、餘りに無策の甚だしいに驚く。

日本の勞働運動はどうしても歐米の思想に支配される。これは日本に大工業組織の行はれるやうになつたのが尚未だ極めて最近のことであるのに反して歐米に於ては既に日本に先だつこと數十年以前に近世の大工業組織の洗禮をうけてゐるので、それに伴ふところの勞働運動も又數十年以前に勃興して今日に及んでゐる。それ故に今日の我國のそれは先進國としての歐米諸國の思想の影響をうけ、大部分はそれを摸倣して動いてゐるのである。この場合の運動の動き方にも、國民性の相異によつて生ずる多少の相違は免れないが、工業組織の根本に於ては、彼と我との間に何等異るところが無いのであるから、運動の基調はすべて同一の原理によりて進行してゐる之れは極めて明白の事實であるから、何人も必らず承認せなければならないのである。

十九世紀の末頃、歐米の學者等が利益分配の制度を勞働者間に唱へたところが、各勞働團體の首領がこれに反對して、勞働者の目的は『公平なる賃銀を得るにあり』といふことを叫んで止まなかつた。そして此の定義を實行するために、又その目的を遂するために、資本家に要求してこゝに一つの大波瀾が生じた。それが各所にストライキとをつて勃發した勿論これはマルキシズムの流れを汲んだものであるが、それが不成功に終つた結果として、どうしても將來の勞働爭議は利益分配制度によつて解決せられなければならぬことを覺り、再びその説が擡頭して來た。この制度は、國家が法制を設けて資本家に對し利益の壟斷を制し、勞働者に對してこれを與へるといふことである。この制度が確立すれば勞働保險その他の勞働立法は殆んど無用に歸してしまふのである。例へば目下我國で研究中の勞働立法の如きは一種の社會保險に變化して、そのうちに勞働者の利益を保護することを目的とする一切の制度と立法が含まれることになるのである。これが卽ち私のいふ進歩的資本主義の主要なる政策である。

帝都に開かれた二箇の社會事業集會

第十三回社會事業協會總會と社會事業講習會

本會評議員　柴田博陽

第十三回社會事業協會總會は十月十四日午後一時より東京丸の內鐵道協會內に於て開會したり來會者は約三百名にして協會に關係ある川村內務次官、窪田協會常務理事、田子社會局長、後藤子爵、松井法學博士、添田敬一郎、其他多數の名士も出席し內務省生江囑託の司會にて開會し會長澁澤子爵壇上に現はれ簡短に挨拶し田子常務理事より大正十年中に於ける事業及び會計等の報告をなし終りに臨み「本協會が年を加ふる每に漸次發展したる三月中東京に於て開會したる第二回赤十字社國際聯盟會にも懇切なる勸誘を受けて出席を促がされしなどは國際的に一步を踏入れたるものにして本會の前途益々有望なり」との意味を附言せり次に東京市長後藤子爵は滿場の拍手に迎へられ來賓を代表して祝詞を述べ且本會の爲めに特に東京市政調査會囑託として今回招聘したるビーアド博士を請ふて有益なる講演を願ふ事にせりとて同博士のことを詳細に紹介せり右終るやビーアド博士は滿場破るゝが如き拍手の裡に壇上に立ち大要左の如き講演を爲せり。

ビーアド博士の講演要旨

米國に於ては社會事業を單に貧民救濟とか救恤と云ふが如き範圍に限つては居らぬ米國の社會事業者等は結果よりも原因を取扱ふ事に努力して居る換言すれば彼等は既に惹起された不幸事を救濟するに止まらず更に大いに斯る社會的疾患の病根を慮りて之を除去する事に興味を有つて居る隨つて先づ社會事業者等の活動舞臺である可き社會狀態卽ち社會的背景を考察するは此の事業に於ける第一要件であると觀られて居る。

日米兩國の社會的經濟的狀態は多くの點に於て同樣で殊に都市に於て然りである否單に日米兩國のみならず總ての大國家の現狀は工業的であり而して工業文明は何處に於ても或る同一時特質を有す

るが如くである同一なる經濟的過程の行はるゝ處には同一なる社會生活と社會思想とが生ずる傾向がある日本の五人組に似た社會組織は封建歐羅巴の多くの土地に存在したのである又た舊日本の都市に於けると同樣に歐洲舊都市にありても商人や職工がギルドを作つて弱きを扶け強きを制したのである然るに洋の東西を通じて工業經濟制度は古い之等の諸結合を破壞し去つた舊來の連帶責任に代ふるに新結合原則＝カーライルは之を金帶と稱んで居ります＝が產み出されたのである當時の新しい社會哲學に隨へば勞働者は一日成るべく長い時間働くべきであり雇主は勞働者の勞力に對して一定の賃銀を支拂へばそれで義務が濟むものと考へられた隨つて若し仕事がなければ勞働者は路頭に他人の憐みを乞ふか若くは盜むより外に生活の方法を見出し得ないのである而して彼等が窮乏し又は罪科を犯すとも責は彼等のみにありと見做されたのである此くの如くにして社會は生存競爭をして居る各個人の集合であると思はれたので弱肉强食は生活の常則となりダーウインの進化論と當時の自由放任的經濟學とは個人の責任若しくは個人主義を鼓吹するために結合した。

近世工業的社會の第二の特質は多くの勞働者の失業である封建的農業時代に於ては凡べての農民は失業するといふ事がなかつた然るに工業にありては常に或る程度の失業が隨伴して居るのである日本に於ては工業界に不景氣が續いても產業と手工業とが猶ほ未だ失業者の大部分を收容し得るから幸福であるが然し日本の工業が增大すれば其時は矢張り英國や米國に於けるが如き慘憺たる經濟的危機に遭遇する事を豫期せねばなるまい。

この失業期には或種の社會的結果を生ずる多數の男女勞働者が職を失ひ路頭に於てパンを探さねばならぬ時には必ず犯罪數が增加する斯樣な譯であるから我等は凡べての工業的社會には不景氣が屢屢起り而して實業界の不景氣は必然的に重大な社會的疾患に依りて伴はれるものなる事を知らねばならぬ更に工業的社會には社會事業者等に特に重要なる他の方面がある諸工業は都市に集中されて居る結果として失業、貧困及び種々なる疾病も亦都市に集中して居る何れの工業文明を觀るも宮殿の前に必らず貧民窟が存在して居る有樣である固より過去五十年の間都市は大いに改善せられ又發達せられたが猶ほ文明の將來に障礙となる此の貧民窟を除去するは刻下の重大問題である。

斯くの如きものが社會事業の背景である何人と雖も工業文明の固有の性質を把握し得なければ貧困疾病及び不道德等の問題を取扱ふ資格はない實に眞の社會事業は工業的社會の根柢に觸れる事業であるから近世工業の種々なるプロセスや市政の大

事業に關して充分なる了解を持たなければ社會事業の教師になれぬは勿論のこと社會事業の從業者にもなれるものではない若し社會事業者等が自己等の事業を以て慈善事業なりと思惟するが如き事あらば之れは大いなる誤謬である。

米國に於ては社會事業の觀念は大變化を來した歐羅巴の僧侶等は社會事業の先驅であつた其後私人や僧侶等の慈善が不充分になつて來た時にこの救濟問題は國家に依りて取り上げられ養育院及び其他の救濟制度が設けられたのである併し乍ら當時に於ける社會事業の觀念は依然として救濟と云ふ事であつて疾病や貧困の防止といふ事ではなかつたのである然るに先年來新しい觀念が社會事業に入つて來て疾病や貧困の根本的原因を除去すると云ふ新觀念が人々の頭腦を支配する樣になり「慈善」は「社會事業」に變り慈善事業學校の名も社會事業學校と換へられる樣になつた。

其の第一に擧ぐべきは社會其のものに關する科學的研究、社會の組織的職能、病患等に關して大いなる進歩を遂げたことである社會は鬪爭を事とする各個人の週合にあらずして一の有機體であると言ふ思想が支配する樣になつて來た第二に擧ぐべきは社會主義の發達で社會主義者等は工業的社會の缺陷を猛烈に指摘し若し有産階級がこの缺陷を除去しなければ現存社會制度を覆滅するぞと脅かして居るのである第三の原因は自然科學殊に醫學の力である第四は社會事業者等が自分の經驗より又は熱心なる研究により貧困や不幸事に關する種々なる社會的原因を學んだ事である。

今や戰の新しい目標が高く揭げられ社會事業者等は貧困、疾病、無知、殘忍及び浪費と言ふ此人類の五大疾患の原因と戰鬪をする任務に就いたのである社會事業者の職業は最早貧民を憐むと云ふ事ではなくて全く之等人類の五大敵であるところのものを不可能にする事にあるので或る手段を以て働き且つ常に近世工業文明社會の諸問題を徹底的に了解せん事を努むるのである。彼人達は保健工學や社會立法に關する技術者專門家と協力する事を努める斯くして社會事業者は自らの職業をして人類の怜悧、健康及び幸福を向上せしむる凡ての科學の綜合たらしめんと希望して居る。

云々と約三十分の講演をなし最後に內務次官川村竹治氏が協會副會長として閉會を宣し午後三時閉會夫より懇談會に移り四時三十分散會せり。

之より先、十月六日內務省に於て社會事業講演會の開催あり本講演會は連續開催十四日を以て閉會せり予も出席者の一人なれば玆に同會の模樣を報道すべし同會に出席せし講習生は各府縣の長官より推薦

せし人々にして總計百五十名の外に傍聽生も加はり百六七十名の多きに達せり而して其の多くは縣郡屬及び町村長その他助役書記或は方面委員等にして直接社會事業に携はるものは僅に一二名に過ぎず宗教家としては僧侶二十餘名ありしのみにて其他には一名の教徒者なく單に一人の神職者ありしのみなりき植民地のものとしては臺灣及び朝鮮より各二名宛の屬官を出席せしめたるが關東廳よりは一名もなく予の外に郊外土地株式會社の宥倉善治氏が會社支配人との肩書を以て出席せしは異彩なりき。

開會式は六日午前十時にして最初に田子社會局長の開會の挨拶あり次に水野內務大臣の式辭ある筈なりしが差支ありとて川村次官代つて出席し別項の如き告辭あり一先づ閉式し同十一時より十二時まで田子局長の社會事業要綱に就ての極めて懇切なる講演あり同日午後一時より再び開會し引續き十四日迄は毎日午前九時より午後四時に至るまで各專門大家の講演ありき其の講演は左記の如し。

食料品の賣買組織一般……河田博士
國民生活の基準と調和……森本博士
住宅問題に就て……佐野博士
同……渡邊博士
社會事業の要務……石川芳太郎
同……大野綠一郎
同……齊藤樹
戰後の失業問題……永井亨
委員制度……小河博士
隣保事業……眞江孝之
癩豫防に就て……光田院長
委員制度の研究……各實驗者談

斯くして十四日午前中修了し田子局長の式辭にて閉會式を擧げ講習證書を交付せり內務省に於て餘程方針を變へたるものと見ゆ從來の講習會は主として兒童保護と感化救濟事業なりしが今回の講習會は社會事業の根本的方面に重きを置き食料問題、住宅問題、國民の生活問題より失業問題等に主力を注ぎたり水野內務大臣の如きも餘程此點に注意したるものの如く十日午後五時より一同を霞ヶ關の官邸に招待し茶菓を餐して一場の挨拶を述べしが其の席上に於ても社會問題の根本的解決は博愛仁道の精神より國民生活の安定を計るにあり云々と述べ一に諸君の努力を請ふと大いに一同を激勵せり講義の內容其他の重要なる社會問題の點に至りては何れ歸連後改めて

本誌々上に之れを紹介する事とすべく玆には單に川村内務次官の告辭のみを紹介せん。

川村内務次官の告辭大要

社會事業講習會を開くに當り一言諸君に告ぐ社會事業といふ言葉は世人の了解が十分でない或時代には社會主義の實行と混同し易かつた爲め之を避けて以前は感化救濟事業と稱したが感化救濟事業では十分に事業の意義を言ひ表はしたものと云へない社會事業とは博愛人道の觀念に依り弱者を救濟すると共に社會共存の理法に依り根本的將た積極的に社會の缺陷を補正し共同の福祉を增進するを目的とする事業をいふのである。

古へ人文の未だ十分に發達せぬ而して生活問題の複雜でなかつた時代には單に弱者窮迫者を救濟するを以て足れりとしたが文化が進み生活が複雜となり社會事情が込み入つて來た今日では事後の救濟のみでは足りない卽ち一歩を進めて豫防的事業建設的事業が必要となつて來るのである而してそれは國家の行政として又は篤志者の博愛事業として爲すべきものたるのみならず社會が一の有機體であると論ぜらるゝ今日に於てはどうしても社會自から之を處置せねばならぬのである斯る理由があるから消極的の感化救濟事業では足りない乃ち社會事業と稱するに至つたのである。

斯の如く社會事業は社會共存の理法に依り社會連帶の責任を以て爲すべき事業であるに拘らず社會は共同生存の目的を完うする上に甚だ冷淡である殊に我國に於てそれが甚だしい夫れは社會事業の何物たるかを了解せず隨つて又社會事業は如何に經營すべきもの乎といふことを知らず共同の福祉を增進するは社會の義務であり責任であることを了知せざるが爲めであると思ふ内務省が明治四十一年の秋に斯業に關する講習會を開催して以來中央に地方に此講習會を開催して來たのは之に關する智識を與へ研究の資料を供給し以て斯業の完全なる發達を期せんがためである。

從來は第二の國民を健全に育成するといふことに注目し兒童保護問題を中心として講習會を開會したが戰時より戰後に亘り經濟界の變動に伴ひ生活問題は愈々複雜となり又外來の思潮に支配されて思想界に變調を來たしたので社會事業講習科目も從來とは自から趣を異にせねばならぬことになつた卽ち今回は夫々專門大家に講師を囑託して此講習會を開會するに至つたのである蓋し當面必須の問題であることを認めたからである。云々



東巷西街

◆火見櫓の鳶見たやうに莫迦に高く留つてるのが日本の物價である◆それを引卸さうと思つて政府は警察力まで藉りて懸命に努めて居るが頑迷不靈の物價先生なか〳〵容易に降參しない◆物價が高くなつたので輸出が振はず逆に亞米利加から揚子が來る獨逸から下駄が來る支那から雨傘が來るといふ始末で安い外國品が大手を振つて日本の内地を切捲くつて居る◆それと同時に日本の内地に支那の雜貨商や料理屋や文房具屋が盛んに發展する◆東京の近在には玉子や南京豆の産地があるが此頃は支那から安い玉子や南京豆が輸入されるので忽ちそれに壓倒される◆商内に拔目のない支那商は乾海苔のやうな物まで形から味まで日本人向に仕立てゝ輸入する◆それ計ではない賃銀が廉くてそして勤勉な支那の勞働者までがドシ〳〵日本内地に侵入する◆物價高と共に勞銀も高くなつたので支那勞働者の日本侵入は日本の勞働者に取つて正しく大なる脅威である◆常には餘り勞働者の肩を持たない東京の警視廳が東京在住の支那勞働者を驅逐したのは變だ◆まさか我が勞働者のために露拂ひを仕つた譯でもあるまいが他國のものを無暗に追ひ散らすと云ふは好くない事だ◆日本は巴里會議に人種平等案を出し日本人は北米加州の邦人排斥に己れ憎ツくき赤髯共と悲憤の涙を絞つて居る◆それを考へたら他國の勞働者を警察力を以て驅逐するなどいふ事は出來ない筈だ◆水は低きに就き物は安きに就く日本の物價や勞銀が火見櫓の鳶見たやうに高くなるから安い品物や人間が入込むのだ◆滿洲に日本の勞働者が思ふ樣に入込めないのは賃銀が安くてそして勤勉な支那の勞働者があるからでは御座らぬか◆支那通のミラード氏やブランド氏は『日本人は商人としても農民としても將又た筋肉勞働者としても總て支那人に劣る』と言つたのは殘念ながら眞理である◆支那學者の稲葉君山君も『何分にも支那の勞働者は勤勉で勞銀が安いから朝鮮人は中

すに及ばず日本内地の勞働者も次第に其の勢力を侵蝕されます』と言つた◆勞働ばかりでは無い商業に於ても日本人は支那人のために着々として朝に一城を抜かれ夕に一廓を切崩れつゝある◆此の現象は滿洲において特に顯著でそれが近來益々甚だしくなつた小賣商業から卸賣商業まで勢力侵蝕を受けて居る◆大連の土地家屋所有者は曾て日本人七分支那人三分といふ割合だつたが此頃は半々になり惡くすると支那人七分日本人三分の割合になりさうだ◆土木建築請負業の如きも段々支那人に切込まれる何ゆゑ切込まれるかと云ふと工賃が安くそして日本人以上の技術を待つて居るからで詰り實力があるからだ◆特産商だつて支那人の方に成功者が多く日本人で眞實成功した者は尠ない錢鈔取引の如きは殆ど支那人の舞臺だ◆その結果は折角注ぎ込んだ金が支那人の懷中に入つて日本人は鳶に油揚を浚はれてポカンと口を開いた鼻垂小僧の格だ◆理屈を捏ねたり惡口を叩いたり悶着を起したりして騷いでる内に實力は着々として支那人の手に移りつゝあるのだ◆此分では旅大租借期限問題が起らうと起るまいと關東州は遂に支那人の關東州となるだらう◆日本人は文化生活を高調して贅澤になり實利實益を說いて投機虛榮に走りそして墮落する◆然るに支那の商民や農民や勞働者は絶ゑず額に汗して算盤と鍬と鶴嘴とで實力を作りそして根強く發展する◆利己主義で拜金宗で甚だ穢ない所があるから此點は學ぶべきでないが此頃の日本人のやうに上ッ調子になつても困りものだ◆歐米の事とし言へば味噌糞一緒くたに眞似るので品物が高くなり勞銀が高くなり生活が上ッ調子になるのである◆近頃は留學生や洋行者までが外國に往つて一等國民面をして贅澤な眞似をするので日本人ぺケ〱と言はれて居るげな◆質素堅實にならない限り日本人は支那人に仕て遣られ歐米人にまでも嫌はれる◆一等國民とは火見櫓の鳶然と高く留ることではない速かに惡夢より覺めよ然り而して浮華輕佻の陋俗を去れ。

不幸中道にして斃れた早川滿鐵會社々長

滿鐵會社々長早川千吉郎氏は在職約二年にして斃れた。あと約三年あり、その在職二年間は謂ゆる瀬踏みの時代であつて、之から眞味に本式に遣らうといふ間際に、不時の病に罹り、沿線巡視中奉天に於て不歸の人となつたのだ。喪を發したのは大連に靈柩の着いた十月十四日であつたが實は十三日に易簀したのである。越ゑて十六日、滿鐵本社において嚴肅なる告別式が行はれ、其日の午後四時、靈柩は夫人、令息、令弟、滿鐵理事及び其の高級社員等に擁せられ、何萬といふ多數の日支人に送られて、滿洲に最後の悲しい別れを告げた。葬儀は二十二日東京の鶴見總持寺において執行された。

滿鐵の首腦者は總裁時代が後藤、中村(是公)、野村、中村(雄次郞)の四代、其後に理事長時代があつてそれが國澤、それから社長時代となつて野村より早川に移り、早川氏は卽ち滿鐵七代目の首腦者であつた。滿鐵會社に龜裂が入つたのは野村總裁時代の伊藤大八副總裁事件の折で、實に大正三年六月の出來事だが、總裁が社長といふ名に改まり、其の社長に野村氏が二度の勤めをした時、又もや中西副社長を中心に問題が勃發し、大正九年竟に正副社長の辭職を餘儀なくさせた。之がために一層滿鐵の影を暗くした。伊藤副總裁事件といひ、中西副社長事件といひ、其の勃發の原因は天下公知の事實だから、今玆に之を言ふ必要はない。故早川氏は實に滿鐵の第二回騷動の後に社長となつた人で、それ丈け、早川氏が其後の滿鐵を如何に切廻すべき乎といふことは萬人の一齊に注視凝目する所であつた。

早川氏は喜んで滿鐵社長の任を引受け、朝鮮を經て滿洲に第一歩を印した時、先づ奉天に張作霖氏を訪ひ、そして着任後絕ゑず日支の共存共榮を高調したのみならず、責任の地位に在る身分として、之を唱ふると共に、着々之が實現に骨を折つた。共存共榮と云ふことは、夙に識者の唱道した言葉で、何も早川氏の主唱といふ譯ではないが、滿鐵社長といふ責任の地位に在る人が常にこれを高調し且之が實現に努めたのは、一般にいゝ感じを與ゑ、殊に支那人は

非常に之を多とした。故早川滿鐵社長が歷代の滿鐵首腦者中類ひ稀なる人望家となつたのは之がためである。併し故早川氏の人望家であつたのは、其故許りでなく、一は資性の然らしめた所だ。

一言以て掩へば、故早川氏は德の人、量の人であつた。客を好んだのは天性の然らしめた所で、凡ゆる階級の人士に接觸し、周公の吐哺握髮も三舍を避ける程、八方に應酬して倦むことなく、そして如何なる人にもやんわりとした溫味のある好い感じを與ゐた。寬宏長者の風ありとは實に故早川氏の如き人を言ふのであらう。既に德の人、量の人であつたから、機智と權略はなく、何等の術策を弄せず、赤心を直ちに他の腹中に布き、何處迄も誠意と眞面目で一貫した。日支の共存共榮も人氣取りの政略的に唱ゐたのでは無かつた。茲に於てか、滿鐵社員は早川社長を慈父の如く敬愛し、二度も龜裂が入つて暗くなつた滿鐵が見る〳〵明るくなり、春風春水一時に到るの觀を呈し、滿鐵以外の日支人も早川氏を德として之を慕ひ、隨つて種々の期待と囑望をなし、早川大明神と崇め敬ふ程の有樣となつた。不幸中道にして斃れたのだから、滿鐵社長としての故早川氏の事蹟に就いては、特に取立てゝ言ふべきものは無い樣だが、共存共榮主義を中心として對支關係を圓滑にした事、北滿政策を樹て其の第一着手として哈爾賓に國際病院の建設を企劃した事、滿蒙中央銀行の急を提唱した事、文化的施設と社會事業の擴張に意を用ひた事、其他產業の振興、資源の開發、鑛業の刷新、港灣施設の改善等にも心を致し、相當の抱負經綸を有して居たことは明白だ。滿洲の日支人が早川氏に種々の期待と囑望をなしたのは、其の德と量の爲ばかりでなく、早川氏が必ず滿蒙の文化的開發に一步を進めて行詰つた滿洲に活を入れるだらうと一般に深く信じて居たからでもある。

私が早川氏に最も敬服した一事は故人が滿洲に骨を埋める決心で滿鐵社長として飽くまで滿蒙開發に當る覺悟を有つてゐた事である。一日氏と滿蒙談を交はし、私は無遠慮に『貴下は夙うから大藏大臣に擬せられて居る、貴下にもまた其の野心があるとの取沙汰がある、若し大藏大臣に任命されたら、貴下は滿鐵と滿洲を振捨てゝ中央政府の人となる御考ねなるか』と問ふたら、早川氏は呵々一笑して『いろいろとそんな噂が立つが、私には毛頭左樣な野心は

ない、大藏大臣となつて一國の財政を切盛りするのも愉快だらうが、單に大臣になつたと云ふ丈では詰らない、それから思へば、滿鐵社長として滿蒙大陸の上に働く方がいくら愉快か知れない、國のためには何も地位や境遇を彼れ是れいふ必要はない、私は日支共存共榮を衷心の目的として此地に骨を埋める覺悟で努める』とキッパリ言ひ切つた。其の態度がまた何處までも眞面目であつて、少しも飾るところがなく、卒直、平易、直截であつた。

然るに此の誠實温厚なる滿鐵社長、覇道主義でない王道主義の人、徳と量の人、そして衆望を一身に蒐めた早川千吉郎氏は既に此世の人でない。而して其の斃れたのは、腦溢血といふ恐るべき病氣のためであるが、斯樣な病氣に罹つたのは、着任以來、八面に應酬し、四角四面に切つて廻した爲めで、卽ち職に殉したのである。自愛が足らなかつたと云へば云へるが、骨を滿洲に埋める覺悟を抱き、身命を堵して働いたとすれば、實に立派なもので、其の高風及び人格は、死後も尙ほ永久に活きた力となつて多くの人々に感孚するだらう。謂ゆる最明寺時賴式行脚と言はれて、滿鐵現業員の執務ぶりと其の疾苦を見るべく、沿線巡視の途に上り、九月三十日、奉天小學校講堂において社員に訓示演說中、俄然卒倒して人事不省に陷り、一時危機を脫したと言はれたのに、竟に起たず、溘焉簀を易へるに至つたのは、戰士が戰場に斃れたと同じ樣なもので、其處に死の光輝があり、他の龜鑑ともなるのである。

滿洲に於て職に殉じたものは、滿鐵社員にも、其他にも可なりにあるが、滿鐵社長として殉職したのは早川氏を以て其の嚆矢とする。そこで、滿鐵では故社長の毛髮の一部と前齒一本を讓り受け、社長在世中の一計畫であつた殉職者の社殿を滿洲の適當の地を相して建設し、故社長の靈と共に殉職社員の總てを此內に祀り、每年定期に祭禮を行ふとのことであるが、洵にいゝ思ひ付である。出來る事なら分骨して貰つて『故早川千吉郎之墓』といふ墓碑を遼東半島の一角に築くことにしたい。滿洲に骨を埋める決心のあつた故人の事であるから、斯くすれば、在天の靈も滿足するであらうと思はれる、又それは一般在滿人士の龜鑑ともなるだらう。

大正十一年十月秋風淅瀝たる日

霧島町の無聽書房に於て　山田芙峰

川村新滿鐵會社々長

人望家であつた故早川滿鐵會社長の後を襲ふ人は餘ほど確かりした人物でないと、前任者好評の反動を受けて、意外な不評判を博せぬものとも限らない人氣など構はぬと言へば夫迄だが、大きな仕事をするには、先づ人心を收攬し、多くの者に希望を持たせ、兎も角も信望と期待を囑せられる樣にしなければならぬ。此の邊の骨法はなか〳〵難かしいもので參禪の工風を積んだ丈け、故早川氏は流石に能く此の呼吸を解してゐた。去つたものを惡くいふではないが、山縣前關東長官は、人氣などいふ事に頓着せず、獨斷專行、一意所信を斷行した人であるが、惜いかな思想が古かつた、政治家としての資格に缺くる所もあつた。それから思へば、伊集院現關東長官はなか〳〵練れた人で、群集心理といふことを知つて居り、畑が畑だけに外交の機微には精通して居る滿鐵社長も人物が大きくなくつては勤まらない。野村龍太郎さんのやうな人物を持つて來ると、お飾り物の木偶漢となつて了つて、內部から屹度問題を起すことになる。故早川氏は後藤第一總裁に次いでの人物であつて、故人のために暗くなつた滿鐵が見る見る明るくなり、その明るみが滿鐵以外の方面にも五光の如く輝いたのであるから、八代の滿鐵首腦には餘ほど確かりした人物が必要だ。

政府も此邊を考ゐたものと見ゐて、財界の大立物たる和田豐治氏に白羽の矢を向けたところ、和田氏は內地財界に無くてはならぬ人物で、富士紡も躍起となつて引留めたので、此の白羽の矢は見事に的を外れて了つた。甚だ不手際であつた。そこで政府は第二の弓をよッ曳いて、今度は人目に立たぬ樣にと內々二番目の人物を物色し、そして內務次官川村竹治氏に白羽の矢を立てたところ、之れはお手近のものなので、固より的を外れる道理なく、閣議決定直ちに滿鐵社長任命といふ鮮かな運びになつた。さて川村新社長の人物はと云ふと、その實際のところは能く分らないが、帝國大學卒業後、遞信省を振出しに遞信事務に鞅掌し、それから內務省に入り、書記官と參事官を勤め、累進して臺灣總督府內務局長となり、次いで三たび知事に歷任し、原內閣時代に警保局長となり、古賀廉造氏が阿片事件で失脚辭職するや、其後を襲ふて拓殖局長官となり、其の時代に

一度滿洲を視察した事があり、加藤現内閣となつてから更に進んで内務次官となつたのである。引續き官界を游泳した人なので、官僚臭味の人とも思はれやうが、落付いたなか／＼腹の出來た人物で、それに頭が新らしく、融通の才もあり、相當に人を容れる量もあるといふ事だから、滿鐵の大世帶を統ぶる人として必ずしも不適任者とは言へまい。

其の經歷から云ふと、内務の行政と拓殖事務には豐富な智識を經驗を有つた人であると云ふことが首肯かれるが、滿鐵社長の資格に必要な理財と外交の二ッに乏しいのは少しく殘念に思ふ。併し人物が大きく、融通の才があり、そして人を容れる雅量に富んで居るとすれば、外交には練達した伊集院關東長官が居ることでもあり、又社内に松岡洋右氏といふ外交畑で養つた理事もある事だから、是等の人に聽き又その獻策を入れ、故早川前社長が種を蒔いて既に萌芽さした日華共存共榮の主義を大きく廣く踏襲し實行して行く以上、必らず相當にやつて往けることゝ思ふ。理財方面は聊か問題だが、それも理事に適任者を得て能く其人に信任するならば、來年度豫算は已に決定した事でもあるから、四億四千萬圓の大身代となつて財政上却つて不如意を感ずるに至つた現在の滿鐵に相當のゆとりと明るみを付けることも出來るだらう。適度の整理と共に財政上思ひ切つた積極手段を講ずることも出來やう。

川村新滿鐵社長が内務の行政と拓殖事務に豐富な智識と經驗を有つて居ることは、其の經歷に徵して明瞭だが、此點において川村氏は滿鐵社長としての資格を備へたものと言へる。何となれば、滿鐵會社の事業は鐵道、鑛山、海運等の外に地方事業として附屬地行政、土地及び建物、市街經營、衛生、教育警備、產業及び商工業の諸施設を實行し、而して其處に普通の商事會社と異なる滿鐵の特殊使命が含まれて居るからである。川村新社長は恐らく此點において異彩を放つことであらう。吾等の殊に新社長に期待するところは、内務次官としての時代に川村氏が近代の進步的社會事業に十分の智識と諒解を有つて居ることである。それは別項に揭ぐる柴田本會評議員の報道にかゝる内務省内開催の社會事業講習會に水野内務大臣に代り次官として述べた川村氏の告辭によつて見ても明白である。地方事業の一に屬する滿鐵の社會事業も進むことゝ信ずる。

近代の進步的社會事業

社會教育の普及發達を計らねばならぬ

今回政府に於て新に社會局を設けて勞働問題を統一的に取扱はしむる議あるに對し社會教育局の設置並に新社會局と文部省との關係に就き乘杉社會教育課長は左の意見を發表した

方今我國は前古未曾有の重大な時機に際會して居る即ち都市では工業勞働や住宅難の諸問題が紛起し農村では地主對小作人の紛爭や農村振興の諸問題が惹起し更に都鄙の別なく速に其の對策を講せねばならぬ問題としては物價の調節や民風の改善や思想の善導等の如き極めて重要な事項がある其處で之に對する社會政策の調査研究並に之が施設の中心機關として政府が新たに社會局を設けらるゝは洵に喫緊の要務であること今さら論ずる迄もないのである從來此の急迫せる社會事情に應じて施設せられ又將來計畫せられんとする所謂社會事業なるものゝ多くは現實的應急的の對策であつて決して此の問題の根本的解決策にあらざることは深く考ふる迄もなく明かなる所である之を人の身體に譬ふれば社會事業なるものは恰も病氣に對する醫師の應急的治療であつて其の疾病は之を癒やしても豫後の攝生を必要とすることは勿論寧ろ斯かる病氣に罹らざるやう豫め注意することの極めて肝要なことは今玆に喋々を要せぬ所である。

社會問題に對しても此の應急手當以外に常時に於ける基礎的根本的施設を企圖する所がなくてはならぬ而して基礎的根本的施設とは何かといふに申す迄もなく教育事業で就中此の問題と密接なる關係を有する社會教育的の諸施設であると信ずる以上の主張は社會事業に關する一般的趨勢を觀れば明かに之を首肯することが出來る凡そ如何なる社會事業も其の始は殆んど凡てが單なる慈善救濟事業で其の多くは私人又は其の團體の經營する所であつたが次で國家的公共的經營に移り又消極的救濟政策から積極的保護政策に進步し更に三轉して其の根本的基礎的救濟たる所の社會教育的政策に進化するも

のである即ち現代に於ける一大社會的疾患ともいふべき貧困に對する社會事業に就て見んか救貧事業先づ起り更に其の根本に遡り防貧の必要を痛感し更に一般的防貧事業から積極的敎育的防貧事業に進化して來た現に英米獨等に於て努力せらるゝ貧困不就學兒童の就學保護學校、給食及び保育學校の設立等の如きは之が好適例である勞働問題にしても單に勞働者の身體衞生其他の保護の爲めに就業時間制限、少年婦人に對する夜業禁止等の外之が根本的恒久的解決の基調として勞働者の敎育を振興し其の德性を高め敎養を深くする敎育施設がなくてはならぬといふ樣になつた又之を農村問題に見るも單に當面の問題の解決のみでなく其の根本として農民をして貧富を論ぜず出來る限り敎育上の機會を得せしむる所の施設を講じ其の敎養を深くし各種の本業並に副業に關する知識技能を練らしめ更に生活の趣味を養ふ爲めに地方に適切なる娯樂を提供するに力むるに至つた乃ち英國では成人勞働者に對する成人敎育に熱心なる外、義務補習敎育制度を設けて農民の敎養を深くせんとし丁抹では有名なる國民高等學校を設け農閑期に於て農民に對して各方面の敎養を加へて居る此の他國民の保健衞生にしても生活問題に對する施設を見るも同樣なる趨勢であつて民衆の體育設備を講じ榮養料理に關する知識技能を普及するに日も是れ足らない位に努力する國もある。

要するに今や世界各國に於ては何れも國家社會發展の基礎事業として社會敎育に努力して居る我邦に於ても此の諸外國に於ける社會敎育の趨勢と同じく社會事業と相並んで社會敎育を振興し以て消極と積極、救濟と豫防、現實的事業と基礎的事業と相並行せしめ其の效果を大にし社會國家の繁榮と發展を期せねばならぬ秋ではないか若し然らずして單に社會事業のみにて此の急迫せる社會問題を解決せんとする時は如何に努力しても其の效果微弱なりと言はねばならぬ由來我邦では現實的具體的で眼に見ゆるものは比較的理解もあり經費を投ずることを惜まないが基礎的のものであつて直ちに效果の見ゆない事業に對しては其の理解も乏しく從つて其經費を投ずることも少い現に我が社會敎育に就ても此の喫緊な敎育施設を統一的に研究調査し指導奬勵する所の有力なる中央機關がないことは我が社會敎育發展の爲めに甚だ遺憾とせ

ざるを得ない故に此際速に此の時運に應ずるやうに社會教育局を新設し我邦社會敎育の發展に資するは最も緊要なことゝ信ずる。

獨逸の住宅方針

徹底的で親切な住宅局

如何なる文明國に於ても今日は住宅難と云ふことが世界共通の苦悶になつてゐるドイツに於ても同樣この叫びが盛んで當局者は頻りにこれが救濟に努力してゐるソコで獨逸には住宅局といふ一つの役所が獨立して居つて住宅問題を取扱つてゐる借家するものは勿論間借りするものでも一々この住宅局に屆け出なければならぬ大きな家を持つてゐるもの家族の少いものは借家法によつて强制的にその一部を間貸しなければならぬ住宅局には各家屋の精細な圖面と調査書とがあつて常に各家屋の空間及び空家を檢べてゐる故に家を借りたり部屋を借りたりしようと思ふものは住宅局の相談部に行つて相談して見るのが一番宜しいソレから借家や借家人間の問題で家主と借人との間に何か厄介なことが起つたら早速住宅局の相談部に仲裁を持ちこむ事となつて居る。

ドイツの役所や會社やその他の公共團體的のものには必ずこの相談部といふのがあるが住宅局の相談部ほど親切なところはない小家族のものが大きな家屋をもつてゐて困る場合小さな家屋と交換したい時にはこれも住宅局に賴んでおけば宜しい住宅局にいつて見るとよく交換とか空家とか貸家とかいふ廣告が揭示場に一杯に貼出されてある住宅難を救ふため戰爭に用ゐた假營舍の古物やその木造の小さな家を處々の築地に建てゝ之れを市民に供給してゐるドイツの貸家法は世界中で一番進歩したものだといふ話である通讀して見ると隨分嚴に過ぐるものだと思はれる節もあるが大體に於て成程と思はせる點が多い第一に家賃を限定して當局の許可のない限り各自勝手に値上げすることが出來ぬ第二に家主が新たに家屋を建てゝ之れを貸家にせんとする場合建造費の節約をして謂はゆるガタ普請をすることが出來ぬようになつて居る之れは建築規則の上にも固く定めら

れてゐるドイツの家屋は都會と田舍とを問はず總じて頑固に出來てゐて存外不風流な藝術味の乏しいもので他の歐洲諸國の家屋に比べて殺風景な感を與へるも之れはフリェドリヒ大王以來の家屋に著しいことで大王の建築方針が徹底して居るのである大王は風で吹き飛ばされる樣な紙箱式の家を建てはならぬ建てる以上は萬代的のものを建てろといつて此の爲め各縣市郡に信用組合式の資金融通機關を創設し一介の土百姓でも家を建てる時には頑固な萬代物を造らしたそして其の建築のために借りた金は年賦で返濟し親が支拂ひ切れぬ時は子が支拂ふやうにした此の方法は興味あるもので殊に細民のために深く考へたものである。

今獨逸では住宅難を救ふために住宅局で頻りに新らしい住宅を建築中であるその建築費用は現在の家主から强制的に公債を募つてこれによつて資金を充たして居るその公債は新築した家屋の家賃によつて返濟するものでその利率が存外いゝので左ほど反對もなく事業が進捗しつゝある唯こゝに問題となつてゐるのは貨幣相場の變動の差異から生じて來る損失で之れに對して一時問題が起つたがこれも利率換算の方法が定められたので間もなく落着したさうだ。

支那の勞働問題

最近の勞銀と新人の主張

支那勞働者の生活は極めて簡易であつて勞働賃銀の低廉なる一事は現在我國に於ける勞銀の不廉なるに比較して其の懸隔の甚だしきに驚かざるを得ないが併しながら支那は何時までも原始的社會として存在せず支那人は何時までも原人的生活に滿足せずとすばれ生活費の低廉なるも勞銀の低廉なるも或る時期までの事であるとせねばならぬ現に支那に於ける新知識を以て任ずる連中は勞働問題、勞銀問題等を盛に論議して居る。

支那の勞働問題に關して最近世間の注目を惹いたのは北京大學教授陳啓修氏の論文である。同論文に據れば支那勞働者の數は支那人を三億五千萬と假定し十六歲以上五十五歲以下の勞働能力あるもの約七割ありとすれば二億四千萬人

が勞働能力を有する事となる內自由勞働に屬する者の數を分類すれば農業勞働者が約二割の七千萬人手工勞働者約二分の七百萬人、機械勞働者約一百萬人、苦力勞働者約八分の二千八百萬人、卽ち此の四種の自由勞働者は合計一億六百萬人にして總人口に對して其の四割に當り大部分は他人によつて衣食を得つゝあるのである。外に奴隷的勞働者（婢妾、幼伶、娼妓、藝徒）が一部分を占める是等は何等の生産をなさぬのである其の勞銀は大約左の通りである。

（一）農業勞働者一日銀元八仙乃至十五仙（二）手工勞働者師匠一年銀四十元乃至一百元、徒弟一年銀十元乃至十二元、家內手工者一日銀元六仙乃至十仙、工場手工者一日銀三十仙乃至三十六仙、（三）機械工業勞働者一日銀十仙乃至三圓六十仙、（四）苦力一日銀二十仙乃至六十仙

又其の勞働時間は自作農や小作農や大工、左官等の自分で自分の事をする獨立勞働と他人に雇はれて勞働する賃銀勞働とに拘はらず多きは一日十三時間乃至十八時間少きも九時間乃至十時間にして勞働時間は極めて長いが併し其の能力は甚だ尠い機織勞働の一種に就いて見るに英國の職工は一人每日七百六ヤールを織上げ而して銀四元七十八仙を得るといふに支那織工は一日二百十ヤールを織上げ一元四十仙の賃銀を得るに過ぎない故に英國にて一ヤールの生産費六厘七毛七糸を要するに支那にては一仙一厘四毛三糸を要す之を米國に比すれば其能率更に低下し支那勞働者は米國の勞働者に比し約三倍の生活費を要する事となる而も現在支那勞働者の勞銀は經濟上の所謂極端能率を極むるものにて資本家は成るべく最少の賃銀を以て最長の時間勞働を強ふる結果却つて其の勞働能率を低下し延いて資本家の不利を來しつゝある。

陳氏は右の如く支那勞働者の現狀を敍述し（一）勞銀少くして勞働時間の多き事、（二）資本家が任意に利益を壟斷する事、（三）勞働者自身の無智なる事、（四）交通不便にして勞力移動困難なる事、（四）勞働の需要供給に關する調査分明ならざる事等を擧げて其の改善を促し同問題の解決案としては勞働者の大團結にあるを高唱し『外國の勞働團結は既に職業的より產業的に國家的より世界的に進步しつつある吾等は速かに用意して彼等と同一方向に疾走し萬國勞働會議に一椅子を得なければならない而して是に對する準備の第一階段は

勞働者の産業聯合會を組織するにあると斯う勞働者を煽動して居る此の一文が支那苦力勞働者に如何の刺戟を與ふるかは疑問であるが支那の新知識連中が歐米の勞働問題を藉りて支那の勞働問題を喚起し同時に智勇辯力ありて不遇轗軻の間に落魄せる徒が相率ひて勞働運動の陳渉呉廣たらんとするは明白の事である。（在北京、肅愼生）

少年裁判所と少年矯正院

不良少年少女の善導良化

十四歳から十八歳までの不良少年少女の犯罪中に警察處分で濟まぬ分は檢事局から裁判所へ廻され公開の法廷に持出されて審理判決し幼年監獄に投せられて居たが一度犯罪人となり前科者となると自然社會から指彈されて行末の永い少年の前途は全然破壞されて了ふので今度遲蒔きながら歐米の例に倣ふて少年のみを裁判する特別裁判所卽ち少年裁判所が明年の一月一日から東京と大阪との二ヶの大都市に開かれる事となつた。

東京少年裁判所は麴町區富士見町に建築を急ぎつゝあるが此の裁判所の管轄は東京在住者の外關東一帶を網羅し大阪は大阪在住の外近畿一帶に及んで居る本來ならば日本全國に及ばねばならぬのであるが云はゞ我國では最初の試みであれば此の結果に依つて漸次全國に普及させる事になつて居る。少年裁判所の主なる職員は東京、大阪を通じて專任の審判官八名（奏任）保護司十六名（奏任又は判任）を置き之を東京、大阪の少年裁判所に二分して配置する事となつて居る最も保護司は十六名の專任以外に囑託保護司（奏任又は判任）として五十名位を民間から名譽職として推薦採用する方針だ審判官は最も温情に富み法律を解し子供を理解し常識に富める人から又保護司は教育者（男女）の樣な子供の指導誘掖に趣味を持つ人の中から特別任用で採用する方針で廣く人材を物色中である。元來審判官は判檢事以外の在野の紳士からも採用する方針だが其の物色に困難なる爲め八名とも全國の判檢事中是まで幼年裁判を專門に擔當して居た人々を選擇して採用する事となつた又保護司も廣く人材を物色し

た結果十六名の專任者は教育事業や社會救濟事業に努力して居る方面委員と司法省の屬官中で能く子供を理解し且つ常識に富んで居るものを任命する事になつた。

何分思想のまだ固まらない少年を濟度する事とて餘り思想の古い人でも困るし又新し過ぎる人でも困るし思想動搖の激しい現在であるから中正穩健の思想の持主であつて而も兒童愛護の精神に富むところの人を要するので三段論法の法律一點張の人を避けるため當局者は頗る苦心したらしい。

少年裁判の開廳と同時に矯正院が開院さるゝ事は報したが開院さるゝ矯正院は東京では府下八王子在由井村大小比企に地坪三萬坪を買收し大阪では大阪府下茨木に同樣の地坪を買收し目下其の工事を急ぎつゝあるが兩矯正院とも大正十二年度には各百名を收容する事になつて居る矯正院に關する院長以下職員に就ては司法省に於て人選中であつたが十月上旬勅令を以て官制當布の段取りとなつたので職員の人選も大略内定したとの事だ聞く所に依れば矯正院に關する職員は院長（奏任にして三等官）教官は東京、大阪を通じて十六人（奏任又は判任）醫官（奏任）各一人宛、又中等學校生徒監に等しき司令部長（奏任）各一人宛、又司監部長の命を受けて院生の體育に行動監視する司監助手（判任）は東京大阪を通じて十名、其他判任書記若干名と小使等を置く事に決定して居るが此等の職員の選擇は中等教育又は感化事業に從事し居り子供をよく理解し居るものより人選したので院長は全國の中學校又は師範學校中の模範校長を院長に任命する事になつて居る又十六名の教官は中學校又は實業學校の教諭中の模範教諭を任命する事になつて居る院長に次いでの重大責任ある司監部長は全國中等學校生徒監中より人選して院の成績を擧ぐる事に努力して居る又十名の司監助手は陸軍曹長以上の軍人を任命して院生の擧動並に體育を擔當し不良少年少女を徹底的に矯正する方針である矯正が目的なれば院生に寸暇も與へず學科以外に實業又は工業教育を授けるが商業教育は目下保留されて居る。

院生の服裝に關しては衆目を惹起する事を避くべく目下研究中だが一般中等學校の生徒と同樣の取扱ひをなす意味で小倉服に制定する方針らしい院生の收容人員は來年度は各百名宛なるが逐次增加せしめ各院共四百人を收容する事に

內定して居る矯正院の豫算丈では充分の成績を擧ぐること困難なれば司法省としては院生に對しての篤志家の寄付を受くる事となつて居るが矯正院の內容は中學校、幼年學校、實業學校を混合したもので更らに一層監督を嚴重にし而して院生をして退院の際は優に一本立となつて十分に自活し得る樣にする方針であると云ふ。

學校の社會教化運動

內地では餘程進んで來た

文部省では時勢の要求上學校を中心として社會教化運動の必要なるを認め昨年來全國小中學に於ける狀況を調査し今般完了した其の結果に據れば近年の學校教育は驚く程に社會化的色彩を帶び生徒は社會の人であつて學校內の生徒ではないといふ新しい時代の聲が起り一面環境の醇化といふ點よりも社會教化の中心は學校で無くてはならなくなつて居る事が明かに認められる一般に郡村の小學校にあつては都市に比し各般の文化的施設が殆んど此處に於て行はれて居る從來通俗教育の名の下に盛んに行はれた講演會は所謂社會教育の立場から考へれば其の一小部面に過ぎず今回の調査に現はれたる結果に就て見るも多くは組織的ではないが各府縣とも銳意新生面を開かんとし種々劃策努力せる跡が認められる全國小學校を通じて行へる社會教育施設は大約十三項で其の重なるものに校地校舍の社會的開放、圖書館、文庫、讀書會の開設、講習會、靑年團、處女會及び各種教化團體の劃策指導、娛樂の改善、體育及び衞生思想の宣傳等があり中等學校方面にあつては小學校に比すれば其の施設も努力も低下して居るが併しながら中にはまた非常に組織立つた計畫の下に校長及び教員が地方教化の爲めに盡力して居るものもある。

重要施設中で講師派遣は主要なるもので學校に依つては每年五十回以上地方に講師を派遣して居る所もある猶ほ中等教員が中心となつて設けて居る學會には博物學會鄉土史談會、鄉土研究會等があり生徒及び同窓會を通じて文化の宣傳に努めて居ることは力說に値するが學校開放は小學方面に比し不

徹底で學校圖書館の如き少數に限り公開し校舍運動場等の如きものの開放は未だ特定の團體に對してのみ行ふに過ぎないが之に關しては餘程考慮しつゝある傾きがある學校別に見れば師範學校は理化實驗の公開と體育武道奬勵、女學校は音樂會と女中訓練（女中の爲めに短期講習會を開くとか娯樂會などを催し又女工や藝娼妓の敎養に盡せるもの）、農學校は農事相談農産物品評會、工業學校は工業相談、商業學校では競算會（卒業生商店員の珠算競技）實習會（商業簿記商品等につき）がある一般に最近文化宣傳に就て學校生徒兒童を介して盡せるもの尠くないが特に交通道德、災害防止、兒童の保護時間尊重、社會奉仕、生活改善等に對しポスター配布、講演會、屋外講話等の方法に依て宣傳に努めたるものには絶大の力があつた國勢調査の際には其の趣旨の宣傳に小學校が盡力したことなど特筆すべきものがあると云ふが斯くして社會と學校との連絡も有意義に行はれ在來の我國敎育は愈々校門外に踏み出したのである。

小賣店分布調査

小賣値段がベラ棒に高いのは商人のボルといふ不德にも基くがその半面に品物の配給制度の缺陷があるのでこれが改善方法については學者の間にもいろ／＼論議されて居るが扨實行となると長い間の慣習や種々な利害問題がコンガラかつてうまく行かぬ憾みがある。大阪府産業部では此の點を改善すべく夙に河田博士に囑託して調査中であつたが愈々その解決策の第一歩として生産者と消費者との接近に向つて努力することに決し先づ地方向のものから手を染めその成績によつて市内にも及ぼすべく計畫を進めて居る。それと同時に小賣人の多いことが物價を高くする一つの原因で殊に好況時代にはチヨツとして店を開けば樂々と一家の生計が出來るといつた風で品物に對する鑑識眼さへない連中がドシ／＼小賣店をはじめ品物の品質などには一向お構ひなく商品に羽根が生ゐて飛ぶ樣に原價が幾らだから何割の口錢をとらねばならぬといつた筆法でボツてゐた弊風があり不景氣風が吹きそめるとコウした小賣店は今度は一家の生活費を生み出すべく賣れの減る反對に口錢を高めて行くやうな狀態にあるので商務課では愈々小賣業者の分布狀態を調査するに決定した。

滿洲に簡易生命保險實施

＝本年十一月一日より施行＝

簡易生命保險を滿洲に實施すべしとは、久しく唱へられて居た論議であつたが、關東廳當局者は世論の趨勢に鑑み、調査研究を遂げた後、中央當局との諒解を得たので、愈々十一月一日を以て、關東州內及び滿鐵沿線附屬地に對し、簡易生命保險法、同保險令、並に之に附隨する諸法規を準用施行するに決した、是れ吾人に取つて寔に天來の福音とも稱すべきものである。蓋し夫の勞働保險といひ、若くは失業保險といひ、其等が何れも重要なる社會的施設である如く、簡易生命保險もまた同樣社會的施設の極めて重要なるものであつて、それは吾等の今こゝに細說を竢つを要せぬことである。

生命保險が吾等の生命を保障し生活を安定すべき施設である事は、何人も知悉する處で、保險事業の普及せると否とは、其國の文野如何を判じ得べき程のものと認められて居る。唯然し乍ら、一般普通生命保險は、之に要する保險料を支拂ひ得る程度以上の人士に限り、之を適用し得るに止まり、然らざるものは、普通保險の恩惠に浴し得ざるの憾みがある卽ち社會的普遍性を具有し得ないのが普通生命保險の缺點である。簡易生命保險は、普通保險の缺點を補ふ爲めの施設で、其の社會的普遍的なる特殊機能を有する點に於て、何人も容易に之れに加入し、而して生命の保障と生活の安定を期待し得らるゝのである。卽ち簡易生命保險の重要なる機能は其の社會的普遍的の使命に存すと言ふてよい。

內地に於て、簡易生命保險法の實施せられたのは數年前の事で、實施當時は該保險法の主旨が充分世人に理解されなかつた爲め、其の成績良好でなかつたが、爾來保險局當局者の熱心なる宣傳と勸獎との結果、今日では一般に普及し、克く其の社會的使命を發揮し得るに至つたといふ事である。此度該保險法を滿洲に準用施行するに至つた結果、直ちに良好なる成績を收め得べしと吾等は相像しないが、其の

主旨の一般に理解さるゝに伴ひ、遂に相當の成果を齎らし得るを信ずるもので、隨って當局者の宣傳勸奬を切望して已まないものである。

簡易生命保險法の目的が社會的普遍的に各人生命の保障並に生活の安定を主眼とするにあるは、已に述べた通りであるが、更に尙ほ附け加へておきたいのは、該保險に依りて、政府保險當局者の收得せる保險料が、適切なる社會政策施行の資金に充當せらるゝか、若くは公私團體其他の社會事業に對する資金として、極めて低利に融通せらるゝかの一事である。卽ち吾人は左の二つの意味に於て、簡易生命保險の重大なる使命と目的とを推奬する。

一、各人は何等の苦痛を感ぜずに毎月零碎なる保險料を支拂ふ事に依て、所定の期限後において若くは其の死亡に依りて、保險金を領得する事が出來る。此の意味に於て、中流階級以下の何人も容易に保險加入者たるを得

二、簡易生命保險契約に依つて政府が集め得た零碎な保險料は之を蓄積して適切なる社會事業の資金に充當することを得

零碎なる民間の資金を吸收する點に於て、政府の郵便貯金は其の主たるもので、郵便貯金が社會公共事業の特別資金として、低利に供給されて居るのは一般周知の事實であるが、簡易生命保險も此點に於て郵便貯金と大なる相違はない。更に其の集め得た保險料を社會事業の資金に振向くる點も何等郵便貯金の利用と異ならないのである。關東廳遞信當局者の言明する處に依ると、簡易生命保險の實施に依つて蓄積し得べき保險料は、四五年の後には約百萬圓以上に達する見込との事である。此の百萬圓の金は今より數年の後には、滿洲に於ける社會政策施行の資金として、社會公共事業に投じ得べき資金となるであらう。是れ寔に社會政策並びに社會問題を研究し而して社會事業の促進實行に資せんとするものに取りて、喜ぶべき事であるは勿論、社會一般のためにも亦大いに歡迎して已まぬものである。簡易保險法施行に關する細目その他等に就いては更らに機會を見て紹介する事としやう。(一記者)



基督教青年會の使命と其事業

大連市敷島町の廣場に側面した處に大きな建物がある。大連基着敎青年會が卽ち夫れで、敷島町青年會館として普く人口に膾炙して居る。人口には膾炙して居るが、然し世人は該青年會を一つの基督敎傳道所と認め、又は外人の經營せる宗敎團體と認めて夫れ以上に格別の注意を拂つて居ないらしい。大連基督敎青年會は、勿論基敎の敎旨を奉ずる大部分の人達の集團ではあるが、宗敎的に其の敎旨を傳道すといふ意味よりは、其の敎旨に基ける人格主義の向上と修養との主旨に立脚して、物質的にも精神的にも、社會事業に鞅掌し、社會政策を實行して、我々の社會共同的福祉と利益とを增進せんとする一つの社會的團體たるを諒解して居る向は少ない。吾等は該青年會の成立、其の存在の主旨目的、並に其事業等を述ぶるに先だち、玆に同會の總主事である香山長一氏が青年會の綱領、目的、並に事業に關して語つた談片を掲述したい。幵は卽ち青年會を紹介し併せて之を理解し得るからである。

大連基督敎青年會は、丁度今を距る十一箇年前に米國人シー・ヴイ・ヒバート氏に依て創設されたものである。本會の主旨目的とする處は、青年を中心として、其の社會的敎化事業を布き、社會的博愛救濟事業に努力し、其他吾々の生活並に事業に亘りて、社會的施設を試むるに存し、之を概括せば、人格主義を基調として、社會共同の幸福を圖り、其の向上並びに進步に資益せんとするを主眼として居るのである。此目的を達せん爲め、本會は體育と智育及び精神的方面、卽ち德育の三方面に關して、相當施設を試み、此等三者を併せた人格主義の社會化に努力して居るといふ事に就いて世人の諒解を求めたいのである。

世上或は本會を目して基督敎の敎旨を傳道する爲の普通傳道所と認むる向がある。左れど之れ誤まれり、本會は基督敎青年會と稱するも、其の敎義を傳道する爲の機會ではない。基督の敎義を基としては居るが、其の奉ずる主旨は人格主義にある假令ば佛敎の敎義を基として人格主義を說くと何等異なる點はない。敎義に關した說示においては

基督教と佛教と自ら異なるも、其の教義上より出發する人格主義の精神に至りては、兩者間に相違はない。基督教青年會は、教義を說いて、傳道に資せんとするのでなく、人格を說いて、社會共同生活の基調たらしむるにあるので、會員の所謂信者なると否とは、固より問ふ處でない。是れ本會が單なる傳道所でない所以である。世上又本會を目して外人の經營せる一基督教會であると信ずる向あるが、本會の創設者が縱令外で人あつたとしても、今は外人經營のものでなく、邦人の經營に係る一つの社會事業的團體である。

青年會は無論青年を中心として居るが、外に少年部も組織する事となり、尙ほ壯年部にまで擴張して居る。會の組織は會員組織であるが、會員外の一般人士をも包擁するを妨げない。卽ち本會の社會的事業の施設に關しては、會員を主とするは勿論であるが、更に進んで會員外に及ぼすのは、寧ろ本會事業の主旨とする處であり、又一般人士が本會の施設を利用せんことは、本會の最も希望する處である。何故なれば、本會の爲しつゝある事業は、獨り會員のみの私すべきものでなく、社會事業及び社會的教化事業の一として一般に認知せらるべきもので有るからである。

然して本會は、近く其の組織を變更擴張して、財團法人と爲すべき計畫中に屬して居る。更に又本會の事業並に施設に對しても、新に計畫せんとするものが無いでもないが、夫等は具體的計畫の成るを俟ちて一般に發表したい考である。

以上は香山總主事が吾等に語られた談片で、基督青年會の要旨を說き得たものと信ずる。更に香山氏の談話に依りて、青年會の依て立つ使命と主張を概述すると、それは要するに青年の地位を社會的に向上するにある。之が爲には、高潔なる生活、忠良なる市民、品性の陶冶、體力の養成、智識の增進、社交の純潔、並に執務の誠實敏活をモットオとして、絕えず會員の社會的向上を圖つて居る。更に此主張を實現する爲め、青年會が所謂事業として施設して居るものは何かといふと、其は先に香山氏の說かれた如く、體育、智識並びに德育を實際化すべき施設である。卽ち左の如きものである。

英語夜學校、支那語夜學校、聖書研究會、少年英語部、通俗講演會、宗教講演會、圖書部、青年會

會報、擊劍及び柔道部、運動部、音樂部、寄宿舍
食堂、社交娛樂部、浴場等

青年會の主旨目的を果たすべき前記の設備は、今や略々完整されて居る。卽ち會員は、此等の施設に依り、自由に學び、自由に修め、また自由に遊ぶを得べく、以て品性を陶冶すべく、以て智識を增進すべく、以て身體を強健にすべく、而して堅實なる人格主義の社會の一員たるを得るのである。

現在の會員數は八百名を算し、會員外の人にして會館に出入するのも亦少くないさうである。此外に最近少年部が設けられ、それに約五六十名の少年が別働隊として出入して居る。然して青年會の役員には現在次の人々が就任して居る。

理事　小島鉦太郎、渡邊剛、尾見薫、三好三郎、福島稔、末光平十郎、鈴木政雄、廣瀨庸三

總主事　香山長一　副主事　松澤光一

體育主任　黑田善八

評議員　石本鎭太郎、濱田正稻、向井忠晴、大來修治、神成季吉、橫井實郞、田中喜介、田邊敏行、竹中政一、村井啓太郎、國澤新兵衞、梅野實、山川吉雄、安川和三郞、小西春雄、相生由太郎、小林和介、杉野耕三郎、原田猪八郎

旣に述べた如く、大連基督敎青年會は、近く財團法人組織の認可を受け、基本財產の造成に力め、一層其の事業を擴張する筈である。最後に尙ほ附記したいのは、會館內に更に高等商業學校程度の商業部を新設し、滿洲に適當せる高等商科を修めた青年實業者を養成せんとするの計畫ある事である。本計畫として、會館側空地に敎室及び講堂を建築するもので經費約計數萬圓を要すべく、大正十年度に於て略々具體的計畫を得たのであつたが、財界不況に累せられ、一時計畫を中止するの餘義なきに至つた。併し成案は已に出來上つて居るので、財界の恢復を待ち適當時期に之を實現する筈になつて居る。特に附記して他日の完成を切望するものである。

◉樹木の變色法　最近或情報に依ると獨逸の一技師は生き居る木の色素を其儘變化させる方法を發明した此の方法に依ると樹木は其根から葉の先に至るまで僅かに四十八時間で永久に其の色を變へることが出來る此原料はアニリン染料で一本の樹木には五十瓦の染料を二百リーテルの水に溶解して用ふ獨逸に於て實驗の結果極めて滿足の成績を得忽ちドレスデンの二會社が其の專賣權を獲る爲め競爭するに至つた右の變化法を施す時は家具、煙草入、ペン軸、其他の製造に資するところ多く米國及び和蘭の資本家も非常に乘氣となつて居るさうだ

婦人職業問題

箭田春子

現代文明國に於ける根本的なる社會問題は勞働問題と婦人問題でありますが特に歐洲大戰後は痛切にそれが重要視されて來ました。今日歐洲の勞働運動が組織ある社會運動となりました原因は、元より彼等の精神的覺醒にありますが、而かも此の覺醒を誘起し又助長する勢力として、彼等の經濟的發達は主要なる一勢力であると云へませう。婦人運動の今日までの發達に徴して見ても、大體上勞働運動の跡を踏んで來てゐることが發見されます。

之は主として歐米の狀態であつて、日本においての婦人運動は未だ二つながら組織的社會運動として發展して居りませんが、然しながら我國今日の社會狀態よりして、女子職業は最早問題ではなくして實際の必要となつて來て居ります。

元來良妻賢母主義を遵奉して居ります私は、女子の最高の人道的任務は良妻賢母であると信じますがさりとて從來のやうに、良妻賢母である爲には只內を守るだけで十分であるが如くに觀念する舊式な解釋は、今日實際の社會狀態が之を許さないと思ひます。賢母良妻主義と婦人職業とは密接な關係があり婦人職業の可否に就てもまた種々議論がありますが此等は相當の時日を經驗してみなければ利害を速斷することは出來ません。私は次に述べる意味で婦人職業を肯定してゐるのであります。

天才を發揮する爲に　自分の使命を正しく感じるのは人間として大切なことで、女子が自覺すれば自然に使命問題に觸れて參ります。天才ある婦人が正しく自分の使命を自覺して、その使命の爲めに進まうとし、さうして職業婦人として立つならばそれは洵に貴いことであると思ひます。

生活の安定を得る爲に　夫の收入だけで一家の經濟を十分營んで行くことが出來れば、妻は外に働く必要はありますまいが、日々高まりつゝある生活標準を維持する爲めに、夫の收入だけでは十分

でない家族が漸次增加しつゝあります。妻が如何に巧妙に內を經濟したればとて、とても夫の收入だけでは立行かれぬ場合、妻も一定の職業に從事する事は必要であらうと思ひます。特に貯蓄の餘裕ない人が一朝病にかゝりて職を辭さねばならぬ場合、又は死去する場合、妻が獨立生活を營む力を備へて居らない時は、非常なる困難に陷るか或はまた友人知己の援助を求めねばならぬ事になります。

特に經濟界の動搖の甚しい今日では、無產階級は勿論、有產階級でも何時生活の脅威を蒙るかも知れません。かうした事を思ひます時、職業敎育の必要を感じます。直接職業を求むる必要のない女子でも一朝失意の境遇に出遇ふた場合、獨立の精神と實力とを與へる爲めに、一定の時期職業敎育を授けること及び職業に從事さすことは、母たるものゝ正しく一考すべき問題であらうと思ひます。

一世の榮華を極めて東京社交界で羨望の的となつてゐた才色兼備の某夫人が、一度夫の事業の失敗から、今は見る影もない石炭賣込人となつて、會社や商館に出入し、昔に變る姿で活動してゐます。昔の榮華を夢みる事なく、「時代は私にかうした勞働を要求します」と強く云ひ切つて、自分の運命の開拓に努力してゐる、其の勇氣は安逸に慣れ易い私共の耳に大きな刺激を與へます。三宅やす子夫人の『惱み多き未亡人の生活』を讀んで、苦惱多き其の生活を知り、かうした渦卷の中を勇ましく切り拔けてゐる人の貴さを、私は淚ぐましい心持でながめて居ります若しやす子夫人が平素職業に對する理解と實力とを有つてゐなかつたならば、果して學者の未亡人として純一な愛で結ばれてゐた夫の遺子を自分の手一つで立派に育て上られませうか。純なる愛でつながれた妻の貞操は絕體のものであつて、相手の生死によつて濃淡あるものでないと信じます。亡き夫を追慕して、其の淋しみに浸りながら、夫の遺子を育て行くことを希ふ未亡人達も、生活の獨立がないならば再婚する外に途はありますまい。この狀態で健全な夫婦、健全な家族が成立しませうか。

婦人の權威を保つ爲に 世の中には權威を保つ事と威張る事とが混同されるのであります。權威を保つ事は決して威張る事ではなく、女らしく謙遜であらねばならぬ事は申す迄もありませんが、一個の女として人として一歩も犯されないだけの品位

を持つ事を謂ふのであります。日本の女子は、古來の慣習の結果でありませうが、自分の權威に對する感情が餘りに薄弱であります。口には覺醒を叫び自由を要求しながら、婦人の生命としての尊貴な貞操などになると譯もなく降參してゐます。其の原因は種々ありませうが、私は經濟的獨立の能力が無いのが最大原因であらうと思ひます。獨立生活を營む力の自己に具はれるを自覺してゐる事は、たとへ直接職業に從はない迄も、日常生活に力强さを覺ゐますから、自分の品位を墮すやうな行爲は敢ていたしますまい。人形の家のノラが自覺して家出しても、自治の能力がなければ、再婚するか、さもなくば今一つの方法が殘つてゐるばかりであります。又女子が一個の人格者とならなければ、本然の使命も果すことは出來ません。然るに女子に經濟的獨立がないために一個の人格として認められないならば、餘儀なく自活の途を講じなければなりますまい。例へば男女兩性間の道德の如きも、妻に經濟的獨立がないから妻の當然持つべき權利を蹂躙されても默許しなければならないと云ふ樣では、先づ經濟的獨立を計つて解決しなければ改善の見込みは立ちますまい。婦人の職業問題つまり經濟的獨立は婦人問題の基底となるべきもので、之れが確立して始めて婦人の向上發達が望まれるであらうと思はれます。

職業婦人を批難する論者　夫の愛の庇護の下に精神的にも物質的にも滿足の生活をなし遂げる幸福は無上の喜悅であります。かうした幸福を希はぬものはありますまい。職業婦人であるが爲に此の幸福を味ふことが出來ないといふ理由を見出しませんが、事實さうした結果があるとすれば、職業婦人の爲に悲しみます。婦人職業を否定する人は『しとやかな女らしさを害なはれたうるほいの無い女になる傾があるから家庭の女としてふさはしくない者になる』と言ふのでありますが、果して職業が災するのでありませうか。之れに携はる人々が靜かに考慮しなければならない事と思ひます。たへず反省の生活をつゞけて修養を怠らないならば、決して婦人本然の幸福と矛盾するものではないと信じます。同時に、一面家庭のみを守つてゐる婦人は、職業婦人の立場と意義とを理解し又同情して、世の批難と誤解を未然に防ぐべく後援すると共に、一層齊家育兒の任務を全うしなければなりますまい。

職業に於ける男女の差異　現代文明國に於ける諸般の職業及び勞働には、女子が男子と同樣なる效果を奏したるものと、男子に劣るものと、男子より勝るものとがあつて、男女同等に總ての職業總ての勞働に使用されるもので無いことを思はされます。之は心理的及び身體的（生理的）差異のある事を意味するものであります。女子職業の自由を論ずる人は之を否定してゐますが、兎に角、歷史的の變化にせよ、現在において男女間に餘程の懸隔があり生理的には勿論、心理的にも心理的にも根本的差異のあることを思ひますと其の職業に適不適のあるは避けられますまい。私は婦人本然の心理上から考察して精神的方面の職業に長所を見出します。

職業の社會化　秋の氣の澄み渡つた大空にプロペラーの音を高らかに響かせながら、海軍飛行機第四十號が大連に飛で來た十月六日、私も觀衆の一人として着水場に行きました。あの勇ましい行動とあざやかな着水を目のあたり見て、何ともいへぬ感激に打たれました、そして空の勇士が上陸されました時、其の成功を祝福したのであります。この心持は觀衆のすべてが持たされた事と想像します。歡迎する人、歡迎さるゝ人、共に涙ぐましい程の感激に滿たされてゐたやうであります。此の目的地に達しようとする希望と、それから首尾よく目的地に達し得た刹那の感激とがよく成功を遂げしめたのであらうと、あの時しみじみ思はされました。

飛行士の持つ此の希望と感激とは總ての職業の人に多大の敎訓を與へるものではありますまいか。希望を持つて職業に從ひますならば、職業婦人として天地の間に勇ましく生き得るでありませう。成功の刹那の感激を經驗しました時、旣に職業を通して社會奉仕を爲してゐるのであります。此處で職業が始めてパンの爲のみでない事になり、そして職業が眞に神聖化し更らに社會化するのであります。さきくあれ、勇ましくあれ、そして女らしく飽までしとやかに步まれと心から祈ります。（談）

多くなつた職業婦人

＝大連の職業婦人調べ＝私の見たところ＝

白木冬洋

古い文明の缺陷を認識したその中から、我々は更に新しい黎明を感じて覺醒した。時代精神を象徴する改造の二字は人類の間に標語化された。所謂人類が今日まで創造し建設し來つた凡べての文明は一大轉換の期に遭遇したとも云へやう。此の秋に際して人間としての要求は人間の生命的慾望と社會的慾望を基礎として起る。新しき時代へ轉回するに際しての婦人運動も亦茲にその意義と價値を齎らすものでなければならない、而して其の覺めたる婦人は新文化を產生する爲めにその運動の必要を感ずるやうになつた。自由の獲得とか或は恢復とかを目標とする特殊の運動は、伸びて解放の叫びとなり、個人的にも、社會的にも、内外面ともに婦人としての領分は斯くして展けられて行くのである。

勞働の神聖化をその紅唇に美歌するやうになつた職業婦人の一現象もこの素晴しい婦人運動と共に時代が生んだ一つの傾きとして社會面に投げ出されたこの滿洲にも滿鐵會社を筆頭に多數の若い婦人達が夫々の機關又は團體に自己の職業にいそしんでゐるが、左に列記する數字を以てしても略大連に於ける職業婦人の一班が窺はれるであらう。

△滿鐵婦人從事員　滿鐵會社に從業する婦人は千百七名に達してゐる(沿線を含む)、其うち職員四十二名、雇員百十三名、傭員九百四十七名囑託五名に分れてゐるが、職員の中には沿線に於ける小學校の訓導、敎諭、敎員、看護婦、保姆、舍監等が含まれてゐる。また目下の雇員職業別は保姆、助敎授、事務員、敎員、看護婦等である。全人員數に對して最も多數を占めてゐるのは傭員級であるが其の職業別を見ると、事務助手、交換手、看護婦、其他に分れてゐる、而して傭員中の事務助手にはタイピスト、速記者が含まれてゐる。之等は最初事務

助手として一圓三十錢平均の日當を支給され、交換手としては八十五錢平均の日當を受けてゐるが、半季後にはそれ等の職業婦人は五錢乃至十錢の昇給を得て相當に活動してゐるのである。

そのうちでも一番割合の良いのは看護婦であらう養生所生徒は別として、看護婦として勤務してゐる者の多くは傭員格であるが、其の收入は全部で五十圓位、それに年二期の賞與があるさうで、此の外職別に依る雇員級で月收七八十圓、職員は百二三十圓にもなると云ふから、繊弱い女性の身としては想外の成績を擧げてゐると云はねばならぬ。病める人に温かい愛と情を捧げ清い人情美に生きる白衣の女達の責任も亦決して輕くはないのである。

△遞信局女從事員　遞信局の婦人從業員、は貯金局を合せて四十名採用してゐるが、高女出身者が多いやうである。十七歳を最少年齢として三十七歳と云ふ年齢の婦人もあるが、平均して二十二三歳位までゝある。彼女達は一圓七八十錢から六七十錢の手當日給を支給され、それに七割五分の増給を得、月五圓の宿舍料を給され、なほ年末賞與の外に勤續手當を給與されてゐる。仕事はタイピストを除く外事務と云ふ程のことではなく主として傳票整理や帳簿の整頓などの雜務である。

△大連の電話交換手　コト〱と間斷なき小さな音律と應答に忙がしい清い聲とが一緒に混がらかつて騷々しい電話交換局には、現在百九十一名の若く美しい交換手達が五千三百からの加入者を相手に日夜健氣な活動を續けてゐる。之も純然たる婦人職業の一つである。彼女達は十六七歳から二十三四歳頃までゞ、最も妙齡の花の時代を送話器と受話器に縛られて働くのであるが、待遇は日當一圓十錢位から八十四錢位までゝ、外に七割五分の増給手當と五圓の宿舍料が支給されることになつて居る關東廳遞信局の自動電話局は新館の階上で工事を急いでゐるが、明春一月には遲くとも完了するさうでそれが完了された時、妙齡なる電話孃の領分へ喰ひ入る文明の新機は、やがて、彼女たちにさようならの冷い言葉を迫るわけになるのである。

△郵便局の事務員　大連郵便局や市內各郵便所に女事務員を見受けるが、本局では六名の婦人を採用してゐる。電信技術に五名、タイピストに一名を使用してゐるが、高女出身者が二分の一以

上を占めてゐる。日當は一圓四錢位を最高として下つては九十四錢位までゞ、外に遞信局の女事務員と同じく七割五分の增給を給されてゐる。

それから市內の郵便所はその郵便所主任の請負的事務になつてゐるので、全然本局とは異なり、女事務員の採否如何は當事者の任意にしてあるさうだが之を信濃町郵便所について聞くと、高女出身を一名採用してゐる。日當一圓三十錢程度で、此の以外別に何等の手當も無いとのことである。

△銀行の女事務員　市內の各銀行に勤めてゐる職業婦人は何うかと云ふに、之を朝鮮銀行について聞いてみると、同行では人員數十名のうち高女出身が五、高等小學程度のもの五の割合である俸給は平均三十二圓であるが、年齡は二十二歲位の婦人で、之等は行員見習として採用されてゐる。タイピスト二名、交換手三名、殘りの五名が事務の手助をしてゐるのであるが、玆に於ては交換手が四十二圓の平均給料となり、タイピストは三十二圓になつてゐる。他に比較して玆だけはタイピストよりも交換手の方が好遇の位置にあるわけである。

△三越の女店員　三越大連支店では女店員として高等小學程度の婦人を現在では十名程採用し、日々店務に當らしめて居るが、手當としては日給六七十錢から一圓十錢までの間を支給し、此の外に通勤手當として二十圓を增給してゐる。尙ほ子供として少女を使用してゐるものには手當十圓を支給し其他一切の身廻り品等も給與されてゐる。子供から女店員として勤め、さうして一人前になるまでには、相當の苦勞を要するさうだが、大抵はこれからと云ふ頃になると辭めて仕舞ふさうで、長い勤續者で三年位が關の山であるといふことだ。

△其他について　三井物產や鈴木商店などの大會社について調べて見ると、女事務員としては無いと云つても良い位で、給仕の外交換手が採用されてゐるだけだ。タイピストなどは寧ろ男子でいいと云ふので採用してゐないやうである。三井物產は電話交換手に十七歲から二十三歲までの婦人を四人採用してゐるが、是等は三十五圓から六十圓までの手當を支給されてゐる。市內の小商店に働いてゐるのは、タイピストで三十圓、事務員で二十五六圓が支給額の標準にされて居るやうである。其のうちでも信濃町市場事務所の女事務員の日給一圓二十錢

と云ふのは割合が良いうちであらう。

△水上署の女事務員　大連水上署に婦人巡査を置いたことは時代に伴へる確かに新しい試みである。內地から來任した上妻みつゑ女史は、滿洲最初の女巡査と云ふより、水上署の事務員として婦人に關する方面、殊に外國人に接して種々の警察事務に携はることゝなつてゐる。赴任匆々の女史は愼やかに語る『女巡査と云つては、內地でも先例がないのですから、此方では全然始めての試みで、果して私達女性が此の方面にかけて役に立つか立たぬかの試驗臺に上るわけですから、つくゞ責任の重大であることを自覺してゐます』と。これも男子の領分を侵して行く權威ある新しい婦人の職業と云ふべきである。兎も角、現代婦人の自覺と共に、婦人の職業が此くの如く漸次男子の領分に侵入して來たことは、今更絮說するまでもない事實である。

尙ほ東京女子大學を今春始めて卒業した六十五人の有望なる若い婦人が、四月以來、今日までに就職した跡を尋ねて見ると、其の大半は職業婦人として珍らしい方面へ門出してゐるが、その中には社會事業に貢獻しやうといふ健氣な女性のあることは、實に注目すべき現象である。美裝に浮身をやつしたり結婚や戀愛の花園に凡べての煩悶を紛らかしてしまふ婦人の多い今日、社會事業家となつて、直接社會の現實に接觸して、婦人問題と共に、實際的に立脚して社會的地位を築かうとする努力の影にも、日本婦人の眼覺めが窺はれるわけである。然し、眞實に生くべき一般職業婦人としての自覺が、何の位の程度に於て眞劍味が保有されてゐるかと云ふと、甚だ心細く思はるゝ點もある。私は特に調査した材料に基いて少しく所見を述べて見たいと思ふ。

之等の職業婦人には十五六歲から二十二三歲位までの未婚者が多く、獨立して生活して行けると云ふ自信ある者は極めて少い。云ふまでもなく、一家の生計を補助するとか、又は實社會の狀況に接觸するためとか云つた婦人のなかには、一家數人の生計を支ゐてゐる奮鬪的婦人もあるが、私の考へる所では其等は極めて少いと思ふのである。私が一番著しい現象と思つたのは、彼女達が表面的な形式に囚はれて華奢に流れてゐることである。之は爭ふべくもない事實である。然して其の働くと云ふ目標の裏には結婚の準備料とか、極端なものになると、現在自己

の虚榮心を充たすために努めてゐると云ふ人達がある、隨つて自活するだけでも漸くである婦人がいくらもある。斯うした思想が矯正されぬ限りは、職業婦人の社會的地位の向上は望まれない。これは官廳なり、會社なり、銀行なり、商店なり、その求むる側の反省に俟たねばならぬ所である。彼女たちが職を求むるに際して何を目的とするかと云ふと『人が目的』でなくして『仕事が目的』であつた場合はまだしも、現代の傾向は第一が美貌、第二が仕事、第三が德性となつてゐる。所謂職業婦人は裝飾扱ひにされてゐるらしい。故に不況の場合には辭めさせられると云ふ慘めな立場に置かれてゐる。

　斯う通じて見るとき、現在の職業婦人は一般に形式的にのみ囚はれてゐるやうで、隨つて內的に婦人自身には確乎たる操守がなく、單にさうなることを餘儀なくされたと云ふ風でほんの一時の腰掛に職に就くといふ有樣である。それに無理解なる傭主も多く、輕い心組で一時的に使うと云ふ狀態であるから職業婦人の基礎は實に薄弱なものである。それから彼女等が多く若い未婚者であるため周圍の誘惑が多い。妙齡の女性が異性の中に立交つて仕事をするのであるから、種々な噂なども取沙汰されるが、大きな會社や銀行は別として、小商店や商會などになると、第一條件として美貌を撰んで採用するので、誘惑も多く、從つて風紀の紊れてゐるのもある。斯うした事がやがて職業婦人の貞操問題として彼女等の結婚を遲からしむる一つの原因となる。故に私は處女の貞操保護運動と共に職業婦人の純潔を保つ力强い團體が是非とも必要であると思ふ。

　婦人が人格に目覺めない限り、いかに職業のうへに雄飛するとも、その人格的自由を獲得することは難かしい。故に婦人は職業と共に人格的自由獲得のために努力せなければならぬ。職業婦人の多くなつたのはいゝ、婦人の職業の範圍が廣くなつたのはいい、同時に、看板や裝飾品乃至は埋草的としての從來の彼女達の社會的地位から、もつと大なる意義を保有する社會事業方面に婦人の多くが活動して行くことは大いに奬むべきことゝ思ふ。最近に大連高等女學校を卒業したうちの約四十餘名の妙齡の婦人は職業婦人として社會苦と闘つてゐるが、醒めたる職業婦人として、一面更らに進んで社會方面にも十分活動されたいことを望む次第である。

社會問題彙報

回借家人萬歲の新判決

大阪東區南玉造町二の一袋物商浦田花子は西區九條通二の四九メリヤス業山崎榮太郎から家明け渡し及び解約申入れの日より判決の日まで月百圓の割で損害賠償請求の訴へを起されたので吉田元一辯護士を代理人として應訴してゐたが大阪區裁判所は今回被告花子側の勝訴を言渡し花子は無期限にその家に住めると云ふ珍しく有利な判決を受けた該家屋は南區空堀町四七關口平兵衞の所有を無期限で花子が借りてゐたところ山崎榮太郎が大正十年五月廿五日關口平兵衞から買受け同年六月二十日花子に對して賃貸すると共に解約の申入れをし花子は借家法の規定に從ひ解約申入れから六月目即ち其年の十二月二十日には家の明渡しをせればならなかつたが他に家がなくその上同年の四月に四千圓もかけて造作したばかりなので容易に立退かず大正十一年三月遂にこの裁判沙汰となつたのである

裁判所が花子側の抗辯を認めて勝訴とした理由は立退日である大正十年十二月二十日以後に家主山崎側では同業で知合の西村傳次郎及び花子の實兄房吉等の手を通じ立退を迫つたが調停者として立つた西村も花子の兄も話の纒まりが付さうにないので家主山崎の「立退いて吳れ」といふ意志を十分花子に傳へぬうちに手を引いてしまつた裁判所では此の家主山崎の意志が店子たる花子に通じてゐないことは借家法第二條中の遲滯なく異議を述べなかつたものと認め更らに借家法第三條第三項の「賃貸借が解約申入により終了する場合も此の第二條に準す」とあるのを花子の家の場合に適用したので花子が無期限にその家に住める事となつたのは借家法第一條中の「前賃貸借と同一條件を以て更に賃貸借をなし」たことになつたのであると云ふ

回内務省が監獄部屋改造

近頃各地の鑛山や炭礦や土木工事場の地獄部屋なるものに押込められて此の世から名の通り地獄の責苦に耐へかねて九死の思ひで遁れて來る坑夫が續々として現はれるが此の非人道的な取扱ひをする鑛山や炭礦の重なものは長崎縣三井經營の松島炭礦、仁丹の森下經營の香燒炭礦、九州炭礦汽船經營の崎東炭坑福岡縣嘉穗郡の中島炭礦や東北猪苗代水電の工事場及び北海道等にある之等に對して坑夫や人夫を周旋する惡紹介所は橋本組、久米組を初め淺草の橋場本所の原庭附近には可なりあるが此の非人道的行爲の撲滅策に就いて内務省警保局の大塚警務課長は語る

此問題は經濟方面からでなく人道上捨てゝ置かれないので當局として之等惡飯場や惡納屋を取締る方針は決定し既に其の一部の實行に着手して居るが其の實行方法を若し言明すれば彼等は狡猾で其の裏を掻くから秘密の中に必ず徹底的に成績を擧げることを斷言する唯茲に其の大綱を言ふと一體工場勞働者の取締り又は保護に就ては我國でも工場法が制定され工場監督官を置いて居るから相當の成績を擧げて居るが水草を逐ふて移動する不熟練勞働者に對しては各國とも等閑視されてゐる彼等坑夫等は教育の程度が低く一面社會の落伍者であるので別に法律などは制定されて居ないが人道上由々敷大事であるから全國の警察部と連絡をとつて第一現場の監督は從來のやうな肉眼的でなく頭腦を以てする即ち表面からでなく裏面から仔細に監督する第二に之れ等勞働者を紹介する惡紹介業者に對して徹底的に嚴重なる取締をなし更に進んで第三には此等の惡紹介業者と結託して勞働者を誘拐する所謂人買ひを嚴重處罰するといふ風に三股的に十分實行する方針であると

回購買組合に代る共同購入

都會地で良い日用品を安く買ふ方法は信用ある商店に依るか購買組合に依るかさもなくば共同購入に依るかの外途はなさゝうである所が東京のやうな大都會地ではどうも購買組合が盛にならぬのが普通である英國でも倫敦には購買組合が發達しないものと云はれてゐる之は多くの經驗あり商業に機敏な小賣商人が澤山ゐるからである殊に東京のやうな所では小賣商人は昔から一種の配給機關の働きをしてゐる此の小賣商人に對し比較的經驗に豐でなく商機上に對して最も敏活を缺く合議制度の購買組合はなか〳〵發達しにくいもので ある夫れで若し信用ある商人を得難く購買組合が思ふほど面白くないとなれば唯一つの方法は共同購入に依るより外はない

共同購入の特徴は品物の種類を限つてそれを一時に購入することにある例へば米なら米醬油なら醬油と品種を定め同じ印の同じ品を時を定めて買入るゝことである之は購買組合と異つて何でも隨時に買入れる便利はないけれども良い品物を安く買ふ方法としては之に誠した方法がない購買組合は共存自治の機關としては誠に適當なものであるけれど此の自治と云ふことは政治上にはいざ知らず日常の經濟には利害の點で容易に行はれぬものである何うしても時期を見計らひ多數の品物を一時に購入するより外に途がない若し信用ある大商店と結びつくことが出來たら尙更ら其の共同購入の目的を達するに便利であらう大都會地に於ける良品の安價購入は共同購入の方法を取るのが一番良法であらう

回進み行く婦人事務員

會社、銀行、官廳に婦人事務員の採用されて行く傾向は我國においても近來著しいものであるが過去十年の間の事を顧みて東京女子商業學校長嘉悦孝子氏は語つて曰く

是れ一には眞面目で正眞に働き事務を正確に處理する所から又一には少ない豫算で比較的良い待遇が出來るからであつてズン〳〵各方面からの要求が增して來ました此春の如きは從來お馴染の銀行會社以外新たに芝浦製作所から六名、日本火災から三名、商業會議所から二名、內務大臣官房及び會計課から四名の申込があつた鐵道省、遞信省、外務省や三菱倉庫などからは每年數名宛の申込みがありますが斯樣な譯で女子事務員需要の範圍は著しく擴大した感があります殊に變つた傾向は東京市附近の富豪の家庭から會計帳簿の係として住込んで來て吳れと云ふのがあり別室を與へ報酬も十分にし鄭重に出來るだけ待遇するから餘暇を以て主婦に簿記を敎へて欲しいと云ふ人も出來て來ました最近外國から歸つて神田に直輸入商を開業した人で是非商業學校卒業の婦人を欲しいと云ふのもあります又た外店を持つてゐる人で商業實務を心得た婦人を要求するのも多いので御座います

それで此等を綜合して見ますと女子商業學校卒業生の半分は高等女學校卒業なみに家庭に入つて母となり主婦となり半分は世間に出でゝ實務に就くのですが世間の要求は丁度職に就かうと志す者の三倍以上になる勘定です如何に女子の實務者が今日の社會で要求され其の事務の性質と範圍とが擴大されたかを思はせるのであります家庭に入る人々と申しましても其の家が商業に携はるやうな家ですと中には使用人の中心となつて買物や帳づけに番頭以上の働きをしておる者もあると猶ほ日本一の珠算の名人と唄はれた森りう子さんや石川造船所長の片腕であつた川島靜子さんなど婦人事務員に關する十年度の變遷を溯つて感慨に堪へぬもの、やうであつた

回大連局の新しい貯金法

本春來から「貯金遊ばせ、貯金！貯金！」と大連郵便局の貯金奬勵は意料外なる効果を

擧げ又各方面に亘り貯蓄思想を皷吹したことは顯著であるが今回同局では更に新しい試みとして方面を改め學齡兒童に對し大いに奬勵に努める事にし既に此程から着手した其方法としては市內中等學校及び小學校等の校長の諒解を求め全生徒に通帳に貯金袋を添へこれに各級を通じて氏名を記入し毎月一定の金額を一定の期日に受持敎師に提出しそして郵便局よりはその期日に出頭現金の受授を終りこれを局に持ち來り通帳に預入金額を記入し更らに兒童一般へ返戾するのである、既に實行した學校は大連中學校、神明町の高等女學校伏見臺高等小學校、同公學堂、第五小學校及び實科女學校の一部であるが之れが貯金袋には既に右各學校に二千餘通それ〳〵配布濟みとなつたと右に就いて局の係員は語る

「大連管內各校全部を網羅するとすれば五千餘の貯金袋を必要とするが今回は其半數だけ印刷濟みとなつたから直ちにこれを配布した他は出來次第全生徒に普遍せしむる豫定である、預入金額は小學校は毎月二十錢、高等小學校及び女學校は五十錢、中學校は適宜としましたが此の學童貯金は口數が多いだけ必ず相當な成果を擧げ得られることを保證出來ます何樣零碎の金であるから一々出張勸誘するとすれば多大の努力を要することであるが幸ひ學校側の好意を仰ぎ且便宜を與へられたので手數も省け至極好都合である」と

回紹介所から見た求職者

軍縮及び財界の不況が產むだ脅威は多數の失職者のそれである就中滿洲では秋風の吹く頃が一年を通じて最も多數の求職者が現れて來る時であるそれは夏季は比較的浮浪者等が安値に且つ簡單に生活の途を講じ得るが肌寒き秋に入ると共に長い結氷期を前に冬仕度の準備等で種々の費用がいるので生活の安定を得る必要から起るのも一原因である昨今大連職業紹介所で取扱つてゐる求職者の數は一日平均六十人を越ゆる有樣で夏季の四十人前後に比して五割の增加を示してゐる然し又一方求人の方もそれに比して夏季よりも二三割の增加であると言ふそれは浪速町その他小賣商店が主で年末に接近するので多忙を見込んで今から養成して置くのである然しながら求職者の多くは會社銀行等を志望して來るものが多く年齡も二十四五歲平均が最も多いと言ふのに對して求人側の要求してゐる十五六歲乃至二十歲迄の商店見習員にハメ込むことが至難で需要と供給點が一致せなかつたが最近では求職者の方でも追々に我を折て何處へでも働くと言ふ傾向になり一方求人側でも紹介所の周旋に依るものが比較的實直でよく働く關係上年齡等の問題を左程矢釜しく言はなくなつたので非常に樂になつたと言ふ

男の求職者で一番困るのは前科者で最初は涙を流してその事情を打明けて改悛の意を仄めかし就職しても他の者より以上に勤勉するが三箇月を出でずして尻割するさうで一度虐げられた身の暗黑が再び拭ひ去り得られないのは哀れむべき現象である紹介所で取扱つた四人もその例に洩れず終りを全うしたものは一人もないと言ふこれは社會の缺陷と言ふよりも寧ろ逃れ得ぬ罪障であるかも知れぬ一般に歡迎されるのは內地から始めて來たものでそれも比較的知己の尠いものが成績がよいさうである滿洲地方に永住したものには知人がある關係上少しでも好い方面があると直ぐ飛んで行くのでそんな者等には前の恩義もヘチマもなく紹介所へも一本の端書さへ出さずに後足で砂を蹴つて了ふといふことだ男の求職者で一番賣れ口の惡いのは一定の職業を持つたもの例へば職工たちで次は巡査、學校敎員それから軍人上がりの順序であると

回處女の貞操保護運動

近年愈々活氣づいて來た婦人團體は基督敎

婦人矯風會であらう久布白落實女史は既に渡米したが大阪支部の林歌子女史も追つて出發の途に就く筈である使命は米國フキラデルフキヤに開かる丶第十一回の萬國基督教婦人矯風會大會に出席の爲でこれによつて「今後如何なる問題を提げて世界と戰ふてゆくか」といふ事が決定さるゝので女史の渡米土産は一層同會を活氣づかせる相違ないと期待されてゐる久布白女史の留守中は專ら守屋東子女史が責任を負うて活動する筈である

同會の標語である平和と禁酒と純潔のうち特に禁酒問題は未成年禁酒法案の精神を小學校教育に徹底せしむべく其の第一回として帝國教育會講堂に於て我國最初の禁酒講習會を開き講師は片山、土肥の兩醫學博士、泉二、穗積の二法學博士に澤柳文學博士、田子社會局長、坂谷男爵、長尾電氣局長等で「學校教育と禁酒、醫學上より見た禁酒、法律上より見たる禁酒、犯罪と飮酒、社會政策と飮酒、保健と禁酒」は其の講義の大要であると講習資格は學校教師、警察官、地方青年團、處女會員、其他の有志である更に同會内の婦人參政權協會は準備の時代であるとして十一月より婦人新報誌上に穗積重遠博士等の法律講義を載せてゆくさうである昨年久布白女史によつて叫ばれ議會へ持ち出した處女貞操保護法案に對しては會員が全力を集中し場合によれば示威運動まで試みて目的を貫徹すべく幹部連の意氣込は素晴らしいものがある

回滿鐵の新しい社會教育

活動寫眞のフキルムが利益本意で製造され興味中心に上映說明せられて現代の如何はしい風潮に迎合しておる結果として直接非常な惡影響を受けてゐるのは兒童であるがフキルム中でも犯罪手段を現はした探偵物等は觀覽者の喜ぶものである處から盛んに上映されてゐる摸倣性の強い兒童はこれを見て深い一種の不思議な興味を覺ゆ直ちに單獨或は團體を組織して犯罪を試みると云ふ例が最近非常に殖ゑ教育上に支障を來してゐることは決して看過することの出來ない現象である

滿鐵社會課では早くから此處に着目して兒童の爲めに教育的のフキルムを見せ又新しい社會教育を施す方法として沿線巡回の計畫を立てゝゐたが愈々實現する段取りとなつた然してそれに用ふべきフキルムも既に米國から到着して居るので目下撮影中の內地風景寫眞を加へて近く完成する筈だが教育寫眞中には最長尺で歐米に於ける最近の航空界を網羅した飛行機智識普及のフキルムを始め實寫、滑稽寫眞等その各種のものを合せて凡そ十數種あり頗る充實したものと言ふべく而して沿線十四箇所の各主要驛を一箇月に二回定期巡回するといふことであるが會場は主として校舍を以て充て種々な方面に學校と提携して其實を擧げることに努めるさうである

回店員に商業道德養成

最近大阪市內の各商店では物價引下げの廉賣が行はれて居るが主人は眞實値段を引下げて居るに拘らず丁稚小僧の雇人はお客の足元を見て高く賣つたり目方をゴマかすものが多く斯くては折角の企てが無駄になるといふので市內某方面の商店主から大阪府社會課に向け何とか良策はないものかと相談を持込んで來たさうで同課では成る程と首肯される事柄であり時節柄重要な問題であるのでその對策として店員の訓育を行ふに決し先づ商店主の諒解の下に第一回を開會したが主人側と多數の丁稚や小僧が百餘名宛集合し中村社會課長その他から「店員はお客の足元を見て物を高く賣るやうな不道德なことをしてはならぬ」といふことを前提に必要な事柄を縷述し最後に物價調節や消費節約の宣傳を行つたが成績は極めて良好であつたので今後も十分に雇主の諒解を求めて續開するさうである

回演劇時間の短縮問題

「演藝時間を短縮せよ」といふ聲は最近漸く一部人の間に喧しくなつて來たが劇作家協會及び國民文藝會の會員は協同してこれが促進運動を開始した同會では先づ手初めに右の趣旨に就き各家の賛否を求めたところ回答者百十六名中僅に一人を除く外、井上日銀總裁及び台灣總督、穗積重遠博士を始め各作家全部賛成の意を表したので小村侯、小山内氏、外六名の實行委員は先月上旬警視廳に堀田總監を訪ひ右の各家意見書を示した之に對し堀田總監も之を諒として直ちに折柄茶話會に出席中であつた各署長連に諮りその意見を徴して早速その手續をなした其結果協會側と警視廳側とは更に會合しお互に意見を吐露して共に事を計る事になつたが一體演藝時間の短長といふ事は從來警察側においても其弊害であることを認めてゐた際とて事は案外に早く運ぶ樣子である右につき小村侯は語る

「演藝時間を短縮する事は隨分以前から我我の主張であつたが最近一般にも認められて來たので此機會に是非共實施される樣にしたいのです大體今の演藝時間は七時から八時間位だが是では餘り長が過ぎる大抵立派な劇は決して七時間も八時間も觀てゐるられるものではなく二三時間でヘトヘトになる程の力があるものです現在各國は皆三時間乃至五時間位のもので支那でも四時間以上は演らない世界中で七時間八時間と演るのは日本とジヤバだけです舊時代の弊習とは言ひ乍ら不經濟不便此上もないことです只時間を短縮すると自然賃金の低下を惹起すので興行者側では短くても俳優に拂ふ賃金其他の經費は變らないし成べく今の儘にしておきたいらしい樣子だが併し中には理解した者もある樣だから實行は強ち困難ではあるまい俳優は無論短い時間で給金を貰ふのだから大賛成です我々は飽くまで此運動を續けて現代の演劇をもつとコンデンスされたものにする考へです」と

回子福者に子寶勲章を

多數の善良兒童を有することは國家の繁榮上誠に肝要なことであると云ふのでサンガー夫人の向ふを張つて子福者尊重保護を斷行せられたいとの請願が第四十議會に提出されたが私立帝國尋常小學校幼稚園の校長西山哲吉氏は來る議會にも左の如き請願を爲さうと目下その準備中であると要旨は

一、三人以上の子供ある者に對しては勤勞による所得税を免じ又時宜に依り女中費用及び教養費を補助して戴きたい

二、五人以上子供のある者には子寶勳章を授け父死亡し遺産少き時は年金を以て子供の教養費を補助して戴きたい

三、子供の教養に就いて國民教育並びに之れが中等教育を完備し小兒公園、低能兒白痴教養所、託兒所感化院、小兒養育院、學資無料學校、それから小兒科及び産科施療院等を設けて戴きたい

四、前三項の實施に就て財源の必要あらば子供なき相當生活者より子供税を徴し或は相當收入ある獨身税、離婚の罰金等年壹億萬圓内外を徴せられたい

五、前四項の速かに實現せられますやう關係官憲に對して促進して戴きたい

といふのである第一回は六百名が連署して請願したといふが第二回たる今議會には更にもつと多數を得たいと云つて居る

回小作爭議と地方青年

物價の引下げを強制しなければならぬほど不景氣は益々深刻となつて來た失業者は日增しに殖ゐてお陰で何處の職業紹介所も大繁昌である東京市の紹介所は神田橋の中央紹介所とも入れて市内に十三箇所あるが一日に取扱ふ人員は平均二千四五百名である尤も此内には自由勞働者も入つてゐるさうだけれども兎

に角求職の人員は增加の一方で殊に神田橋だけで扱ふ一日約三百人の内の三十五パーセントは知識階級に屬するもので最近著しく增加して來てゐる斯うして此階級の求職者は漸增の趨勢であるにも拘らず求人は却つて減少し今では求職五人に對し求人は僅かに一人といふ割合であるため同所においても此處分に就いては少からず頭を痛めてゐるらしい

更に神田鍛冶町の主に工業方面の求職求人を扱つてゐる府の紹介所に就て見ると此處も求職は增加の一方で一日約二百七八十餘を受付けてゐる今春頃までは此處は地方農村から上京して來た青年が六割、東京に在住して失職したものが四割といふ割合であつたが現在は五分五分となつてゐる然も夫が地方青年の上京が減少した譯でなく後者の東京在住失業者の求職が增加して來た結果であるが玆に注目に値するは今春頃までは地方上京者は大概一家をなさない青年で一家を擧げて來るものは頗る僅少であつたのが最近に至つて之れが著しく增加し毎日同所で扱ふ數は大概五六組で矢張り日を追うて益々增加せんとする傾向を示してゐる之に就いて豐原所長は

地方農村の青年が上京するのは重に都會の文化生活に憧憬して來るのであるが一家を擧げて戸主が上京して來るといふに至つては實に由々しい大事である此傾向は小作爭議が頻りと起る樣になつてからの問題であるが今年家屋税が矢釜しくなつてから一層甚しくなつて來た而して彼等は一樣に小作料は高いし家屋税はウンと取られるし到底小作ぢや飯が喰へなくなつて來たからといつてゐる今日では大概斯ういふ一家を紡績會社に向ける事にしてゐる處で會社の方では一家を持つてゐるのであるから恐らく嫌ふかと思ふと却つて反對に大いに歡迎して吳れると語つてゐた

回貧兒の爲に無料健康診斷

兒童保護の問題はやうやく實行期の曙光を見やうとして居るかの如く諸方に新しい企てや試みが着手されやうとしてゐる深川に根城を据ゑて兒童の內でも殊に保護の必要がある下層階級の子供の爲めに熱心に盡してゐる東京兒童保護協會では理事の三浦謹三郞醫學士を主任として毎日午後六時から兒童の無料保健診斷を開始する事になつた健康診斷は或る兒童愛護デーに幼稚園協會が古川橋及び龜戸で行つて却々好成績であつたが今回の保護協會のは毎夜であり巡回もしようと云ふのであるから其成績には見るものがあらうと一般から非常に豫期されてゐる右に就いて三浦醫學士は本部になつてゐる自宅で語る

「丁度幼稚園協會でやつた後當方でも猿江町の某方を借りて最初の試驗的な催しをやつてみたところ百人以上も押かけて來て中には重症者が三十人近くもあつたので手もまはりかね著しいものだけ見てあとは歸つて貰つたりしました時之は一日も打捨てられぬ國家社會の一大事業だと思つていよいよ今度の企てになつた譯です其中にはあらゆる手だてをつくしても可けなかつたといふやうなのが多く一番診斷の必要のあるのは學齡未滿兒童ですから今後も七歲以上の子供に限り十二分に手を盡してみたい考へですそして諸方と連絡を取つて專門家にも紹介し入院の便宜も計つてやります平素は本部を開放しますが時に應じて部落內の各所に入り込んで巡回的にやり徹底せしめたいと思つてゐますが社會事業に興味をもたれる看護婦會の方々の御助力をも仰がねばならぬと思つてゐます」と

回煤煙防止と冬の煖爐

煤煙防止問題につき五十嵐滿鐵商工課長心得は曰く此問題に關する諸種の實驗は滿鐵でやつて貰ひたいといふので大體燃料と機械的設備との二方面に分ち燃料方面は職掌柄販賣課から一名、機械的設備は機械課から一名の

委員を擧げ着々研究して居るが燃料としてはコーライト及び煉炭の二者が煤煙防止の目的に副ふものとして本年は生産額を增加し市場に出す積りであるコーライトは撫順炭と本溪湖炭、煉炭は撫順炭に煙臺炭を混合して作るのであるが實際上成績の最もよいのはコーライトの粉と煙臺粉炭と等分にして作り上げた煉炭で火つきもよく火力も強い滿鐵では切込炭と同一の値段で賣り出す積りで多少の損失は免れないが宣傳の爲めに犧牲を忍ぶも蓋し亦已むを得ぬことであらうそれから

器械設備の點では鹽田式、野間式、宮本式沙河口の島田式、近藤式等數種のストーブがあつてそれ〴〵特長を備へて居る又ボイラーに相當の設備を加ふる渡邊式といふのがあり大連製油や三泰油房で使つて居る他にペチカに取付ける遣り口もあるが一般に普及させる迄には尙研究の餘地があると思ふ鹽田式のストーブは八〇パアセントが内燒し二十パアセントだけ烟となつて出る野間式は約二十分間焚く間烟は立つがそれを過ぎると全く烟が出來なくなる何れにしても成績は似寄つたものでこれと云ふほど傑出したものもないが問題は費用の點で如何に成績がよいといつても値段が高ければ随つてそれ丈け一般の實用にはならぬいづれ各種のものを比較研究して成るべく其成績を發表したいと考へて居る

回憲兵隊の困窮遺族救護

杖とも柱とも恃む一家の若き主人が現役兵に徵兵され殘る家族は中心を失つた如く途方に暮れる家庭が珍しくない是等の家族に對しては政府で相當の方法を以て救濟策が講じてあり又軍人後援會などが組織され其の除隊まで生活安定の保證を與へることになつて居る當大連にも勿論救護法が設けられまた申告者に對しては直に認定の上これを適用することになつて居るがさていよ〳〵困窮のために救護を申出づる段になると何となく人前を憚つたり耻しさを感じたり充分救助の要を認められながら容易に右の如き事情にて申告せず窮迫して居るものが決して少くない

現に此ほど憲兵隊で調査した所によると三件ばかりあつた斯うして苦痛を感じつゝも尙かつ周圍に憚つて救護を受けざる隱れたる遺族は随分多いと思ふ大連憲兵分隊では今度これ等隱れたる困窮遺族を徹底的に調査し救濟すべく隊員を派し各受持區域を隈なく探し救助すると共に大に慰安を與へると云ふ趣旨で近く全管内に渉つて調査を開始すると云ふ酒非分隊長は充分經費がこれら困窮者のために取つてあるから遠慮なく申し出て貰ひたい名前が發表されると云ふ虞れから逡巡して居るものもあるが決して斯かる憂ひはないからどし〳〵當分隊へ傳へて貰ひたい」と

回滿鐵圖書館の整理充實

燈火に親しい感情が持てる秋から冬は絶好の讀書季節で大連各所に設けられてある通俗圖書館の貸出册數は逐次多くなる一方であるが讀書傾向は文學語學に關する者が一位を占め小說戲曲類が之に次いで居る滿鐵本社前の大連圖書館は主として參考圖書を豐富に備へ貸出は社員の參考資料としてのみ貸出されて居るが入場者も亦相當な數に上つて一日平均百二十八名一個月三千七千五十一名を示して居る讀書傾向は文學、語學、小說戲曲、數學理學、醫學、工業、兵事、美術音樂等が多く愛讀されて居る通俗圖書館は沿線で最も發達して居るが奉天は日本人のみに止まらず大いに支那人にも利用させ樣と支那人向藏書も豐富に備へられて居る今滿洲に於ける圖書館數は總て廿個で獨立した圖書館を設けるに至らない個所には絶へず巡回書庫を送ることにし而うして讀書の向上が計られて居る

之等の一個年に於ける總閱覽數は六十五萬二千五百廿六人で年々新圖書を購入すること

六萬圓であるさ言ふが日本内地の圖書館を見るさ全國で公立圖書館九百四十三、私立圖書館六百九十七ある此内最も多きは福岡縣の百八十、山口縣の百七十、長野縣百二十等で神奈川、大阪、京都、富山外六縣の如きは千にも充たぬ不振の狀態である猶參考に其藏書數を調べて見るさ公立二百五十五萬四千二百十七册、私立百八十五萬四千八百六十一册で閱覽人員は公立七百七十三萬五千六百四十三人私立二百九十一萬八千四百十八人で多きは京都府二百十六萬九千二百九十八人、山口縣七十萬人で十萬未滿は群馬縣外十五縣である人口比例から云つて見れば讀書の盛んな事は恐らく滿洲が第一等であらうさのことだ

回鑛山勞働者は漸次衰頽

路傍にころがつてゐる小石すら寶石ぢやないかさ一度は疑つてみるほど鑛山熱の盛んであつた當時には大阪鑛務署に鑛山試掘願ひをしたものが月々六百件に達したものだそれが此の八月中には唯の七十しかなくそれも大部分は二箇年毎に更める試掘願で新出願は絕無さいつてもよい不景氣に連れて鑛物に對する需要の激減は著しいもので同署管轄の二府十六縣には一ころ五萬人以上もあつた鑛山勞働者が九月の初めには九千臺に下り同じ鑛山勞働者のうちでも等級の高い鑿岩機夫の月收も最近の調査によるさ五十四圓十三錢六厘で命を的の危仕事に對する報酬さしては慘めである從つて鑛山を下り歸農するもの土木人夫に變るもの多く玆にも失業の色は濃い

鑛山勞働者の研究は工場その他に比し從來疎ろにされてゐた「鑛山は犯罪のかくれ場所さして絕好のさこだ」さされてゐたものであるそれが最近監獄部屋、地獄谷などの批判が盛んに行はれ出したので農商務省では全國の主なる鑛山の勞働者に對し所定の家計簿を送り九月から十一月まで每日生計狀態の計數的記入をなさしめてゐるが不況さなつてから三箇月以上も賃銀を支拂はぬ鑛山主や勞働者各自に對して支拂はるべき賃銀を持逃げした親方などを攻擊した投書が多い時は日に十數通位い大阪鑛務署へ配達されるさうだ

伏陵に開かれた幼稚園

幼兒の生活を充實した立派なものにしてやらうさ言ふ目醒めから都市に於ける幼稚園は漸次數を加へて來て大連にも現在では七つの幼稚園が其處に設けられて居るが市さの比較の上から見るさまだまだ理想的さは云へない其結果は危險の多い電車に乘つて遠く通つて行かればならぬさ言ふやうな面白からぬ狀態を生じだソコで取分け聖徳街あたりさか老虎灘方面さかには是非欲しいさ思はれる經費せか收容すべき兒童の少いさか言ふことは問題ではない其心あれば夫れ相當の假園か出來ぬ事はない筈だ現に伏見臺に本年五月から開かれた幼稚園の如きは其の好模範である

同園は場所があの通りの高臺で然も市内の幼稚園には非常な不便である處から南滿工業學校の山縣頼威氏が滿鐵社員俱樂部内に設けたものでまだ一般に其存在をすら知られてゐないのである然し父兄側や當の幼兒達の喜びは非常なもので現在收容の幼兒は五十名もあり保姆は迫田マツ子女史が主任さなつて外に二人居るが此の二人は俱樂部員の若い女學校出の妻女が特志で袴を着けて努めて居るのである迫田女史は保姆師範學校出身で既に幾多の經驗を積み滿鐵沿線各地幼稚園に歷任し處理の方の手腕も勝れて居る從つて特志保姆も女史の薰陶で立派な成績を上げられるさうである滿鐵は同女史を學務課詰めさ言ふ名義で派遣し且つ該園に年一千圓の維持費を補助して居るが將來伏見臺幼稚園さして立派な園舍が建られる樣になるであらう斯うした風に假園でもいゝから其の設備をなす事にして着々步を進めることにしたいものである

詩四篇

中村　勇

きりぎりす

きりぎりす、きりぎりす
戀知りそめて
啼くきりぎりす
そのまゝお出で
なく音を止めず
彼の君想ひ朝夕に
さびしさに泣く私と
秋の一夜を
　ともに嘆かむ。

愛人に

月のある夜は海に行き
舟を浮べて語らはん
月のなき夜は森に行き
小暗き蔭にさゝやかん
互ひの胸に秘められし
やきも盡きなむ戀心
よし、明日の日は諸共に
溶けて流れてあかつきの
星の如くに消ゆるとも。

月よ

君が在ますは南か北か
東か西か照る月よ
汝に心あるならば
告げよ知らせな吾が想ひ
君を尋ねて淋しくも
知らぬ異國に唯ひとり
昔戀して泣いてると。

愛のはじめ

淋しさ故に悲しく
悲しき故に惱まし
若き日の惱み……
そは淋しき故にのみ。
秋の夜の窓にすゝり泣く乙女よ
餘りに嘆くことなかれ
その淋しさぞ慰めにして
まことの愛のはじめなる。

淋しさの心と心相結ぶ時
戀ならぬまことの愛の抱擁に
悲しみの人の世も
淋しさのわかき日も
よろこびに溢れ滿され
嘆きは讃美の詩と變らむ。

秋の夜に

―ひでこ―

來ます日の報らせともして讀む
文の恙なしとは曲もなきこと
思ひ出は悲し涙の種とこそ手箱
の底の文殼を燒く
男々しきは君に未練のなき事ぞ
など云ふ人のにくらしき顏

支那風習研究

支那の乞食

新旅順 渡會貞輔

北京あたりでは乞食のことを花子と言ひ、滿洲へんでは要飯的と稱して居るが、我が日本語のやうに之に對する言葉が甚だ豐富でない。花は化とも書き、其の語原に二樣の説がある。即ち其一は花(又は化)は花錢化費の如く、即ち「つかう」「つひやす」の意味を有し、「費ひ果しゝ者」或は「社會の財物を費ひ減らす者」といふやうな譯の説と、其二は化と佛語の募化又は化緣との如く、即ち「乞ふ」「求むる」の意味を有し、之に名詞たることを表示すべき接尾字子を添加し、「乞ふ者」「求むる人」となり、更に聲音の同一な關係上化を花と書き代へたといふ説とである。要飯的は言ふ迄もなく「飯を要求する者」の意味である。

無味乾燥な語源の詮索は此位にして、先づ第一に支那に於ける乞食發生の原因(も聊か變だが)に就いて少しく研究して見たいと思ふ。獨り支那のみならず、曾つて豐葦原の瑞穗の國と謳ひはやした我國にも、古來乞食は少くなかつたので、其の證據には古い本にも非人、川原者、袖乞、菰被、門附、小屋物、門立、鉢開物貰ひ、おこもさんなどと、色々書いてある處を見ても分るのではないか。今更言ふ迄もなく乞食になつた原は要するに「食へぬから」である、そして俗に言ふ乞食を三日すれば何とやらで、足を洗へば洗へ得るものも、持つて生まれた根性が禍をなして、自ら好んで天下無宿の浪人となり、襤褸を身に纒ひながら今日は西街、明日は東街とさすらひの旅を續けて行くものが比較的多いのである。

乞食にも色々あるが、支那の乞食はいかにも乞食らしく、汚穢無類である。此夏旅大附近を迂路ついて居

たルーマニアの乞食のやうに奇麗ではない。日本の乞食も穢いが、支那の乞食は最も穢く、いかにも乞食乞食して居る、誰が見ても人間の下積み、どん底に餘喘を保つ天下御免の乞食なりと一目に肯しれるのである即ち傷ましい人或は醜い者と眼に映ずるのである。孤老子といつて、妻に先立たれた男が子供は素より他に家族も無く、寄る年波と共に氣力衰へて稼ぐに稼かれず、僅かばかりの家財を人手に渡して、他人の軒下に佇んで物を乞ふ樣は殊に哀れである。こうした乞食には坐ろに惻隱の情が起つて多少なりとも惠んでやりたい氣持がするが、中にはまた物貰ひを自分の權利のやうに横柄な面をして乞食して居るのがあり、それから道端に股から下を切斷した醜體を投げ出して居たり、腐爛した足の腫物を臆面もなく曝け出したりして、それに銀蠅が群り居る乞食など見ると、可哀相といふよりも嫌惡の情で胸が一杯になり、知らぬ顏で通り過ぎて了う樣なことにもなるのである。尙ほ支那乞食の中には、人品卑しからず、どことなく鷹揚な處があつて其癖顏面蒼白、形容枯槁といふ類の者がある。是は支那名物の阿片やモヒのため財産を蕩盡し、權花一晨の夢空しく覺めて、昨日に變る今日の姿を身から出た銹と諦めながら、永からぬ餘命を慈悲ある人々の袖に縋つて、孤影煢然とさすらひ歩くのである。支那には斯うした種類の乞食が少くない。

支那乞食の執念深いことも驚くべき程で、流石は辛抱强い國民性を遺憾なく發揮して居るのである。私が曾つて京奉線新民屯に行つたとき、或る大道を通行すると、一人の乞食がやにはに飛んで來て行手に塞がり「旦那一文遣つてお吳んなさい」と、さながら米搗蝗のやうに頭をぴよこ〳〵させる、知らぬ顏して行過ぎると、忽ち起き上りながら通り越して置いて、又候「旦那一文遣つてお吳んなさい」といふ、恁くすること四五回、私の方が根負けして一錢銅貨一個投げて遣り、さて用を濟まして歸途に就くと、そこに先程の乞食が待ち構ねて居て、又もや前と同じやうな事をして合力を乞ふ、「剛纔給了不是」(今し方遣つたぢやないか)と言

つても、先生聞ねぬ振をなし、平氣な顔をして、先になつたり後になつたりして、飽くまで煩さく附き纏ふたにはほと〳〵閉口した。支那の乞食の執念深いことは概ね斯くの如しである。

それから一昨年の春未だ淺き頃、或る事件のため金州城内に一箇月半ばかり滯在して居たことがあつたが或日の事、西街を通り掛ると、老爺廟の傍でひよつこり一人の支那乞食に遇つた。その乞食は私を認めると型の通り跪坐叩頭よろしくあつて、さて言ふには「大人お忘れですか、耻かしながら私は今日這んな姿になつて人の惠みに縋りながら生きて行く身となりました、どうぞや哀れと思召してお錢を少し惠んで下さい」と。ハテナ乞食に知已はない筈とよく〳〵視ると、それは二箇月許り前に三十里堡に滯在中其所の澡堂（湯屋）に行く毎に始終搓澡（流し）をして呉れた三助君だ。當時少しく低能のやうだとは思つたが、かくまで速かに生存競爭の埒外に抛り出されようとは夢にも思はなかつた。早速小錢で五十錢ばかり遣つて「宿屋に泊つて温い物でも食べなさい」と一ぱし日支親善ぶりを發揮したところ、驚いた事には其後もその乞食に遭ふ毎に血税を拂はせられた。日支親善も亦難い哉と人知れず嘆息したのである。

小崗子の料理屋町附近を見るから胸糞を惡くするやうな醜穢な支那の乞食が迂路ついて道行く人々を追駈けることがある。軒燈の影赤く弦歌湧く別天地に是れは又何といふ人生の皮肉であらうか。啻に色町のみならず、祭禮、縁日などには、得てして這うした乞食が道端に其の醜穢な局部を露出して通行人の同情に訴へる。同じ乞食でも、肉體上の不具者もあれば精神上の不具者もあり、又兩つながらの不具者もあれば身神共に完全なものもあるが、其の何れにもあれ、先覺者とか識者とかいふ人達は、須らく當局と協力一致して、社會的に之を救濟し或は善導する道を講ずる責務があらうと思ふ。大連の公議會や宏濟善堂では、毎年初冬年末に粥廠を開いて、一人幾杯かの粥を與へ、或は古着を給したりして居る。是は乞食ばかりぢやなく、乞食

までにもう一息の貧民に對しても實行して居るやうだが、もと〳〵限りある財貨を以て限りなき敗殘者を救ふことは出來ぬので、結局之れも支那一流の態面論に了るが如きことになりはすまいか。最少し研究してより以上有效に又より以上積極的に實行して見たら如何かと思ふ。猶ほ不幸やお目出たの時に乞食が寄り集まつて來る有樣なども日本と酷く似て居る。何時何處の某家で一週忌法會を營むとか、何村の何姓が何時婚禮をするといふ噂が立つと、其の當日宛然蟻の甘きを慕ふが如く何處ともなく乞食の群が押し掛けて來て、我れ勝にお裾分けに預らうと犇めき合ふ。之れも煩さいものゝ一つであらう。

滿洲一帶、田舍に行くと何處でも犬を飼つて置くが、是は勿論泥棒除けの爲ではあらうが、一は乞食除けの爲めなのである。流石の乞食も犬だけには一目を置いて、田舍廻りの乞食は大抵手に長い棒を持ち、遠くの方から「どうぞや旦那様お餘り物でも戴かして下さい」と言ひながら犬の襲來にそれとなく氣を配る。今まで日向ぼつこをして居た犬はかくと見るや矢庭に飛んで來て此所を先度と火の付くやうに吠ね立てる。けれども要飯的は慣れたもので、長い棒を振り廻しながら相變らず「噯呀老太太、給我點兒甚痖吃的」を機械的に怒鳴り立てるので、却つて犬の方が根氣負けして尾を垂れながら退却してしまう。そこで家人も仕方なしに包米餅子の一片を與れて遣ることになる。乞食と犬、これも面白い取合せである。

軟かな秋の光を浴びながら、一生懸命に虱を捫つて居る乞食を見ると、希臘の哲人ダイオゲネスを思ひ出すほどで、全く一幅の好畫題である。蓬頭垢面、海松のやうな襤褸を身に纒ひながら、一瓢を肩にして立つ乞食もあるが、見様に依つては之れも一個の藝術品であると言へやう。一體支那人は喜の字、米の字といふやうな年頃になると、何うした譯か壯年時代の狡猾、貪汚、猜疑、利慾といつたやうな風丰が跡方もなく消ね去つて、新たに恬淡、無慾、安心、立命といつたやうな容貌に變つてしまう。其間の心理狀態を說明する

ことは素より不可能だが、殊に古稀を超ねた白髮の乞食を見ると一種の藝術品といふ感じの外に、一層此感を深うするのである。持つて生れた自己の運命と諦めて、そこに何等の不安もなく、不平もなく、たゞ萍の如く今日は東屯、明日は西屯とさすらひの旅を續けながら、行き暮れた所を宿として、一簞の食に饑を凌ぎ一壺の漿に渇を醫すといふ、そこに所謂デリケートな所があるといふものだ。

親代の乞食で、父祖の遺業を承繼いだといふ連中は無論問題外であるが、阿片や梅毒のため軀を傷めて人並の仕事が出來ず、止むなく人の惠みに生きて行くといふ手合などは、謂ゆる自業自得で、毫も同情すべき點がない。けれど生來の羸弱者、或は不具者が生存競爭の爼に上せられて、仕方なしに他人の袖に縋るやうになつた者などは、社會的に之を救濟して遣る必要があると思ふ。所が爰に天から働くことを嫌つて他人に依つて生きて行かうといふ一種の乞食がある。その多くは倔強な若者で、働けば如何な仕事も出來るに拘はらず、生來の怠け根性が禍して恥も外聞も厭はず乞食して歩くのである。此等の乞食も宜しく社會が善導して適當なる職業に就かしめるやうに仕向けて行くべきであらう。

さらぬだに支那人は風呂に入ること少く、且つ蒜のやうなものを好くので、實際支那乞食の發散する體臭と言つたら全く鼻持のならぬ程である。そこで北京などでは乞食を一定の區域に離隔することに依つて其の不快な氣分を免れるといふ事である。英國には支那人の嗅覺が鈍感極まるといふ事に關して一つの諺がある曰く支那人は「英國の驢馬を昏倒せしむる程の恐しき惡臭にも堪ゆることを得」と。然るに支那乞食の惡臭はその支那人自身すら堪らぬといふ位だから、大凡の想像はつくであらう。

追々寒くなると乞食の凍死が頻々と現れて來る。四、五年前長春で百人近くの乞食が凍死した事があつたが、是から大連附近の寺兒溝や譚家屯などいふ方面にも、何れ這うした結果から我が官憲の手を煩はすもの

が少くあるまいと考へる。勿論體温を保つだけの食物も攝れず、又衣類も無いといふ結果には相違あるまいが、併し一番早く凍死する者はどうしても阿片やモヒの中毒者である。毒藥のため根底より破壞された肉體にどうして滿洲の嚴寒と戰ふだけの精力があらうか。哀れ榮華を誇つた富豪も惡習のため遂に其の財産を蕩盡し、果は乞食となつて其の醜き屍を野に曝す、何といふ人生の悲慘事であらう。

それから支那の乞食は概して一般に威張つて居る風が見ゐる、と言ふと、聊か變に聞ゐるが、實は圖々しく押が強いのである。言ひ換へれば厚顏無耻なのである。是に就いて面白い一つのローマンチックな物語がある。それは昔或る皇帝が臣下の一功勞者に向ひ、「何でも望む所のものを言へ、必ず其の望みを果し遣はすであらう」と言はれた時、その功勞者は「一生一代乞食をして見たい」といふ變な望を起し、其旨を述べて勅許を得、爰に天下御免の乞食となつて大に社會に濶歩したいといふ事だ。眞僞の程は分らぬが、此事が俑を成して竟に乞食をして威張らせるやうにさせてしまつたといふ事だ。それかあらぬか、僅かな物を與ゐると乞食の方で承知せず、中には全く強情のやうに執念深くそして啖呵さへ切る者もあるといふ。隨つて良民の乞食を畏懼すること夥しいもので、門に來り物を乞へば必ず物品を給與するといふ習慣になつて居る。併し中にはまた人は相見互身だ、我れとても何んな廻り合せで乞食をせぬとも限らない、其時は斯くの如く他人の惠みを受けべきであると、いやに悟つて居る者もあるといふ事だ。

旅大附近では聞かぬやうだが、北京や上海邊になると、日本と同じやうに乞食の元締が居つて、數多の手下を有し、各その繩張も定めて、斷じて他を冒さず、彼等仲間の不文律に依つて秩序を保持さるると云ふことである。其の代り、例へば店舖などで乞食が物貰ひに行つても祿々呉れぬ時は、大勢の仲間を語らつて其の店前に到り、盛んに喊くので、お客も近寄らず、その店も非常なる打擊を被るのである。そこで此害を免

れんため商家の多くは常に乞食の元締に血税を支拂つて商賈の邪魔をされぬ樣するといふことである。滿洲では商店が馬賊に血税を拂つて運送中の貨物を見逃して貰ふといふ例の䟽局といふのがあるが、それと殆んど好一對であつて、全く支那といふところは不可解の國である。

この强情めいた遣口は葬式や婚禮の際にも屢々應用される。乃ち自分の繩張地内の或家で今度嫁娶があるといふ咄を聞くと、元締は晴衣(もちと變だが)を着込んで其の主人に面會しそしてお祝儀を要求する。若し主人が出し澁つて申出での金額よりも尠く與へると、元締は婚禮の當日に部下の中で最も醜惡を極めた者を呼び出して其家に至らしめ、盛んに怒鳴らせながら有らん限りの醜惡ぶりを曝け出す。主人は來客の手前捨てても置けないので、遂に元締と妥協して要求の金品を與へ、そして乞食に撤退を乞ふて辛うじて面目を保つといふ事である。其の惡辣横着さには全く驚かされるとのことだ。

何といつても北京乞食は根抵深く、滿洲乞食のやうに成上者は少く、儼然として一階級を成して居る。彼等は商家より日々包月錢として一定の金錢を取立て、之れを以て生活の資となし、中には少からぬ貯金さへ有するものもあると云ふことだ。そして乞食の頭梁は家に大きな棒を備へて置いて、部下の者たちが頭梁の命令に服從せぬ時、之で打懲らすのである。頭梁は商家から送つて呉れる金錢を部下に分與するので、若し商店中此の慣例に違犯(も可笑しいが)して包月錢を差出さぬ者あれば、前述のやうに乞食が大擧してその店頭を騷がせ商賣を妨害する。その方法など實に巧妙を極めて居るのである。

支那の乞食中にも土着者と他所者とがある。或る英人の書いた物に、支那には「遍路罪科人」といふ一種の漂浪乞食が居る、それは或罪を犯して流刑に處せられた者が流謫處に至る途中各所に立寄りて金品の給與を求むるのであるが、元來支那人は犯罪人を監獄に投じてそれに衣食を給與することを謂はれなき事と認めて

居るので、罪人が配處に赴く途中、其の流刑犯人は一枚の官許乞食鑑札をぶらさげ乞食しつつ其目的地に至る、此等の乞食が獰猛なる風丰で門口に立ちつゝ物品を乞ふ時は、良民は其の見幕に恐怖して金品を惠與し早く其の門口を立去らしむるやうにする」云々とある。私は之を目撃した事がないから、之れに裏書することは能きないが、他より推せば、之れ或は眞に庶幾からんかとも思はれる。

旅大附近の乞食は流石に我が官憲の威力により北京乞食のやうなことはしない。殊に或程度までは日本人と沒交渉だから、日本人の注意を惹かないが、併し平素十分氣を付ける必要はある。「飯進上」などは裏口から覗き込んだ序に一寸失敬して行く事もある。取分け是から寒くなると彼等は苟も焚ける物なら何でも拾ひ集めて持つて行く。一二年前、關東廳土地調査部で、大連近郊に打つた杭が大部分取去られて一方ならず困難した事がある。だから十分警戒して置く必要はある。何しろ人の見ない處で取つた物は盜に成らぬといふやうな觀念でちよい〳〵失敬されるのだから、全く堪つたものでない。

去年だつたか上海の支那新聞に「乞食の愛國團」と稱し下の樣な記事が載つて居たことを記憶する。上海では乞食の親分株の男たちが時局に感憤し同士十數人と乞食愛國團といふものを組織し、(一)同志を糾合し每日道端で物を乞ふ腕前を振ふて通行人に日貨不買を勸めること、(二)殘りの冷飯や錢を儉約して一錢宛醵金しそして小さい工場を建てる用意に充つること、(三)物を乞ふ餘暇にはまた隨時隨所で露天演說をなすこと(四)團員は阿片や煙草を吸ふ可からずと定めたと、そして最後の括りが甚だ振つて居る、曰く「嗚呼乞食にして尙且つ斯くの如し」と、何とお臍でお茶が沸きさうな話ではない乎。

支那は資源に富んだ國であるけれども、自ら之を開くの力なく、之を開く鍵は他に握られて居る、隨つて政府の財政は何時も左り前で、それに制度が少しも整はず、兵士が荒ばれる、馬賊は跋扈する、胡匪が跳梁

するといふ始末で、人民は一日と雖も安き心がない。支那に貧乏人が多いのは這うした社會的環境の然らしむると所で、その貧乏人が篩の目を潜つて落ちて行く先は言はずと知れた乞食である。阿片やモヒが乞食を作ることは前に述べたが、猶ほ見免すべからざるは支那國民性の宿命觀で、總てを運命的に解釋して安分知足するため、貧乏しても平氣で居り、随つて乞食になつても澄まし返つて居るのである。最近の支那新聞に乞食が詩吟したといふ記事が載つてゐた。其の記事は曰く、『京訊云、日昨午後三時許、西單西斜街東口外有一乞丐、酩酊大醉、遂信手用炭塊、在牆上題詩四句云、中華災黎多、籌賑莫消說、只顧他中飽、休管我生活、其辭號粗鄙、假慈善的先生們聽見、能不羞然云』と。乞食が酩酊大醉して大屑を持つて牆上に四言絶句を題詩したなどは何んと振つて居るではない乎。そして記事の最後の皮肉が面白い、曰く『慈善を賣物にして居る先生たちが之を聽いたら心中自ら忸怩たるものがあるであらう』と。

最近に一寸學理的に乞食に就いて研究して見よう。律例には乞食を以て賤民とする明文がないので、そこで乞食は律例上賤民となつて居らぬ。要するに乞食なるものは境遇のため餘儀なくせられたる者であるから之を目して一種の身分なりとは斷定することと出來ぬ、たゞ他人の惠みを受くる關係上自然と良民の賤辱を受くるに過ぎぬのである。今律例の示す所に依り其の取締法を記せば、(一)千里以外より來れる流丐中、少壯者は之を棲流所に入れ、保正をして丐頭を督して之を管束せしめ、其の老幼、廢篤、疾者は之を養濟院に收養す、又千里以内の者は一般に之を原籍に逐回す、而して養濟院に收養する者に對しては、官より一定の衣食を給す、(二)土丐中の少壯者は之を棲流所に入れて管束し、老幼、廢篤、疾者は養濟院に收養す、(三)乞丐罪を犯す時は、少壯乞丐は保申長竝に丐頭をして管束せしむ、若し縱容非爲を爲さば本人を律例に照して罰するの外、保申長丐頭亦之を懲治す、云々と規定されてある。

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會を催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に二回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◉社會事業（田子一民氏著）……東京 帝國地方行政學會

◉近代美術之研究（東洋記念號）……東京 東洋協會發行

◉海員集會所落成記念號……「海友」九月號 大連海務協會

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、週刊「極東」、日滿通信、滿蒙之文化、讀書會雜誌、新天地、海友、滿蒙實業彙報、滿鐵「調查時報」「滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、赤陽、滿洲敎報、聖德會々報、曉、大連コドモ新聞（以上大連）◉順律報（漢文）旅順◉大陸日日新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟時報、新滿洲（以上奉天）◉商業會議所月報、滿鮮縱横公論（以上安東）◉商業會議所月報（長春）◉貝加爾新聞（滿洲里）◉支那研究彙錄（北京）◉日華公論（天津）◉大乘（上海）◉山東公論、濟南日報（以上濟南）◉青島新報、青島實業協會月報（以上青島）◉京城日報、朝鮮新聞、朝鮮銀行月報、朝鮮及滿洲、青年（諺文）、新生活（同）（以上京城）◉釜山日報（釜山）◉平南毎日新聞、平壤商業會議所會報（以上平壤）◉臺灣時報、臺法月報（以上臺灣）◉臨時產業調查局資料、滿鐵東亞經濟調查局經濟資料、東洋、支那、大鵬、大日本、經濟時論、東京商業會議所所報、日本佛敎新聞、憲政、日華之實業、愛國婦人戰友、我が家（以上東京）◉紡績界（大阪）◉同志社時報（京都）◉橫濱商業會議所月報（橫濱）◉東亞經濟研究（山口）◉福岡日日新聞（福岡）……以上

毎月一回發行

定價表

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八十錢	郵稅共
壹箇年分	七圓五十錢	郵稅共

注意＝本號は金七拾錢

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十一年十一月一日發行

發行人 山田武吉

編輯人 大內四郎

印刷人 太田信三

印刷所 小林又七支店 大連市大山通七十四號地

發行所（電話一四二六番）滿洲社會事業研究會 大連市霧島町ヌ區十六號地 振替口座大連一二三九番

資本金　參百萬圓

積立金　參拾六萬七千圓

營業　一般銀行業ノ外年賦（なしくずし）又ハ定期償還ノ方法ニヨリ勸業資金貸付取扱申候

大連市大山通九番地

株式會社　遼東銀行

電話　長　六三三番　一〇六七番　三七四四番

振替大連一六九一番

支店所在地　小崗子。金州。普蘭店。瓦房店。貔子窩

爲替取組先　內地。朝鮮。滿洲ノ各樞要地

大連市監部通

東亞煙草株式會社

大連販賣所

電話二七三番

營業課目

- 運用若シクハ利殖ノ爲ニスル積立會
- 各種企業ニ對シ資金ノ供給
- 土地建物及有價證券ノ擔保貸付
- 土地建物ノ賣買仲介竝ニ管理
- 諸手形ノ賣買保證
- 各種商品ノ擔保貸付及委託賣買
- 其ノ他信託ニ關スル一般ノ業務

大連市羽前町拾七號地

滿洲貯金信託株式會社

電話長八三一番
振替大連九六六番

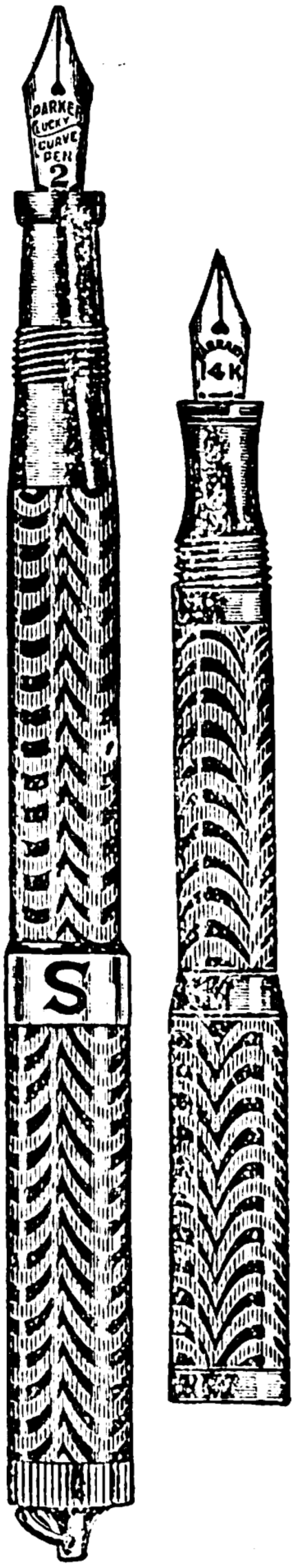
米國ウオターマン萬年筆
米獨製トランプ各種
其他高級文具事務品
不二式 岡田式 謄寫版發賣

直輸入

大連市大山通浪速町角

滿書堂文具部

電話九九四番
振替大連六三番



營業科目

△家庭建築請負、其の他賣買及賃貸
△動產及不動產に關する信託業
△建築材料販賣及仲介 △疊材料販賣作業一切請負

日華合辦

南滿建物株式會社

本社 大連市若狹町ク區九號地
電話二二八〇番

活版、石版、寫眞版、凸版、凹版、アートタイプ、三色版、
電氣版、亞鉛版、木版等、諸製版印刷
和洋諸帳簿、製本、活字鑄造販賣、和洋紙並に印刷諸材料販賣

滿洲日日新聞社

大連東公園町　振替貯金口座大連六〇番

日刊

日滿通信

本通信の目的は滿洲の實狀及び眞相を內地に宣傳し同時に母國の事情を滿洲在住者に報道し以て其の相互の連絡協調を圖るに在り

大連市吉野町一丁目

日滿通信社

本通信は植民地における通信界の權威なり、必要の場合は時々特別號を發行して迅速、正確、機敏に報道す、何人も見て鴻益あり

大正十一年八月十五日第三種郵便物認可
大正十一年十月三十一日發行（每月一回一日發行）